

使用説明書

<ファクス機能編>

はじめにお読みください	1
ファクスを使用する前に	2
ファクスモードの切り替え	3
あて先を登録する	4
送信する	5
受信する	6
パソコンからファクス機能を活用する (PCファクス)	7
操作部でファクスの設定をする	8
Web Image Monitorを使って設定をする	9
困ったときには	10
付録	11

紙の使用説明書にない情報は画面で見る使用説明書
(付属のCD-ROMに収録)をご覧ください。



目次

1. はじめにお読みください

この本の読みかた.....	7
はじめに.....	7
複製、印刷が禁止されているもの.....	7
おことわり.....	8
管理者の方へ.....	8
IP アドレスについて.....	9
おもなオプションと略称.....	9
やりたいこと目次.....	10
本機をファクス専用機として使いたい.....	10
外付け電話機を接続して使いたい.....	11
パソコンからファクスを送信したい (PC ファクス)	11
受信したファクスを転送したい (RICOH SP C251SF)	12
インターネットファクスを送受信したい (RICOH SP C251SF)	12
操作部の名称とはたらき.....	14
左側.....	14
右側.....	16

2. ファクスを使用する前に

ファクス設定の流れ.....	17
設定項目を確認する.....	18
電話回線に接続する.....	20
ADSL 環境に接続する.....	21
ISDN 環境に接続する.....	22
ひかり電話環境に接続する.....	23
内線電話環境に接続する.....	24
電源を入れる.....	26
電話回線の種別を選択する.....	30
回線種別の確認方法.....	30
電話回線の種別を設定する.....	31
電話回線への接続方法を選択する.....	33
外線発信番号を設定する.....	34
日時を設定する.....	35
受信モードを選択する.....	37

受信モードの確認方法.....	37
受信モードを設定する.....	39
発信元情報を登録する.....	40
文字を入力する.....	42
本機を接続する.....	44
ネットワークケーブルで接続する.....	44
USB ケーブルでパソコンと接続する.....	46
IP アドレスの設定をする.....	49
IPv4 アドレスを手動で指定する.....	49
IPv4 アドレスを自動的に取得する.....	51
PC ファクスドライバーをインストールする.....	53
PC ファクスドライバー（TCP/IP ポートを使用する）.....	53
PC ファクスドライバー（USB ポートを使用する）.....	54
ダイレクト機能呼び出し機能を設定する.....	56
操作部を使用して機能を設定する.....	56
Web Image Monitor で設定する.....	57
設定呼び出し機能を使用する.....	57
ユーザーが使用できる機能を制限する.....	58
ユーザーが使用できる機能を設定する.....	58
使用できる機能が制限されているとき.....	60
3. ファクスモードの切り替え	
ファクスモード画面.....	63
優先機能を設定する.....	64
4. あて先を登録する	
操作部であて先を登録する.....	65
操作部であて先を修正する.....	66
操作部であて先を削除する.....	67
Web Image Monitor であて先を登録する.....	69
Web Image Monitor であて先を修正する.....	70
Web Image Monitor であて先を削除する.....	71
5. 送信する	
送信モードを選択する.....	73
インターネットファクス使用上のご注意.....	75

基本的なファクスの送りかた.....	77
送信を取り消す.....	80
原稿を読み取る前に送信を取り消す.....	80
原稿の読み取り中に送信を取り消す.....	80
原稿の読み取り後に送信を取り消す（送信中のとき）.....	81
原稿の読み取り後に送信を取り消す（送信待機中のとき）.....	81
あて先を指定する.....	83
ワンタッチキーであて先を指定する.....	83
短縮ダイヤルであて先を指定する.....	84
同報送信のあて先を指定する.....	85
リダイヤル機能であて先を指定する.....	86
誤送信を防止する宛先の指定のしかた.....	88
宛先を繰り返し入力する.....	88
便利な送信方法.....	89
オンフックダイヤル.....	89
通話後にファクスを送信する.....	90
読み取り方法を設定する.....	91
濃度を調整する.....	91
解像度を設定する.....	92

6. 受信する

ファクスを受信する前に.....	95
FAX/TEL（手動）モード.....	96
ファクス専用モード.....	97
FAX/TEL（自動）モード.....	98
FAX/留守番 TEL モード.....	99
電話/ファクスを切り替える.....	100
インターネットファクスを受信する.....	101
操作部で設定する.....	101
Web Image Monitor で設定する.....	102
受信したファクスを転送する.....	103
転送設定をする.....	104
転送したファクスをメモリーに蓄積する.....	105
Web Image Monitor で転送先を設定する.....	105

受信したファクスを一時的に蓄積する.....	107
メモリーに蓄積されたファクスを印刷する.....	109
受信文書印刷設定を切り替える.....	109
受信文書印刷設定を切り替える.....	110
特定の相手先からのファクスを制限する.....	112
特定相手先を登録する.....	112
特定相手先からのファクスを制限する.....	113

7. パソコンからファクス機能を活用する (PC ファクス)

PC ファクスのアドレス帳を設定する.....	115
PC ファクスのアドレス帳を開く.....	115
あて先を登録する.....	116
あて先を修正する.....	117
グループを登録する.....	118
グループを修正する.....	119
あて先やグループを削除する.....	119
PC ファクスのアドレス帳をエクスポート/インポートする.....	120
基本的な PC ファクスの送りかた.....	123
PC ファクスの送信を取り消す.....	125
PC ファクスの送付状を編集する.....	126
PC ファクス送付状で設定できる項目.....	126
PC ファクスの送付状を編集する.....	127
PC ファクスの送信設定を変更する.....	129
PC ファクスダイアログボックスで設定できる項目.....	129
PC ファクスの送信設定を変更する.....	130

8. 操作部でファクスの設定をする

基本操作.....	131
操作部で設定できる機能.....	133
ファクス送信設定.....	135
ファクス初期設定.....	137
用紙設定.....	144
優先的に使用する給紙トレイを設定する.....	144
ネットワーク設定.....	145
管理者用設定.....	147

アドレス帳の設定.....	150
リスト/レポートの印刷.....	151
リスト/レポートの種類.....	151
リスト/レポートを印刷する.....	151
ファクス通信管理レポートの見かた.....	152
ファクス送信/受信待機文書リストの見かた.....	153

9. Web Image Monitor を使って設定をする

Web Image Monitor を使用する.....	155
トップページを表示する.....	157
ファクスの設定をする.....	159
システム初期設定を変更する.....	162
優先トレイを指定する.....	162
ダイレクト機能呼出しを設定する.....	162
あて先を登録する.....	163
特定相手先を登録する.....	164
ユーザーが使用できる機能を制限する.....	165
ネットワークの設定をする.....	166
ネットワーク情報の設定をする.....	166
IPv6 の設定をする.....	167
ネットワーク設定をする.....	167
DNS の設定をする.....	168
自動メール通知の設定をする.....	169
SNMP の設定をする.....	170
SMTP の設定をする.....	171
POP3 の設定をする.....	172
インターネットファクスの設定をする.....	172
無線 LAN を設定する.....	173
リスト/レポートを印刷する.....	176
管理者用設定をする.....	177
管理者用のメールアドレスとパスワードを設定する.....	177
本機の設定を初期化する.....	177
本機の設定をバックアップする.....	178
本機の設定を復元する.....	179

日時を設定する.....	180
10. 困ったときには	
思い通りにファクス機能が使えないとき.....	181
よくある質問.....	181
送信できない.....	183
受信できない.....	184
印刷できない.....	184
その他.....	186
レポートにエラーコードが記載されたとき.....	187
操作部にメッセージが表示されたとき.....	191
電源断レポートが印刷されたとき.....	193
11. 付録	
ファクス機能仕様.....	195
ファクス送受信.....	195
インターネットファクス送受信 (RICOH SP C251SF)	195
本機のファクス機能の適合規格 (RICOH SP C251SF)	197
FASEC 1 について.....	197
商標.....	198
索引	201

1. はじめにお読みください

本マニュアルの使いかたや表記、本体操作部の名称とはたらきを説明します。

この本の読みかた

はじめに

この使用説明書は、製品の正しい使い方や使用上の注意について記載してあります。ご使用前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。

複製、印刷が禁止されているもの

本機を使って、何を複製、印刷してもよいとは限りません。法律により罰せられることもありますので、ご注意ください。

1. 複製、印刷することが禁止されているもの

(見本と書かれているものでも複製、印刷できない場合があります。)

- 紙幣、貨幣、銀行券、国債証券、地方債券など
- 日本や外国の郵便切手、印紙
- (関係法律)
 - 紙幣類似証券取締法
 - 通貨及証券模造取締法
 - 郵便切手類模造等取締法
 - 印紙等模造取締法
 - (刑法 第 148 条 第 162 条)

2. 不正に複製、印刷することが禁止されているもの

- 外国の紙幣、貨幣、銀行券
- 株券、手形、小切手などの有価証券
- 国や地方公共団体などの発行するパスポート、免許証、許可証、身分証明書などの文書または図画
- 個人、民間会社などの発行する定期券、回数券、通行券、食券など、権利や事実を証明する文書または図画
- (関係法律)
 - 刑法 第 149 条 第 155 条 第 159 条 第 162 条
 - 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律

3. 著作権法で保護されているもの

著作権法により保護されている著作物（書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画および写真など）を複製、印刷することは、個人または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で使用する目的で複製、印刷する場合を除き、禁止されています。

* 本機には紙幣偽造防止機能が搭載されています。このため、紙幣に酷似した画像は誤って認識され、正常なコピーがとれないことがありますので、あらかじめご了承ください。

おことわり

本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

機械の改良変更等により、本書のイラストや記載事項とお客様の機械とが一部異なる場合がありますのでご了承ください。

画面の表示内容やイラストは機種、オプションによって異なります。

本書は、原則的にオプションを装着した状態の画面と外観イラストを使って説明しています。

本書の一部または全部を無断で複写、複製、改変、引用、転載することはできません。

本機の故障による損害、登録した内容の消失による損害、その他本製品および使用説明書の使用または使用不能により生じた損害について、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

本機に登録した内容は、必ず控えをとってください。お客様が操作をミスした場合、あるいは本機に異常が発生した場合、登録した内容が消失することがあります。

お客様が本機を使用して作成した文書やデータを運用した結果について、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

当社は、当社の機器に当社の純正品以外を使用したことにより損害や損失が発生しても責任を負いません。

管理者の方へ

パスワードについて

本機にログインするときは、パスワードが必要です。第三者による不正操作や情報漏えいを防止するために、お客様ご自身のパスワードをただちに設定することを、強くお勧めします。

パスワードによって制限できる操作：

- 操作部から [アドレス帳]、[ネットワーク設定]、および [管理者用設定] メニューにアクセスする

工場出荷時の設定では、これらのメニューはパスワードによって保護されていません。

[管理者用設定] でパスワードを設定してください。

- Web Image Monitor から [システム初期設定]、[ワンタッチキー宛先]、[スキャナー宛先]、[ファクス短縮番号宛先]、[特定相手先]、[機能の制限]、[ネットワーク設定]、[IPsec 設定]、および [管理者用設定] メニューにアクセスする

工場出荷時の設定では、Web Image Monitor を使った本機の設定は、パスワードによって保護されていません。

[管理者設定] でパスワードを設定してください。

↓ 補足

- パスワードの設定について詳しくは、P.177 「管理者用のメールアドレスとパスワードを設定する」を参照してください。

ユーザー制限

許可されたユーザーだけが本機の機能を使えるように制限できます。

Web Image Monitor を使って、制限したい機能を選択し、その機能を使えるユーザーを登録できます。

↓ 補足

- パスワードやユーザー制限の設定について詳しくは、P.58 「ユーザーが使用できる機能を制限する」を参照してください。

IP アドレスについて

本書で「IP アドレス」と表記されているときは、IPv4 と IPv6 の両環境に対応していることを示しています。使用している環境に合わせてお読みください。

おもなオプションと略称

おもなオプションの名称と、本文中で使用している略称を示します。

商品名	略称
500 枚増設トレイ C221	増設トレイ
IPSIO ハンドセット C240	ハンドセット

↓ 補足

- 増設トレイが装着されているときは、本機では「トレイ 2」と表示されます。

やりたいこと目次

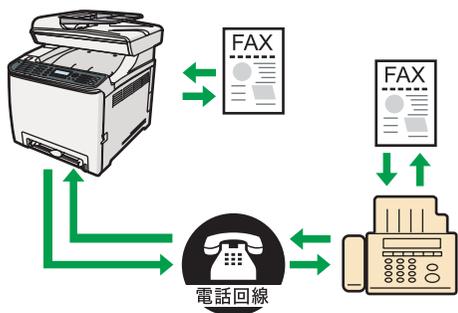
★重要

- 機能によっては、あらかじめ設定やオプションの取り付けが必要です。

ナンバーディスプレイについて

本機はナンバーディスプレイに対応していません。ナンバーディスプレイ契約回線に接続しても、本機に相手の番号は表示されません。ナンバーディスプレイを契約している回線に本機を接続してファクスを受信するときは、[ファクス初期設定]の[ナンバーディスプレイ]を[契約している]に変更してください。詳しくは、P.137「ファクス初期設定」を参照してください。

本機をファクス専用機として使いたい



CHP023

ファクス専用機として使用するための準備

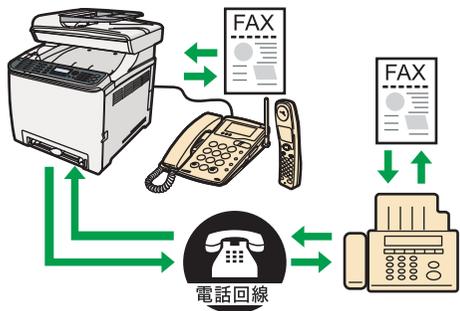
1. 本機と電話回線を接続します。
P.20「電話回線に接続する」を参照してください。
2. 電話回線の設定をします。
P.30「電話回線の種別を選択する」、P.33「電話回線への接続方法を選択する」を参照してください。
3. 日付と時刻を設定します。
P.35「日時を設定する」を参照してください。
4. 操作部または Web Image Monitor からあて先をアドレス帳に登録します。
P.65「あて先を登録する」を参照してください。

↓補足

- 発信元情報は、本機を購入後最初に電源を入れたときの初期設定で登録します。また、[管理者用設定]の[ファクス発信元情報登録]で登録した内容の確認や変更ができます。詳しくは、P.40「発信元情報を登録する」を参照してください。

外付け電話機を接続して使いたい

本機に外付け電話機を接続して、ひとつの回線でファクスと電話の両方を使えます。



CHP024

本機で外付け電話機を使用するための準備

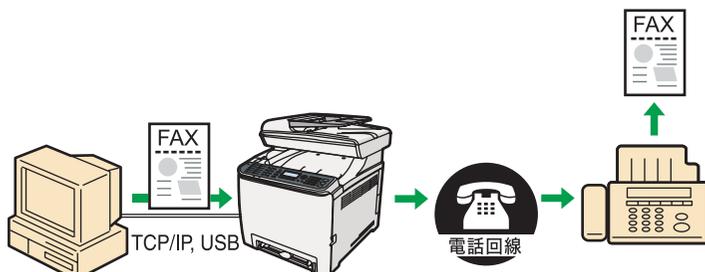
1. 本機に外付け電話機を接続します。
P.20 「電話回線に接続する」を参照してください。
2. ファクス受信モードを選択します。
P.37 「受信モードを選択する」を参照してください。

パソコンからファクスを送信したい (PC ファクス)

Windows のアプリケーションで作成した文書を、パソコンに接続された本機を経由して、紙に出力しなくても直接相手のファクスへ送信できます。

★重要

- この機能は、使用している OS が Windows のときだけ使用できます。



CHP025

USB で PC ファクスを送信するための準備

1. 本機とパソコンを USB で接続します。
P.46 「USB ケーブルでパソコンと接続する」を参照してください。
2. PC ファクスドライバーをパソコンにインストールします。

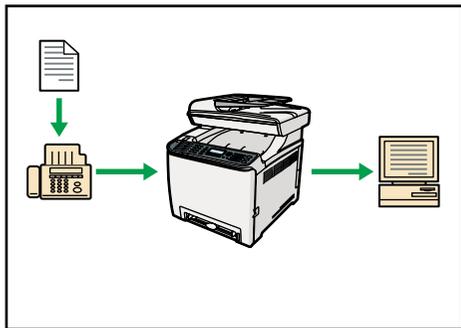
- P.53 「PC ファクスドライバーをインストールする」を参照してください。
- 3. PC ファクスのあて先をアドレス帳に登録します。
 - P.115 「PC ファクスのアドレス帳を設定する」を参照してください。

ネットワーク環境で PC ファクスを送信するための準備

- 1. 本機をネットワークに接続します。
 - P.44 「ネットワークケーブルで接続する」を参照してください。
- 2. 操作部から IP アドレスなどのネットワーク設定をします。
 - P.49 「IP アドレスの設定をする」を参照してください。
- 3. パソコンに PC ファクスドライバーをインストールします。
 - P.53 「PC ファクスドライバーをインストールする」を参照してください。
- 4. PC ファクスのあて先をアドレス帳に登録します。
 - P.115 「PC ファクスのアドレス帳を設定する」を参照してください。

受信したファクスを転送したい (RICOH SP C251SF)

重要なファクスを不正に閲覧されることを防止するために、あらかじめ設定されたあて先に受信したファクスを転送できます。



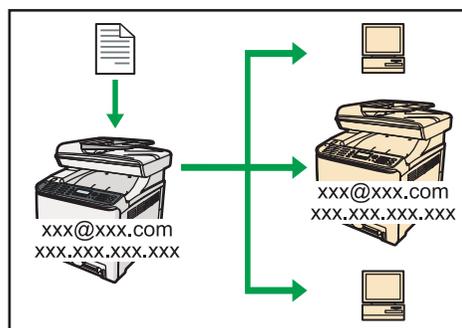
受信したファクスを転送するための準備

- 1. 操作部のファクス初期設定と、Web Image Monitor の関連項目を設定します。
 - P.103 「受信したファクスを転送する」を参照してください。

インターネットファクスを送受信したい (RICOH SP C251SF)

インターネットファクスでは、インターネットを通してファクスの送受信ができます。

インターネットファクスのあて先にファクスを送信すると、本機は読み取った画像を TIFF-F 形式のファイルに変換し、メールの添付ファイルとして送信します。また、本機に設定したメールアドレス宛てにファクスを受信できます。



インターネットファクスを送受信するための準備

1. 本機をネットワークに接続します。
P.44 「ネットワークケーブルで接続する」を参照してください。
2. 操作部から IP アドレスなどのネットワーク設定をします。
P.49 「IP アドレスの設定をする」を参照してください。
3. Web Image Monitor から DNS や SMTP に関して必要な設定をします。
P.168 「DNS の設定をする」、P.171 「SMTP の設定をする」を参照してください。
4. Web Image Monitor から POP3 やインターネットファクスに関して必要な設定をします。
P.172 「POP3 の設定をする」、P.172 「インターネットファクスの設定をする」を参照してください。
5. Web Image Monitor からアドレス帳にあて先を登録します。
P.69 「Web Image Monitor であて先を登録する」を参照してください。

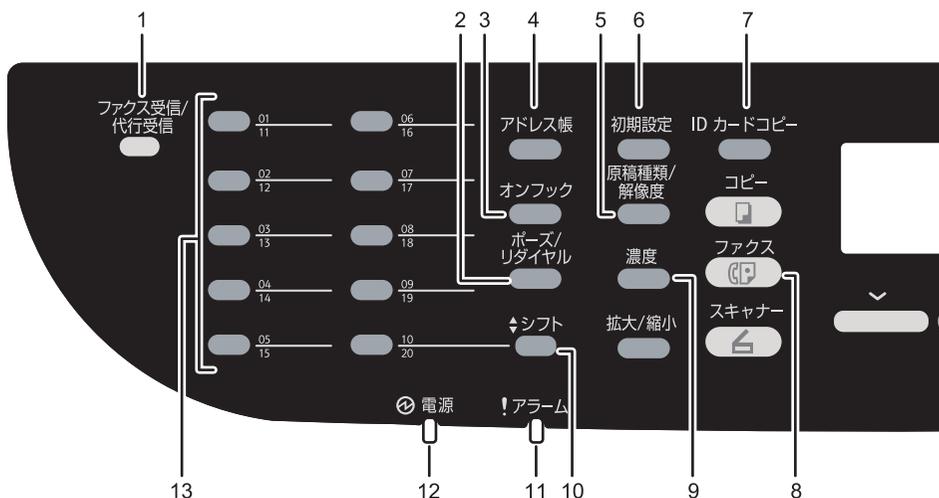
操作部の名称とはたらき

本体操作部の名称とはたらきを説明します。

↓ 補足

- 使用している機器により、操作部の色が異なります。
- 本機が予熱モードや省エネモードのときは、画面のバックライトが消灯します。
- ジョブの処理中は、本機の設定メニューを表示できません。本機の状態は、画面に表示されるメッセージで確認できます。「印刷中」、「白黒コピー中」、「カラーコピー中」、または「処理中」などのメッセージが表示されているときは、ジョブが終了するまでお待ちください。

左側



DAC463

1. ファクス受信/代行受信ランプ

受信したファクスがメモリーに保存されているときに点灯します。用紙切れや紙づまりなどでファクスを印刷できないときは点滅します。印刷待ちの状態になっているファクスを印刷する方法は、P.109「メモリーに蓄積されたファクスを印刷する」を参照してください。

2. [ポーズ/リダイヤル] キー

- ポーズ
ファクス番号の間にポーズを入れます。ポーズを入力した個所は、「P」と表示されます。
- リダイヤル
最後に使用したファクスのあて先を表示します。

3. [オンフック] キー

オンフックダイヤル機能を使ってあて先の通信状態を確認します。

4. [アドレス帳] キー

ファクスを送信するときに、アドレス帳からあて先を指定します。

5. [原稿種類/解像度] キー

解像度を一時的に [ふつう字]、[小さな字]、[写真] の設定から変更します。

6. [初期設定] キー

本機の初期設定を変更するメニューを表示します。

7. [ID カードコピー] キー

よく使用する機能をこのキーにショートカットとして登録できます。詳しくは、P.56 「ダイレクト機能呼び出し機能を設定する」を参照してください。

8. [ファクス] キー

ファクスモードに切り替えます。本機がファクスモードのとき、このキーが点灯します。

9. [濃度] キー

原稿の濃度を一時的に変更します。3段階の調整ができます。

10. [シフト] キー

ファクスのあて先を指定するときに、ワンタッチキーを 11~20 に切り替えます。

11. アラームランプ

消耗品の交換など、本機の保守が必要なときに、黄色で点滅します。本機にエラーが発生したときは赤色で点灯します。

エラーが発生したときは、画面に表示されたメッセージを確認して対処してください。詳しくは、P.191 「操作部にメッセージが表示されたとき」を参照してください。

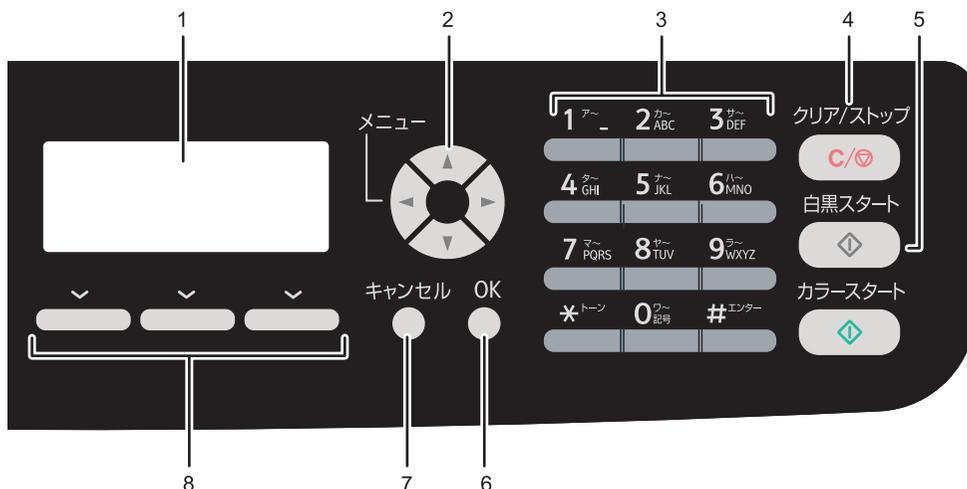
12. 電源ランプ

本機の電源が入っているときに点灯します。電源が入っていないときは消灯します。

13. ワンタッチキー

アドレス帳に登録されたワンタッチダイヤルのあて先を選択します。

右側



DAC462

1. 画面

本機の状態やメッセージが表示されます。

2. スクロールキー

カーソルを上下左右に移動させたり、設定値を増減させるときに使います。

本機が待機状態のときに [◀] [▶] キーを押すと、ファクスに関する設定を変更するメニューを表示します。

3. テンキー

ファクス番号などを指定するときに数字を入力したり、名前を指定するときに文字を入力したりします。

4. [クリア/ストップ] キー

- ジョブの処理中：ジョブをキャンセルします。
- 設定中：設定をキャンセルして待機状態に戻ります。
- 待機中：原稿の濃度や解像度など、一時的に変更した設定をキャンセルします。

5. [白黒スタート] キー

ファクスの送信を開始します。[カラースタート] キーでファクス送信はできません。

6. [OK] キー

設定や設定値を確定させるとき、または下位の階層に移動するときに押します。

7. [キャンセル] キー

設定を有効にしないで上位の階層に戻るとき、メニューから通常表示に戻るときに押します。

8. 選択キー

画面下部に表示された項目を選択するときに押します。

2. ファクスを使用する前に

本機をファクスとして使用する前に必要な、電話回線への接続方法、日付や発信元の登録などの設定方法を説明します。

ファクス設定の流れ

2

1. 設定項目を確認する。

ファクスを使用するために必要な設定値を確認します。

P.18 「設定項目を確認する」

2. 電話回線に接続する。

使用している環境に応じて本機を接続します。

P.20 「電話回線に接続する」

3. 電話回線の種別を選択する。

使用している電話回線サービスに合わせて、回線の種別を設定します。

P.30 「回線種別の確認方法」

P.31 「電話回線の種別を設定する」

4. 電話回線への接続方法を選択する。

P.33 「電話回線への接続方法を選択する」

5. 外線発信番号を設定する。

本機が構内交換機（PBX）を経由して電話回線に接続されているときは、外線発信番号を設定します。

P.34 「外線発信番号を設定する」

6. 日時を設定する。

本機の内部時計の日時と、日時の表示形式を設定します。

P.35 「日時を設定する」

7. 受信モードを選択する。

使用している条件に応じて、受信モードを選択します。

P.37 「受信モードの確認方法」

P.39 「受信モードを設定する」

↓ 補足

- 受信モードを選択したら、ファクスの設定は終了です。発信元情報の確認や変更をするときは、P.40 「発信元情報を登録する」を参照してください。

設定項目を確認する

ファクス機能を使用するには、以下の項目を設定します。あらかじめ設定値の内容を確認してください。

ファクス設定項目一覧

設定項目	説明	設定値
接続環境	使用している環境に応じた接続をします。	<ul style="list-style-type: none"> • 一般電話 • ADSL^{*1} • ISDN^{*1} • ひかり電話^{*1} • 内線電話^{*1}
回線種別	使用している電話回線サービスに合わせて、回線の種別を選択します。	<ul style="list-style-type: none"> • プッシュ回線 • ダイヤル回線 (10PPS) • ダイヤル回線 (20PPS)
接続方法	電話回線への接続方法を選択します。	<ul style="list-style-type: none"> • 外線 (公衆交換電話網 [PSTN] に接続するとき) • 内線 (構内交換機 [PBX] に接続するとき)
外線発信番号 ^{*2}	外線への発信番号を設定します。	<ul style="list-style-type: none"> • 外線アクセスコード (最大 3 桁) 例として、社内の内線電話から外線に電話をかけるときに、電話番号の先頭に数字を付けて電話をかけるような回線を使用しているときに設定します。 設定例：0
日付の設定	本機の内部時計の日時と、日時の表示形式を設定します。	年、月、日 <ul style="list-style-type: none"> • 年/月/日 • 月/日/年 • 日/月/年 時刻形式 <ul style="list-style-type: none"> • 12 時間形式 (AM / PM) • 24 時間形式
受信モード	使用している条件に応じて、受信モードを選択します。	<ul style="list-style-type: none"> • ファクス専用 • FAX/TEL (手動) • FAX/TEL (自動) • FAX/留守番 TEL
発信元登録 ^{*3}	本機の名称と番号を設定します。	<ul style="list-style-type: none"> • 名称 (半角英数字/半角カナで最大 20 文字) • 番号 (最大 20 桁)

^{*1} G3 回線にだけ対応しています。G4 回線には対応していません。

^{*2} 接続方法で内線を選択したとき (PBX を経由して電話回線に接続するとき) は、外線発信番号を設定します。

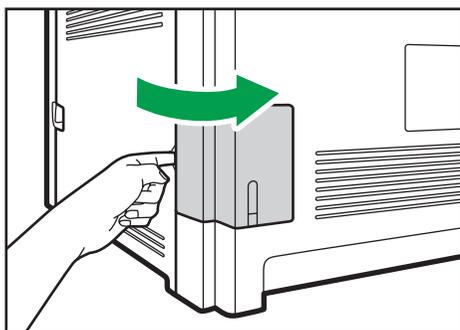
- *3 本機の名称と番号は、本機を購入後最初に電源を入れたときに登録します。詳しくは、P.26「電源を入れる」を参照してください。登録した内容を変更するときは、P.40「発信元情報を登録する」を参照してください。

電話回線に接続する

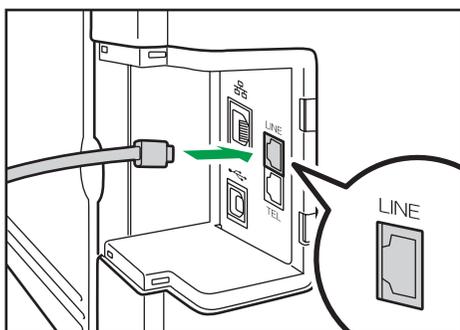
本機を P.18 「設定項目を確認する」 で確認した環境に合わせて接続してください。
また、外付け電話機を接続すると、同じ回線を通話にも使用できます。

2

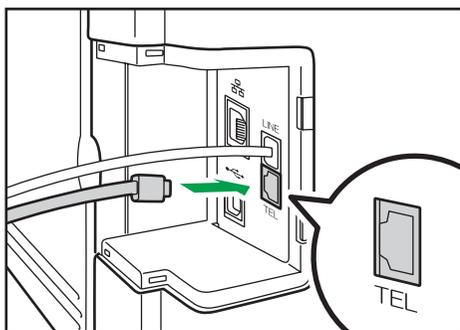
1. ケーブルカバーを取り外します。



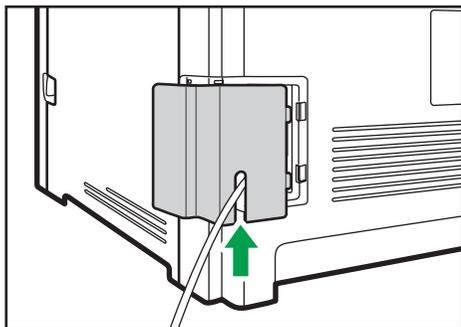
2. 電話線を、「LINE」側に接続します。



3. 外付け電話機を取り付けるときは、「TEL」側に接続します。

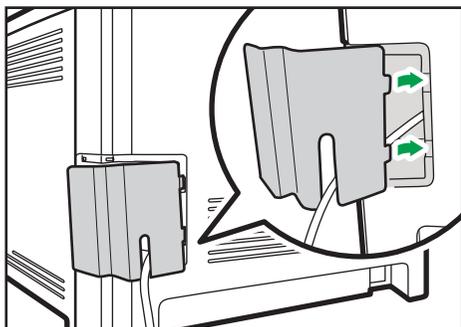


4. ケーブルカバーの切りかき部にケーブルを通します。



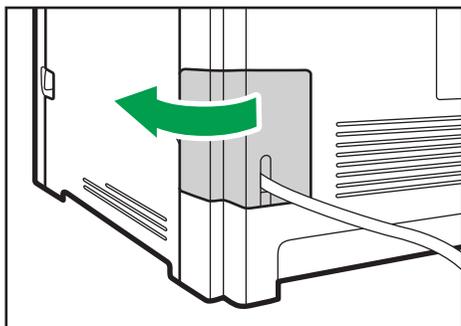
DAC100

5. ケーブルカバーの突起部 2 箇所を本機の穴 2 個所に合わせます。



DAC097

6. ケーブルカバーを取り付けます。



DAC099

↓ 補足

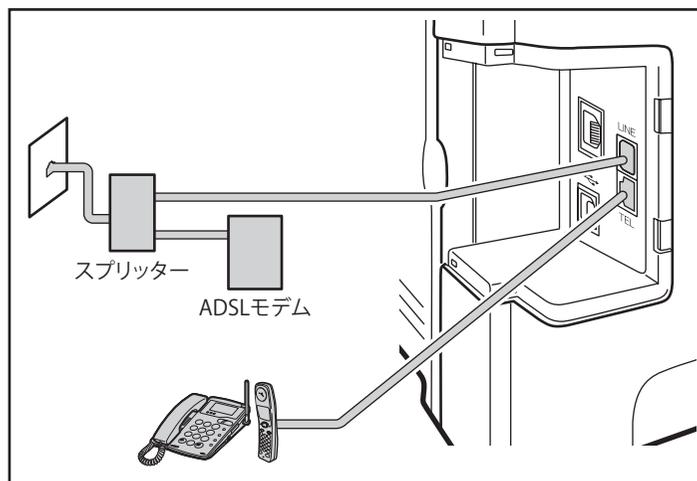
- 外付け電話に搭載されている機能で、本機と互換性のないものについては、使用できません。

ADSL 環境に接続する

本機を ADSL 環境に接続するときの接続例を示します。

★重要

- この接続は代表例であり、すべての接続を保証するものではありません。詳しい設定・接続方法に関しては、スプリッター・ADSL モデムの取扱説明書を参照してください。
- ブランチ接続（並列接続）はしないでください。一つの電話回線に複数台の電話機を接続すると、送信した画像品質が低下したり、正しくファクスの送信や受信ができないなど、通信エラーの原因となります。



DAC101

↓補足

- ADSL 環境は、アナログ回線よりも通信品質が劣ることがあります。詳しくは通信業者に確認してください。
- スプリッターと ADSL モデムが一体のものもあります。一体型を使用するときは新たにスプリッターを介する必要はありません。

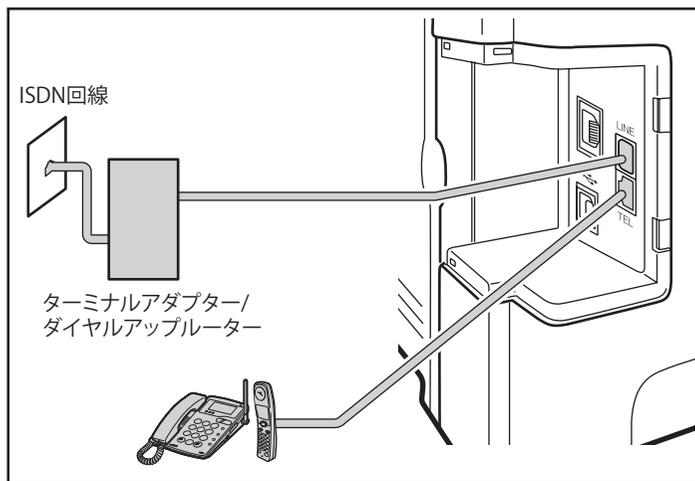
ISDN 環境に接続する

本機を ISDN 環境に接続するときの接続例を示します。

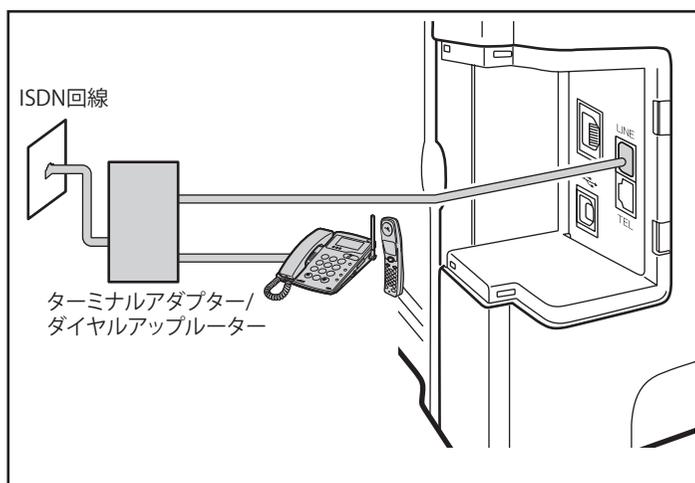
★重要

- ISDN 回線への直接接続には対応していません。
- 詳しい説明については、ターミナルアダプター、またはダイヤルアップルーターの取扱説明書を参照してください。

ファクス通信中に電話を使用しないとき（電話番号が1つのとき）



ファクス通信中に電話を使用できるとき（電話番号が2つのとき）



↓ 補足

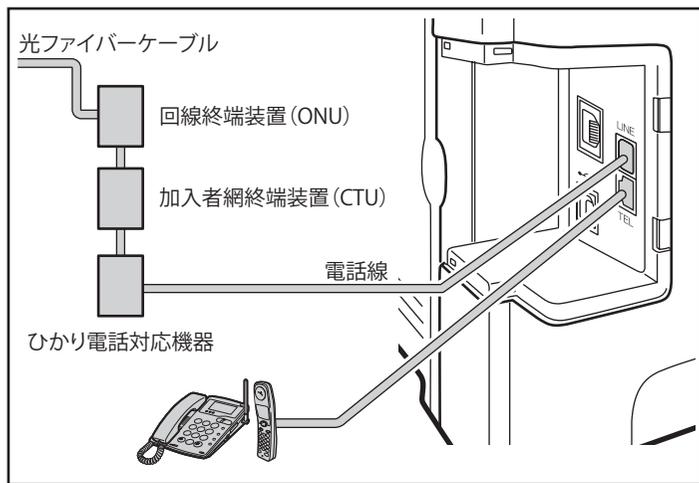
- ターミナルアダプター、またはダイヤルアップルーターのファクス番号が割り当てられているポートに本機を接続してください。
- 受信モードを [ファクス初期設定] の [受信モード切り替え] で [ファクス専用] に設定してください。詳しくは、P.37 「受信モードを選択する」を参照してください。

ひかり電話環境に接続する

本機をひかり電話環境に接続するときの接続例を示します。

★重要

- 下記接続は代表例であり、すべての接続を保証するものではありません。詳しい説明については、加入者網終端装置（CTU）などの取扱説明書を参照してください。
- お住まいの地域によっては配線方法や接続機器が異なることがあります。
- ファクス接続ができることを事前に通信業者に確認してください。



↓補足

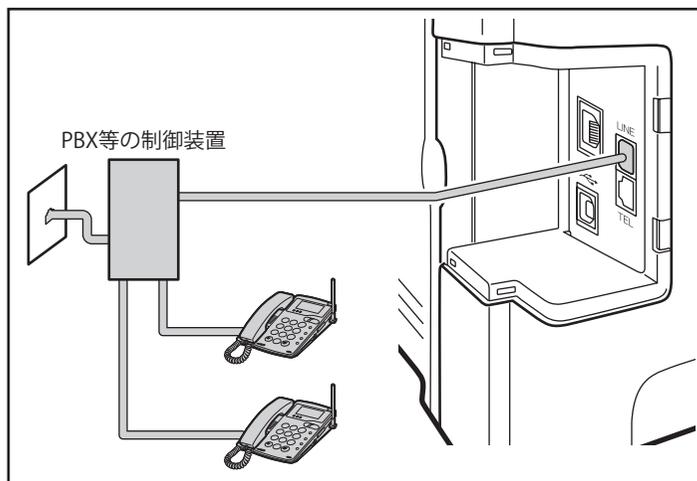
- ひかり電話環境は、アナログ回線よりも通信品質が劣ることがあります。詳しくは通信業者に確認してください。

内線電話環境に接続する

本機を内線電話環境に接続するときの接続例を示します。

★重要

- 構内交換機（PBX）などの制御装置に接続するときは、接続装置に設定が必要となります。



DAC105

電源を入れる

電源の入れかたを説明します。

⚠ 警告



- 接地接続してください。接地接続がされないで、万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。接地接続がコンセントのアース端子にできない場合は、接地工事を電気工事業者に相談してください。
- 接地接続は、必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因になります。



- 表示された電源電圧以外では使用しないでください。火災や感電の原因になります。



- 表示された周波数以外では使用しないでください。火災や感電の原因になります。



- タコ足配線をしないでください。火災や感電の原因になります。



- 延長コードは使用しないでください。火災や感電の原因になります。



- 電源コードを傷つけたり、破損したり、束ねたり、加工しないでください。また、重いものをのせたり、引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災や感電の原因になります。



- 電源プラグの刃に金属などが触れると、火災や感電の原因になります。



- 同梱されている電源コードセットは本機専用です。本機以外の電気機器には使用できません。また、同梱されている電源コードセット以外には使用しないでください。火災や感電の原因になります。



- 電源プラグは年1回以上コンセントから抜いて、点検してください。
 - 電源プラグに焦げ跡がある
 - 電源プラグの刃が変形している
- 上記のような状態のときは、そのまま使用せずに販売店またはサービス実施店に相談してください。
- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



- 電源コードは年1回以上コンセントから抜いて、点検してください。
 - 電源コードの芯線の露出・断線などがみられる
 - 電源コードの被膜に亀裂、へこみがある
 - 電源コードを曲げると、電源が切れたり入ったりする
 - 電源コードの一部が熱くなる
 - 電源コードが傷んでいる
- 上記のような状態のときは、そのまま使用せずに販売店またはサービス実施店に相談してください。
- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。



- 電源コードが傷んだり、芯線の露出・断線などが見られるときはサービス実施店に交換を依頼してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。

⚠ 注意

- 電源プラグは根元までしっかり差し込んでください。また、接触不良になりやすい、ゆるくグラグラするコンセントで使わないでください。発熱の原因になります。



- 連休等で長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



- お手入れをするときは、安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。



- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っばらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

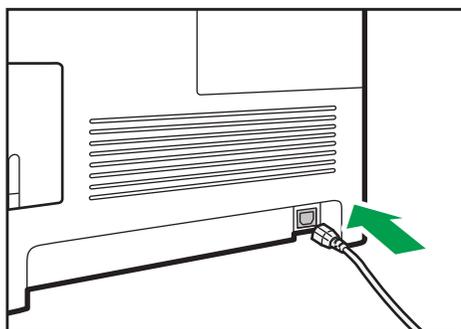


- 電源プラグは年に1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因になります。

★重要

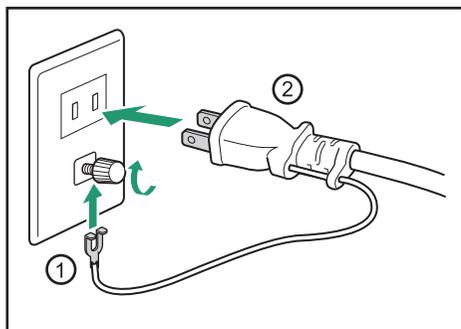
- 電源を入れるとき、電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認してください。
- 電源プラグを差し込んだり抜いたりするときは、電源スイッチを「Off」にしてください。
- 初期設定が終わるまで電源スイッチを切ったり、電源コードを抜いたりしないでください。故障の原因になります。

1. 背面の電源コネクタに、電源コードを接続します。



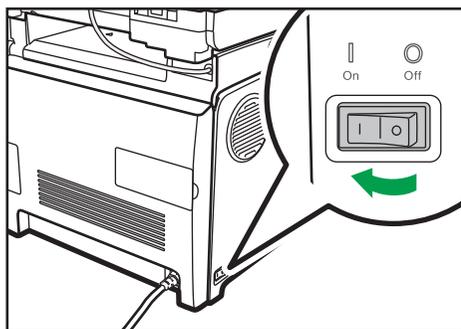
DAC128

2. アース線を接続し、次に電源プラグをコンセントに差し込みます。



CHP550

3. 電源スイッチを「On」にします。



DAC129

電源ランプが点灯し、操作部の〔コピー〕キーが点灯します。

初期設定が完了するまでしばらくお待ちください。本機を購入後最初に電源を入れたときは、2～3分かかります。

↓ 補足

- 本機を購入後最初に電源を入れたときは、初期設定のメニューが画面に表示されます。画面とレポートの表示言語、本機のファクス番号、本機の名称、本機が使用される国を設定してください。
- [管理者用設定] の [優先機能] の設定によっては、[コピー] の代わりに [ファクス] または [スキャナー] キーが点灯します。詳しくは、P.64 「優先機能を設定する」を参照してください。
- 初期化中に動作音が聞こえることがあります。これは故障ではありません。

電話回線の種別を選択する

回線種別の確認方法

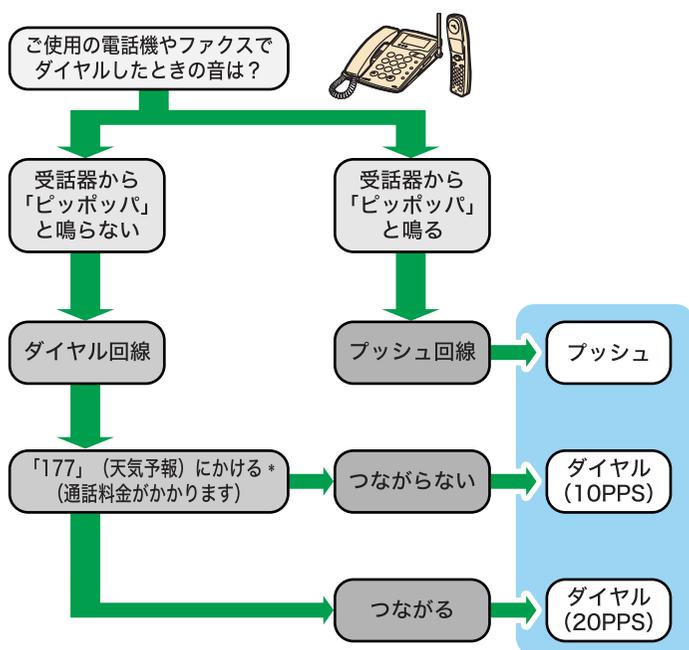
2

電話回線には、プッシュ（トーン）回線とダイヤル（パルス）回線の2種類があります。また、ダイヤル回線には10PPSと20PPSの2種類があります。回線の種別は、地域や環境によって異なります。

回線の種別を確認するには、普段使用している電話機でダイヤルしたときの音を確認めます。

★重要

- 使用している電話回線サービスをあらかじめ確認してください。それでもご不明なときは、サービスを提供している電話会社にお問い合わせください。
- 本機はナンバーディスプレイに対応していません。ナンバーディスプレイ契約回線に接続しても、本機に相手の番号は表示されません。ナンバーディスプレイを契約している回線に本機を接続してファクスを受信するときは、[ファクス初期設定]の[ナンバーディスプレイ]を[契約している]に変更してください。詳しくは、P.137「ファクス初期設定」を参照してください。
- 本機はキャッチホンサービスに対応していません。キャッチホンサービスを契約している回線に本機を接続すると、ファクス通信中に別の相手から電話がかかると、通知音がノイズとなり通信エラーになります。
- 本機はダイヤルイン、モデムダイヤルイン機能に対応していません。ダイヤルイン、モデムダイヤルイン機能を契約している回線に本機を接続しないでください。



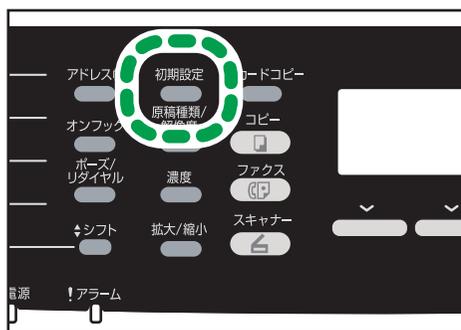
CHP601

* 「177」(天気予報)にかける前に、本機に電話線を接続して、回線種別を [ダイヤル (20PPS)] に設定してください。P.20「電話回線に接続する」、P.30「電話回線の種別を選択する」を参照してください。

そのあと、本機の [ファクス] キーを押してから [オンフック] キーを押し、テンキーで「177」と入力します。つながったときは、本機のスピーカーから音声聞こえます。確認後は、[クリア/ストップ] キーを押してください。

電話回線の種別を設定する

1. [初期設定] キーを押します。



DAC448

2. [▲] [▼] キーを押して [管理者用設定] を選択し、[OK] キーを押します。

3. パスワードが設定されているときは、管理者のパスワードを入力し [OK] キーを押します。
4. [▲] [▼] キーを押して [ダイヤル/プッシュ選択] を選択し、[OK] キーを押します。
5. [▲] [▼] キーを押して電話回線サービスに合った種別を選択し、[OK] キーを押します。
6. [初期設定] キーを押して初期画面に戻ります。

↓ 補足

- [管理者用設定をロック] で、[管理者用設定] メニューにアクセスするためのパスワードを設定できます。詳しくは、P.147 「管理者用設定」を参照してください。

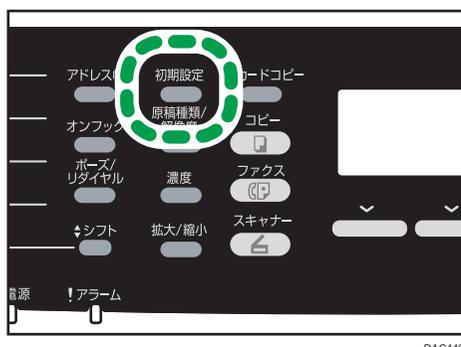
電話回線への接続方法を選択する

電話回線への接続方法には、公衆交換電話網（PSTN）と構内交換機（PBX）の2つがあります。

★重要

- 一般的なご家庭などで使用するときは、[外線] に設定してください。

1. [初期設定] キーを押します。



2. [▲] [▼] キーを押して [管理者用設定] を選択し、[OK] キーを押します。
3. パスワードが設定されているときは、管理者のパスワードを入力し [OK] キーを押します。
4. [▲] [▼] キーを押して [内線/外線選択] を選択し、[OK] キーを押します。
5. [▲] [▼] キーを押して [外線] または [内線] を選択し、[OK] キーを押します。

PSTN に接続するときは [外線] を、PBX に接続するときは [内線] を選択してください。

6. [初期設定] キーを押して初期画面に戻ります。

- [外線] を選択したとき
P.35 「日時を設定する」に進んでください。
- [内線] を選択したとき
P.34 「外線発信番号を設定する」に進んでください。

↓補足

- [管理者用設定をロック] で、[管理者用設定] メニューにアクセスするためのパスワードを設定できます。詳しくは、P.147 「管理者用設定」を参照してください。

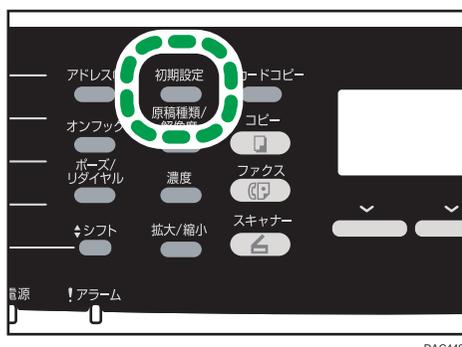
外線発信番号を設定する

PBX を経由して電話回線に接続するときは、外線発信番号を設定してください。

★重要

- 使用している PBX の設定に合った外線発信番号を設定してください。設定が合っていないと、外線へのファクス送信を正常にできないことがあります。

1. [初期設定] キーを押します。



2. [▲] [▼] キーを押して [管理者用設定] を選択し、[OK] キーを押します。
3. パスワードが設定されているときは、管理者のパスワードを入力し [OK] キーを押します。
4. [▲] [▼] キーを押して [内線アクセス番号] を選択し、[OK] キーを押します。
5. 「ファクス設定項目一覧」で確認した外線発信番号をテンキーで入力し、[OK] キーを押します。
6. [初期設定] キーを押して初期画面に戻ります。

↓補足

- [管理者用設定をロック] で、[管理者用設定] メニューにアクセスするためのパスワードを設定できます。詳しくは、P.147 「管理者用設定」を参照してください。

日時を設定する

本機の内部時計の日時と日時の表示形式を設定します。

- 日付

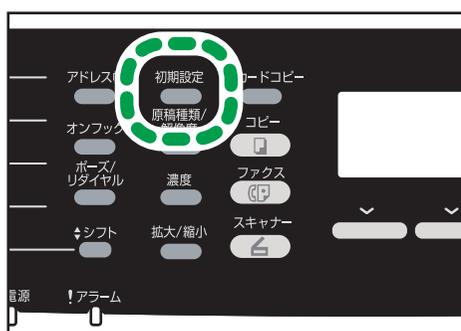
日付形式（月/日/年、日/月/年、年/月/日）を選択し、年、月、日を設定します。

- 時刻

時間形式（12 時間か 24 時間形式）を選択し、時、分、および 12 時間形式を選択したときは AM/PM の表示を設定します。

2

1. [初期設定] キーを押します。



DAC448

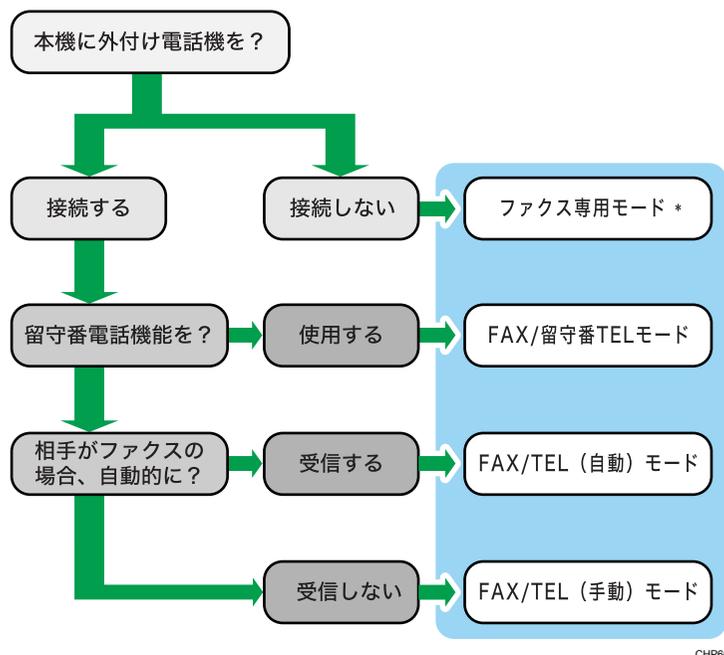
2. [▲] [▼] キーを押して [管理者用設定] を選択し、[OK] キーを押します。
3. パスワードが設定されているときは、管理者のパスワードを入力し [OK] キーを押します。
4. [▲] [▼] キーを押して [年月日/時刻設定] を選択し、[OK] キーを押します。
5. [▲] [▼] キーを押して [年月日設定] を選択し、[OK] キーを押します。
6. [▲] [▼] キーを押して日付形式を選択し、[OK] キーを押します。
7. テンキーで現在の日付を入力して、[OK] キーを押します。
[◀] [▶] キーでフィールドを移動できます。
8. [▲] [▼] キーを押して [時刻設定] を選択し、[OK] キーを押します。
9. [▲] [▼] キーを押して時間形式を選択し、[OK] キーを押します。
10. テンキーで現在の時刻を入力して、[OK] キーを押します。
[12 時間形式] を選択したときは、[▲] [▼] キーで [AM] または [PM] を選択してください。
[◀] [▶] キーでフィールドを移動できます。
11. [初期設定] キーを押して初期画面に戻ります。

↓ 補足

- [管理者用設定をロック] で、[管理者用設定] メニューにアクセスするためのパスワードを設定できます。詳しくは、P.147「管理者用設定」を参照してください。
- 無効な日付を入力したときは、自動的に一番近い有効な日付に修正されます。

受信モードを選択する

受信モードの確認方法



* 外付け電話機を接続した状態でも、ファクス専用モードを選択できます。

↓ 補足

- 本機を電話として使用するには、外付け電話機が必要です。外付け電話機と本機の接続方法は、P.20「電話回線に接続する」を参照してください。
- インターネットファクスを受信する方法は、P.101「インターネットファクスを受信する」を参照してください。

★ 重要

- FAX/留守番 TEL モードでは、総呼び出し回数（留守番 TEL）で設定した回数の呼び出し音が鳴ったら、ファクス受信が開始されます。使用している留守番電話機を、ファクス受信が始まる前に応答するように設定してください。【総呼び出し回数（留守番 TEL）】について詳しくは、P.137「ファクス初期設定」を参照してください。

ファクス専用で使用するとき

外付け電話機や留守番電話機が接続されていないときは、ファクス専用モードを選択してください。

- ファクス専用モード（自動受信）

すべての着信に、自動的にファクス受信を開始します。電話は発信だけで使用される方に便利です。受信方法は P.97 「ファクス専用モード」を参照してください。

本機に外付け機器を取り付けるとき

外付け電話機や留守番電話機が接続されているときは、以下のいずれかのモードを選択します。

- ファクス専用モード（自動受信）

すべての着信に、設定された回数で外付け電話機が鳴ったあと、自動的にファクス受信を開始します。電話は発信だけで使用される方に便利です。受信方法は P.97 「ファクス専用モード」を参照してください。

外付け電話機やハンドセットから呼び出し音を鳴らさずファクスを受信できます。詳しくは、P.137 「ファクス初期設定」を参照してください。

- FAX/TEL（手動）モード（手動受信）

電話がかかってきたら、外付け電話機、または受話器を上げて応答します。ファクスが送られてきていたら、手動でファクスに切り替えて受信します。受信方法は P.96 「FAX/TEL（手動）モード」を参照してください。

- FAX/TEL（自動）モード（自動受信）

電話がかかってきたら、外付け電話機、または受話器を上げて通話します。ファクスが送られてきていたら、自動的に受信します。受信方法は P.98 「FAX/TEL（自動）モード」を参照してください。

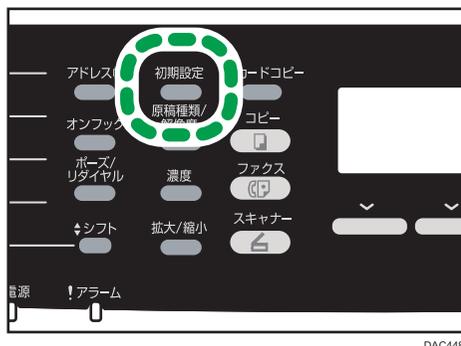
外付け電話機やハンドセットから呼び出し音を鳴らさずファクスを受信できます。詳しくは、P.137 「ファクス初期設定」を参照してください。

- FAX/留守番 TEL モード（自動受信）

電話がかかってきたら、外付けの留守番電話機が応答し、電話のときはメッセージを録音します。ファクスのときは、自動的にファクスを受信します。受信方法は P.99 「FAX/留守番 TEL モード」を参照してください。

受信モードを設定する

1. [初期設定] キーを押します。



2. [▲] [▼] キーを押して [ファクス初期設定] を選択し、[OK] キーを押します。
3. [▲] [▼] キーを押して [受信設定] を選択し、[OK] キーを押します。
4. [▲] [▼] キーを押して [受信モード切り替え] を選択し、[OK] キーを押します。
5. [▲] [▼] キーを押して受信モードを選択し、[OK] キーを押します。
6. [初期設定] キーを押して初期画面に戻ります。

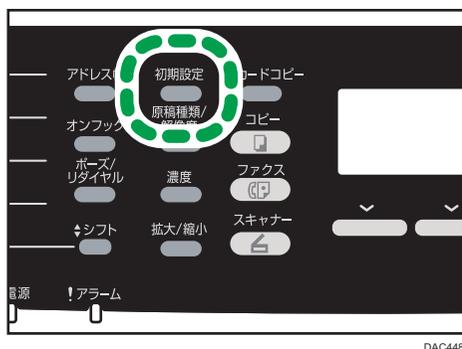
発信元情報を登録する

発信元の情報（本機の番号と名称）の設定方法を説明します。

ここで設定した番号と名称が相手先のファクスに通知されます。

本機を購入後最初に電源を入れたときに番号と名称を登録しますが、必要に応じて登録した内容を変更できます。

1. [初期設定] キーを押します。



DAC448

2. [▲] [▼] キーを押して [管理者用設定] を選択し、[OK] キーを押します。

3. パスワードが設定されているときは、管理者のパスワードを入力し [OK] キーを押します。

4. [▲] [▼] キーを押して [ファクス発信元情報登録] を選択し、[OK] キーを押します。

5. [▲] [▼] キーを押して [番号:] を選択し、テンキーで本機の番号（最大 20 桁）を入力します。

「+」を入力するには [✳] キーを、スペースを入力するには [▶] キーを押します。

6. [▲] [▼] キーを押して [名称:] を選択し、テンキーで本機の名称（半角英数字/半角カナで最大 20 文字）を入力します。

文字入力について詳しくは、P.42 「文字を入力する」を参照してください。

7. 設定を確認し、[OK] キーを押します。

8. [初期設定] キーを押して初期画面に戻ります。

↓ 補足

- 番号には、0～9 までの数字、「+」、スペースが使用できます。名称には、数字、文字、記号が使用できます。漢字・ひらがなは入力できません。
- [管理者用設定をロック] で、[管理者用設定] メニューにアクセスするためのパスワードを設定できます。詳しくは、P.147 「管理者用設定」を参照してください。

- [ファクス初期設定] の [発信元情報印字] 設定を有効にすると登録した番号、名称、送信日時が、送信するすべてのファクスのヘッダーに表示されます。詳しくは、P.135 「ファクス送信設定」を参照してください。

文字を入力する

本機の設定をしたりするとき、操作部を使って文字を入力する方法を説明します。

数字を入力する

テンキーを押します。

文字を削除する

[◀] キーを押します。

ファクス番号を入力する

- 数字を入力する

テンキーを押します。

- 数字以外の文字を入力する

“*”：[*] キーを押します。

“#”：[#] キーを押します。

ポーズ：[ポーズ/リダイヤル] キーを押します。ポーズは、画面に「P」で表示されます。

スペース：[▶] キーを押します。

名前を入力する

テンキーで文字、記号、数字を入力します。入力したい文字が表示されるまでテンキーを繰り返し押します。

同じテンキーで入力する文字が2つ続くときは、最初の文字を入力したあとに [▶] キーを押してから以下の文字を入力します。

テンキー	入力できる文字
1	アイウエオ アイウエオ 1
2	カキクケコ A B C a b c 2
3	サシスセソ D E F d e f 3
4	タチツテト ッ G H I g h i 4
5	ナニヌネノ J K L j k l 5
6	ハヒフヘホ M N O m n o 6
7	マミムメモ P Q R S p q r s 7
8	ヤユヨヤユヨ T U V t u v 8
9	ラリルレロ W X Y Z w x y z 9
0	ワヲン 0 - . ! " , ; : ^ ` _ = / ' ? \$ @ % & + () [] { } < > ~ \
*	*
#	” ° 。 「 」 、 ・ ー #

DAC368

 補足

- 漢字・ひらがなは入力できません。
- 実際に入力できる文字は、設定によって異なります。
- 入力した値が設定中の項目に大きすぎたり小さすぎたりするときは、設定を確定できません。この場合、本機が自動的に、その設定の最大値または最小値に値を変更して登録します。

本機を接続する

パソコンと本機を接続する方法を説明します。

ネットワークケーブルで接続する

⚠ 注意



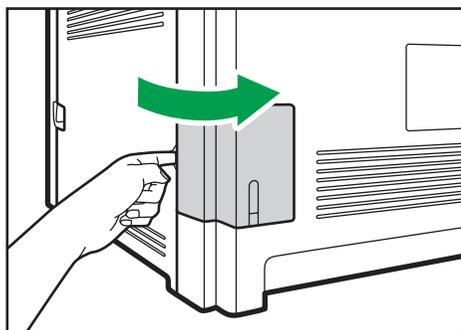
- 電話回線などの過電圧が加わる恐れのあるネットワークをイーサネットポートに接続しないでください。間違って接続すると、火災および感電の危険があります。

ネットワークケーブルやハブ（HUB）などネットワーク機器を準備してから、本機のイーサネットポートに、10BASE-T または 100BASE-TX のケーブルを接続してください。

★重要

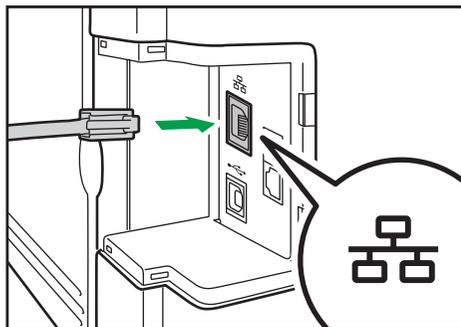
- シールドイーサネットケーブルを使用してください。シールドケーブル以外では、電磁波の妨害により不具合が生じることがあります。
- ネットワークケーブルは同梱されていません。使用するネットワーク環境に合わせて準備してください。

1. ケーブルカバーを外します。



DAC098

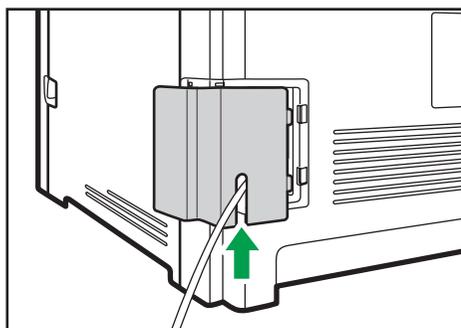
2. 本体背面のイーサネットポートにケーブルを接続します。



DAC316

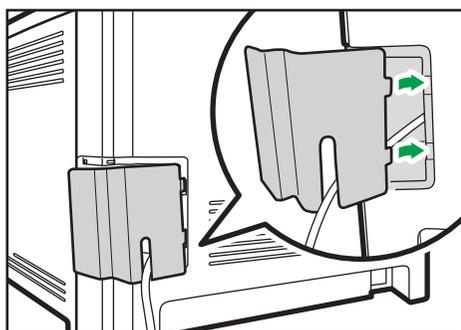
3. ケーブルの片方のコネクタをハブ（HUB）などのネットワーク機器に接続します。

4. ケーブルカバーの切りかき部にケーブルを通します。



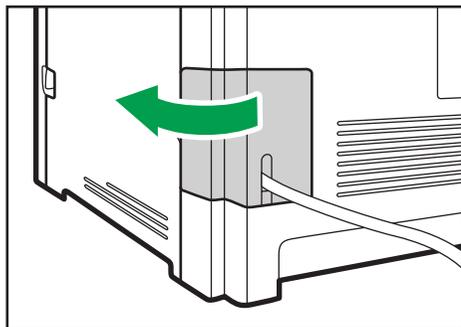
DAC100

5. ケーブルカバーの突起部 2 個所を本機の穴 2 個所に合わせます。



DAC097

6. ケーブルカバーを取り付けます。

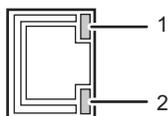


DAC099

↓ 補足

- ネットワーク環境の設定について詳しくは、P.49「IP アドレスの設定をする」を参照してください。

LED の見かた



DAC130

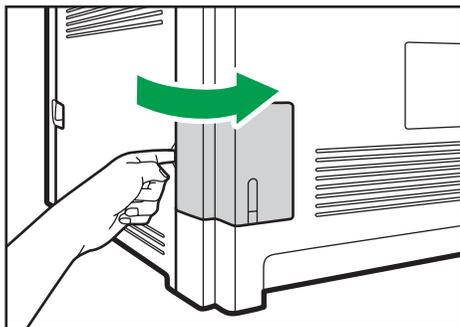
1. 黄色：100BASE-TX、または 10BASE-T の動作時に点滅します。
2. 緑色：ネットワークが正常に接続しているときに点灯します。

USB ケーブルでパソコンと接続する

★ 重要

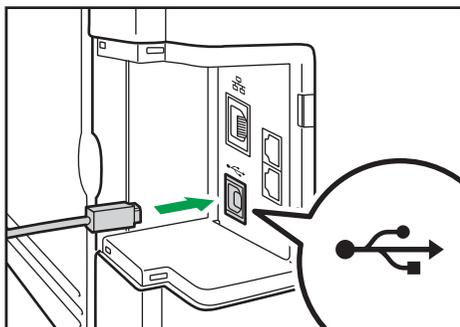
- USB 2.0 インターフェースケーブルは、同梱されていません。USB 2.0 インターフェースケーブル B-TYPE を準備してください。
- Macintosh ではパソコン本体標準の USB ポートだけ対応しています。

1. ケーブルカバーを外します。



DAC098

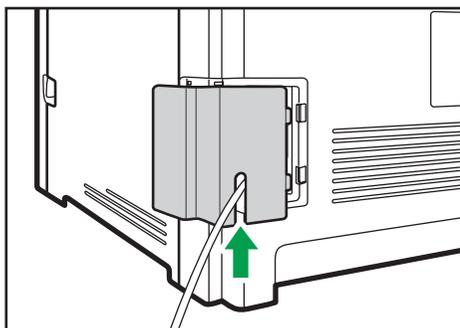
2. USB ポートに、USB 2.0 ケーブルの四角い方のコネクタを接続します。



DAC317

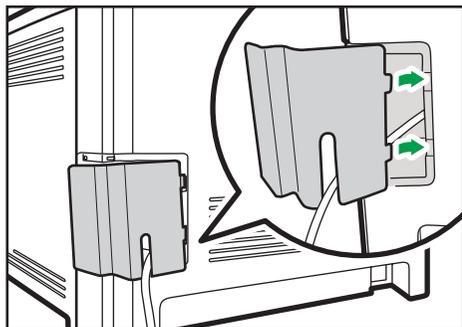
3. ケーブルの片方のコネクタをパソコンの USB ポート、またはハブに接続します。

4. ケーブルカバーの切りかき部にケーブルを通します。



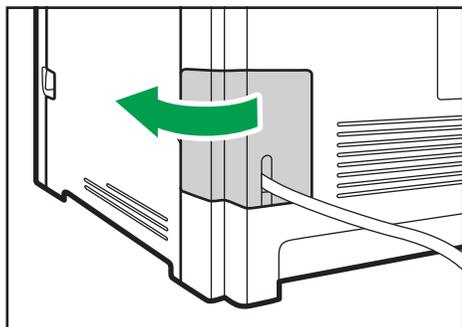
DAC100

5. ケーブルカバーの突起部 2 個所を本機の穴 2 個所に合わせます。



DAC097

6. ケーブルカバーを取り付けます。



DAC099

IP アドレスの設定をする

IP アドレスを自動的に取得するとき（DHCP）と、手動で指定するときで、ネットワークの設定手順が異なります。

↓ 補足

- [管理者用設定をロック] で、[ネットワーク設定] メニューにアクセスするためのパスワードが設定できます。詳しくは、P.147「管理者用設定」を参照してください。
- 使用しているネットワーク環境で、特定のイーサネット通信速度が要求されるときは、[ネットワーク設定] の [イーサネット速度設定] で通信速度を設定してください。詳しくは、P.145「ネットワーク設定」を参照してください。
- IPv6 アドレスの設定は、『使用説明書<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』⑧「ネットワークを設定する」を参照してください。

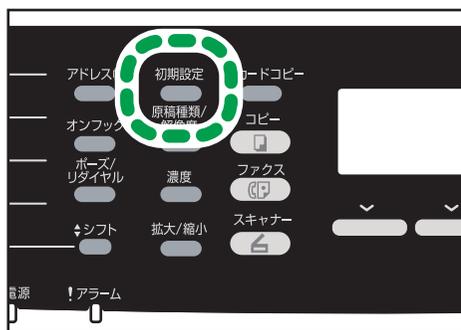
2

IPv4 アドレスを手動で指定する

★ 重要

- 本機に割り当てられた IPv4 アドレスは、同じネットワークのほかのどの機器とも共用できません。

1. [初期設定] キーを押します。



2. [▲] [▼] キーを押して [ネットワーク設定] を選択し、[OK] キーを押します。



3. パスワードが設定されているときは、管理者のパスワードを入力し [OK] キーを押します。

4. [▲] [▼] キーを押して [IPv4 設定] を選択し、[OK] キーを押します。

☰ ネットワーク設定	1/2	◆	OK
イーサネット			
Wi-Fi設定			
IPv4 設定			

5. [▲] [▼] キーを押して [DHCP] を選択し、[OK] キーを押します。

☰ IPv4 設定	1/2	◆	OK
DHCP			
IP アドレス			
サブネットマスク			

6. [▲] [▼] キーを押して [無効] を選択し、[OK] キーを押します。

7. [▲] [▼] キーを押して [IP アドレス] を選択し、[OK] キーを押します。

☰ IPv4 設定	1/2	◆	OK
DHCP			
IP アドレス			
サブネットマスク			

8. テンキーで本機の IPv4 アドレスを入力し、[OK] キーを押します。

IPアドレス	◀▶	OK				
10	.	16	.	10	.	134

[◀] [▶] キーでフィールドを移動できます。

9. [▲] [▼] キーを押して [サブネットマスク] を選択し、[OK] キーを押します。
10. テンキーでサブネットマスクを入力し、[OK] キーを押します。
[◀] [▶] キーでフィールドを移動できます。
11. [▲] [▼] キーを押して [ゲートウェイアドレス] を選択し、[OK] キーを押します。
12. テンキーでゲートウェイアドレスを入力し、[OK] キーを押します。
[◀] [▶] キーでフィールドを移動できます。
13. [初期設定] キーを押して初期画面に戻ります。

14. 再起動を要求されたときは、本機の電源を一度切ってから、もう一度入れ直してください。
15. システム設定リストを印刷して、設定を確認してください。
システム設定リストの印刷方法は、P.151 「リスト/レポートを印刷する」を参照してください。

↓ 補足

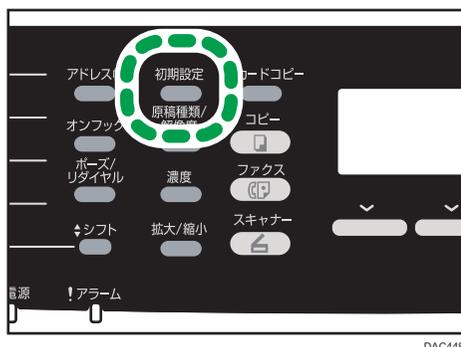
- [DHCP] が有効になっているときは、手動で指定した IPv4 アドレスは使用されません。

IPv4 アドレスを自動的に取得する

★ 重要

- IPv4 アドレスを自動的に取得するには、DHCP サーバーが必要です。

1. [初期設定] キーを押します。



2. [▲] [▼] キーを押して [ネットワーク設定] を選択し、[OK] キーを押します。
3. パスワードが設定されているときは、管理者のパスワードを入力し [OK] キーを押します。
4. [▲] [▼] キーを押して [IPv4 設定] を選択し、[OK] キーを押します。
5. [▲] [▼] キーを押して [DHCP] を選択し、[OK] キーを押します。
6. [▲] [▼] キーを押して [有効] を選択し、[OK] キーを押します。
7. [初期設定] キーを押して初期画面に戻ります。
8. 再起動を要求されたときは、本機の電源を一度切ってから、もう一度入れ直してください。

9. システム設定リストを印刷して、設定を確認してください。

システム設定リストの印刷方法は、P.151 「リスト/レポートを印刷する」を参照してください。

IPv4 アドレスの設定は、システム設定リストの「TCP/IP」欄に表示されます。

↓ 補足

- [DHCP] が有効になっているときは、手動で指定した IP アドレスは使用されません。

PC ファクストライバーをインストールする

PC ファクス機能を使用するためのドライバーは、付属の CD-ROM からインストールできます。

パソコンに CD-ROM をセットすると、自動的に CD-ROM が起動してメニューが表示されます。ここから、PC ファクストライバーをインストールしてください。ネットワーク環境で使用しているときは TCP/IP ポートに、USB 接続で使用しているときは USB ポートにインストールします。

★重要

- PC ファクストライバーは、Windows XP/Vista/7/8、Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2/2012 に対応しています。

PC ファクストライバー（TCP/IP ポートを使用する）

以下の手順で、PC ファクストライバーを TCP/IP ポートにインストールしてください。

★重要

- ここでは、Windows 7 を例に手順を説明しています。操作手順は、使用している OS によって異なることがあります。
- この操作をするには、Windows のログオン時に管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーでログオンしてください。
- この手順を始める前に、本機に IP アドレスを割り当ててください。詳しくは P.49 「IP アドレスの設定をする」を参照してください。

1. この使用説明書以外のアプリケーションを終了します。
2. 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。
[自動再生] ダイアログが表示されたら、[SETUP.EXE の実行] をクリックします。
3. [PC FAX ドライバー] をクリックします。
4. ソフトウェア使用許諾契約書を読み、[同意します] をクリックし、[次へ] をクリックします。
5. セットアップの種別を選択し、[次へ] をクリックします。
6. プリンターの追加方法を選択し、[次へ] をクリックします。
[プリンターを自動検索する] が選択されていることを確認します。
[IP アドレスを指定して検索する]、または [ポートの選択または、ポートの作成を行う] を選択することもできます。
7. 本機の電源がオンになっていることと、ネットワークに接続していることを確認し、[次へ] をクリックします。

8. プリンターを選択し、[次へ] をクリックします。
9. [プリンタードライバーの導入] ダイアログで本機の名前を選択し、必要な設定をしてから [完了] をクリックします。
10. インストールが正常に完了したとメッセージが表示されたら、[完了] をクリックします。

再起動が必要なときは、今すぐ再起動するか、あとで再起動するかを選択してください。

↓ 補足

- Windows 8 または Windows Server 2012 のときは、[自動再生] ダイアログが数秒間しか表示されません。[自動再生] ダイアログが消えたときは、以下の手順で CD-ROM を再生してください。
 1. チャームバーで [検索] をクリックし、[コンピューター] をクリックします。
 2. 付属の CD-ROM がセットされているドライブをダブルクリックし、Setup.exe を起動します。

PC ファクスドライバー (USB ポートを使用する)

以下の手順で、PC ファクスドライバーを USB ポートにインストールしてください。

★ 重要

- PC ファクスドライバーをインストールする前に、[USB おすすめインストール] でプリンタードライバーをインストールし、ドライバーのプロパティでどの USB ポートを使用しているか確認してください。
- ここでは、Windows 7 を例に手順を説明しています。操作手順は、使用している OS によって異なることがあります。
- この操作をするには、Windows のログオン時に管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーでログオンしてください。
- 本機の電源が入っていないことと、USB ケーブルが接続されていないことを確認してから、インストールを始めてください。

プリンタードライバーをインストールする (USB おすすめインストール)

1. この使用説明書以外のアプリケーションを終了します。
2. 本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。
[自動再生] ダイアログが表示されたら、[SETUP.EXE の実行] をクリックします。
3. [USB おすすめインストール] をクリックします。

4. ソフトウェア使用許諾契約書を読み、[同意します] をクリックし、[次へ] をクリックします。
5. セットアップの種別を選択し、[次へ] をクリックします。
6. プリンターを選択し、[次へ] をクリックします。
7. 本機の電源がオフで、USB ケーブルが接続されていないことを確認し、[次へ] をクリックします。
ファイルのコピーが完了するまで、しばらく待ちます。
8. USB ケーブルで本機とパソコンを接続してから本機の電源を入れます。
自動検出が始まります。
自動検出を中止するには [自動認識中止] をクリックしてください。
9. 本機を通常使うプリンターに設定するときは、[はい] を選択します。
10. インストールが正常に完了したとメッセージが表示されたら、[完了] をクリックします。
再起動が必要なときは、今すぐ再起動するか、あとで再起動するかを選択してください。

PC ファクスドライバーをインストールする

1. この使用説明書以外のアプリケーションを終了します。
2. 本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。
[自動再生] ダイアログが表示されたら、[SETUP.EXE の実行] をクリックします。
3. [PC FAX ドライバー] をクリックします。
4. [次へ] をクリックします。
5. ソフトウェア使用許諾契約書を読み、[はい] をクリックします。
6. インストールが正常に完了したとメッセージが表示されたら、[完了] をクリックします。

ダイレクト機能呼び出し機能を設定する

よく使用する機能を操作部の [ID カードコピー] キーに事前に設定しておくことで、キー操作ひとつでファクスの機能が呼び出せます。

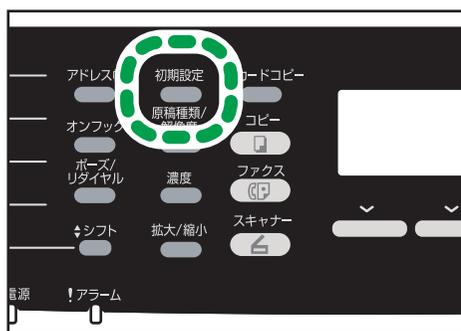
★重要

- 操作部または Web Image Monitor から設定できます。
 - ファクス自動印刷設定
 - ファクス直接送信
 - ファクスアドレス帳

2

操作部を使用して機能を設定する

1. [初期設定] キーを押します。



DAC448

2. [▲] [▼] キーを押して [管理者用設定] を選択し、[OK] キーを押します。
3. パスワードが設定されているときは、管理者のパスワードを入力し [OK] キーを押します。
4. [▲] [▼] キーを押して [ダイレクト機能呼び出し設定] を選択し、[OK] キーを押します。
5. [▲] [▼] キーを押して登録したい機能を選択し、[OK] キーを押します。
6. [初期設定] キーを押して初期画面に戻ります。

↓補足

- [管理者用設定をロック] で、[管理者用設定] メニューにアクセスするためのパスワードを設定できます。詳しくは、P.147 「管理者用設定」を参照してください。

Web Image Monitor で設定する

★重要

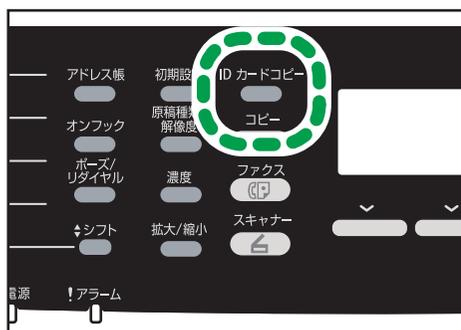
- [ダイレクト機能呼び出し] タブは、[管理者] ページで管理者用のパスワードが設定されているときに表示されます。
1. Web ブラウザーを起動し、アドレスバーに"http:// (本機の IP アドレス) /"と入力して本機にアクセスします。
 2. [システム初期設定] をクリックして [ダイレクト機能呼び出し] タブをクリックします。



3. 設定する機能を選択します。
4. 管理者のパスワードを入力します。
5. [OK] をクリックします。
6. Web ブラウザーを終了します。

設定呼び出し機能を使用する

1. [ID カードコピー] キーを押します。



DAC444

設定された機能が呼び出されます。

ユーザーが使用できる機能を制限する

対象機種：RICOH SP C251SF

本機の機能の一部は、ユーザーコードによる認証を要求するように設定できます。
この機能を使用するときは、Web Image Monitor で設定してください。

↓ 補足

- Web Image Monitor について詳しくは、P.155 「Web Image Monitor を使用する」を参照してください。

ユーザーが使用できる機能を設定する

許可されたユーザーだけが本機の機能を使えるように制限する方法を説明します。

Web Image Monitor を使って以下の機能の中から制限したい機能を選択し、その機能を使えるユーザーを登録します。使える機能は、ユーザーごとに設定できます。

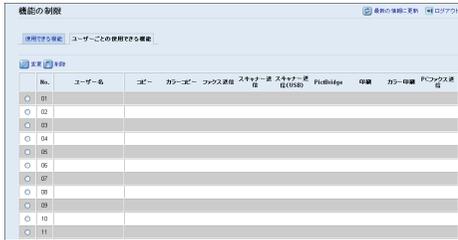
- ファクスの送信
- PC ファクスの送信

最大 30 件のユーザーを登録できます。

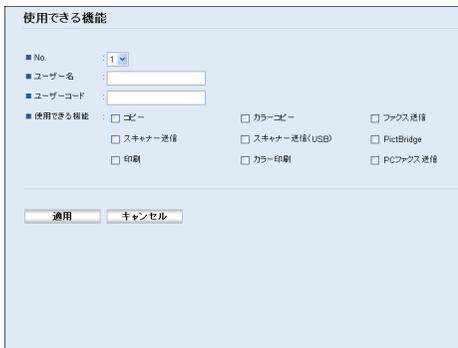
1. Web ブラウザーを起動し、アドレスバーに"http:// (本機の IP アドレス) /"と入力して本機にアクセスします。
2. [機能の制限] をクリックします。
3. パスワードが設定されているときは、管理者のパスワードを入力し [適用] をクリックします。



4. [使用できる機能] で制限したい機能に [制限する] を選択し、[適用] をクリックします。
5. [ユーザーごとの使用できる機能] をクリックします。
登録されているユーザーのリストが表示されます。



6. ユーザーを選択し、[変更] をクリックします。



7. [ユーザー名] にユーザー名（半角英数字で最大 16 文字）を入力します。

8. [ユーザーコード] にユーザーコード（最大 8 桁の数字）を入力します。

ユーザーコードは、制限された機能の使用を認証するために使用します。

9. 認証によって使用を許可する機能を選択します。

ここで選択しなかった機能は、このユーザーのユーザーコードで認証しても、使用できません。

10. [適用] をクリックします。

11. Web ブラウザーを終了します。

↓ 補足

- ユーザーを登録するには、ユーザー名とユーザーコードを両方とも入力してください。
- 同じユーザー名やユーザーコードは重複して登録できません。

ユーザーの登録内容を変更する

登録されているユーザーの登録内容を変更する方法を説明します。

1. Web ブラウザーを起動し、アドレスバーに"http://（本機の IP アドレス）/"と入力して本機にアクセスします。

2. [機能の制限] をクリックします。

3. パスワードが設定されているときは、管理者のパスワードを入力し [適用] をクリックします。
4. [ユーザーごとの使用できる機能] をクリックします。
登録されているユーザーのリストが表示されます。
5. 変更するユーザーを選択し、[変更] をクリックします。
6. 登録内容を変更します。
7. [適用] をクリックします。
8. Web ブラウザーを終了します。

登録されているユーザーを削除する

登録されているユーザーを削除する方法を説明します。

1. Web ブラウザーを起動し、アドレスバーに"http:// (本機の IP アドレス) /"と入力して本機にアクセスします。
2. [機能の制限] をクリックします。
3. パスワードが設定されているときは、管理者のパスワードを入力し [適用] をクリックします。
4. [ユーザーごとの使用できる機能] をクリックします。
登録されているユーザーのリストが表示されます。
5. 削除するユーザーを選択し、[削除] をクリックします。
6. 選択したユーザーが、削除するユーザーであることを確認します。
7. [適用] をクリックします。
8. Web ブラウザーを終了します。

使用できる機能が制限されているとき

対象機種： RICOH SP C251SF

使用できる機能が制限されているときは、許可されたユーザーだけがその機能を使用できます。

機能を使用するための認証は、制限されている機能によって、操作部か PC ファクスドライバーでユーザーコードを入力します。

制限できる機能の種類と制限されたときの認証の方法は次のとおりです。

制限できる機能	認証の方法
ファクスの送信	[白黒スタート] キーを押すと、ユーザーコードの入力を要求されます。 操作部で、正しいユーザーコードを入力してください。
PC ファクスの送信	送信する前に、PC ファクスドライバーで正しいユーザーコードを入力してください。

操作部で認証する

1. ユーザーコードの入力を要求されたら、テンキーでユーザーコードを入力します。
ユーザーコードを3回間違えると、本機からビープ音が鳴り、認証が拒否されます。
2. [OK] キーを押します。

PC ファクスドライバーで認証する

実際の操作は、使用しているアプリケーションによって多少異なることがあります。

1. 送信するファイルをパソコンで開きます。
2. ドライバーのプロパティを開きます。
3. [ユーザーコード] をクリックします。
4. ユーザーコードを入力し（最大8桁の数字）、[OK] をクリックします。
5. 送信コマンドを実行します。

ユーザーコードが正しくなかったときは、自動的にジョブがキャンセルされます。エラーメッセージは表示されません。

3. ファクスモードの切り替え

ファクスモードの説明をします。

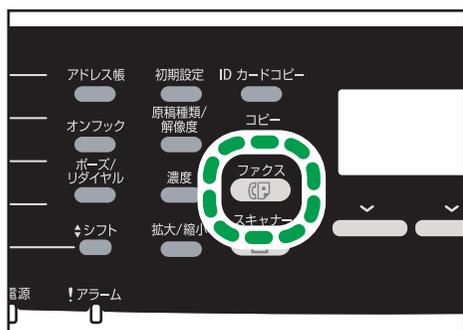
ファクスモード画面

ファクスモード画面の説明をします。

初期設定では、電源を入れるとコピーモード画面が表示されます。

コピーかスキャナーモード画面が表示される時は、操作部の [ファクス] キーを押してファクスモード画面に切り替えてください。

3



DAC446

初期画面



DAC118

1. 本機の現在の状態やメッセージ
本機の現在の状態やメッセージを表示します。
2. 現在の設定
現在設定されている解像度と濃度を表示します。
3. 選択キーの項目
選択キーを押して使用できる機能を表示します。
4. 現在の日時
現在の日時を表示します。

↓ 補足

- 本機の電源を入れたときのモードは、[管理者用設定] の [優先機能] で設定できます。詳しくは、P.64 「優先機能を設定する」を参照してください。

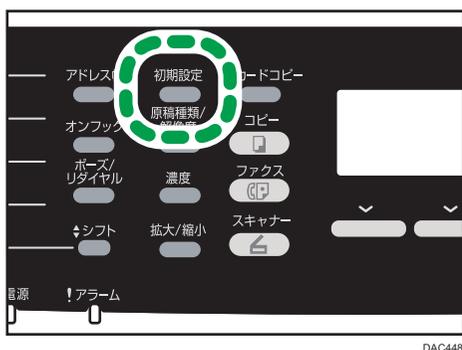
- 日時の表示形式は、[管理者用設定] の [年月日/時刻設定] で設定できます。詳しくは、P.35「日時を設定する」を参照してください。

優先機能を設定する

本機は、電源を入れたとき、または待機状態のまま [システムオートリセット時間設定] で設定した時間が経過したとき、コピーモードが起動するように初期設定されています。電源を入れたときに起動するモードを [ファクス] に変更する方法を説明します。

3

1. [初期設定] キーを押します。



2. [▲] [▼] キーを押して [管理者用設定] を選択し、[OK] キーを押します。
3. パスワードが設定されているときは、管理者のパスワードを入力し [OK] キーを押します。
4. [▲] [▼] キーを押して [優先機能] を選択し、[OK] キーを押します。
5. [▲] [▼] キーを押して [ファクス] を選択し、[OK] キーを押します。
6. [初期設定] キーを押して初期画面に戻ります。

↓ 補足

- [管理者用設定をロック] で、[管理者用設定] メニューにアクセスするためのパスワードを設定できます。詳しくは、P.147「管理者用設定」を参照してください。

4. あて先を登録する

操作部または Web Image Monitor を使って、アドレス帳にあて先を登録する方法を説明します。アドレス帳を使用すると、ファクスのあて先をすばやく指定できます。

操作部であて先を登録する

操作部を使ってあて先を登録する方法を説明します。

★重要

- アドレス帳のデータは、不意に破損したり、失われることがあります。弊社では、データの喪失によるあらゆる損害に対する一切の責任を負いかねます。アドレス帳のバックアップファイルを定期的に作成してください。バックアップファイルの作成方法は、P.178「本機の設定をバックアップする」を参照してください。

アドレス帳には、ワンタッチダイヤル（最大 20 件）と短縮ダイヤル（最大 200 件）が登録できます。[ワンタッチキー宛先リスト]、[ファクス短縮番号宛先リスト] で、登録したあて先を確認できます。詳しくは、P.151「リスト/レポートの種類」を参照してください。

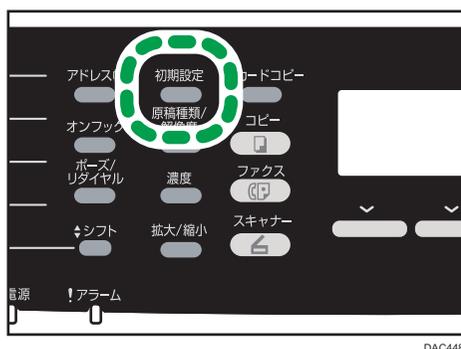
ワンタッチダイヤル

ワンタッチダイヤルに登録したあて先は、ワンタッチキーで選択できます。

短縮ダイヤル

短縮ダイヤルに登録したあて先は、[アドレス帳] キーで選択できます。

1. [初期設定] キーを押します。



2. [▲] [▼] キーを押して [アドレス帳] を選択し、[OK] キーを押します。

[管理者用設定] の [ダイレクト機能呼出し設定] を [ファクスアドレス帳] に設定すると、[ID カードコピー] キーを押して直接アドレス帳メニューにアクセスできます。詳しくは、P.56「ダイレクト機能呼び出し機能を設定する」を参照してください。

3. パスワードが設定されているときは、管理者のパスワードを入力し [OK] キーを押します。
4. [▲] [▼] キーを押し、[ワンタッチキー宛先]、または [ファクス短縮番号宛先] を選択し、[OK] キーを押します。
5. [▲] [▼] キーを押して [No.] を選択し、テンキーでワンタッチダイヤルの番号 (1~20) か短縮ダイヤルの番号 (1~200) を入力します。
すでにあて先が登録されている番号を入力すると、登録内容が表示されます。
6. [▲] [▼] キーを押して [Fax No.] を選択し、テンキーでファクス番号 (最大 40 桁) を入力します。
7. [▲] [▼] キーを押して [名前] を選択し、テンキーであて先名 (半角英数字/半角カナで最大 20 文字) を入力します。
文字入力について詳しくは、P.42 「文字を入力する」を参照してください。
8. 設定を確認してから [OK] キーを押します。
9. [初期設定] キーを押して初期画面に戻ります。

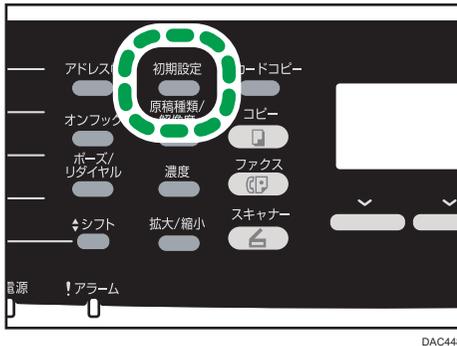
↓ 補足

- ファクス番号には、0~9 までの数字、ポーズ、「*」、「#」、スペースが使用できません。
- あて先名に漢字・ひらがなは入力できません。
- 必要であれば、ファクス番号の間にポーズを入れます。ポーズを入れると、ポーズ前後の番号がダイヤルされる間に短い間隔が空きます。ポーズの長さは、ファクス送信設定の [ポーズ時間] で設定できます。詳しくは、P.135 「ファクス送信設定」を参照してください。
- パルス方式の電話回線でトーン方式のサービスを受けるには、ファクス番号に「*」を入れます。「*」を入れると、一時的にパルス回線でトーン信号を発信できます。
- 本機が PBX を経由して電話回線に接続されているときは、[内線アクセス番号] で設定されている外線発信番号を、ファクス番号の先頭に入力してください。詳しくは、P.34 「外線発信番号を設定する」を参照してください。
- インターネットファクスのあて先 (メールアドレス) は、Web Image Monitor で登録してください。詳しくは、P.69 「Web Image Monitor であて先を登録する」を参照してください。
- [管理者用設定をロック] で、アドレス帳メニューにアクセスするためのパスワードを設定できます。詳しくは、P.147 「管理者用設定」を参照してください。

操作部であて先を修正する

登録したあて先を修正する方法を説明します。

1. [初期設定] キーを押します。



2. [▲] [▼] キーを押して [アドレス帳] を選択し、[OK] キーを押します。
3. パスワードが設定されているときは、管理者のパスワードを入力し [OK] キーを押します。
4. [▲] [▼] キーを押し、[ワンタッチキー宛先]、または [ファクス短縮番号宛先] を選択し、[OK] キーを押します。
5. [▲] [▼] キーを押して [No.] を選択し、テンキーでワンタッチダイヤルの番号 (1~20) か短縮ダイヤルの番号 (1~200) を入力します。
登録されている内容が表示されます。
6. [▲] [▼] キーを押して [Fax No.] を選択し、テンキーでファクス番号 (最大 40 桁) を修正します。
7. [▲] [▼] キーを押して [名前] を選択し、テンキーであて先名 (半角英数字/半角カナで最大 20 文字) を修正します。
8. 設定を確認してから [OK] キーを押します。
9. [初期設定] キーを押して初期画面に戻ります。

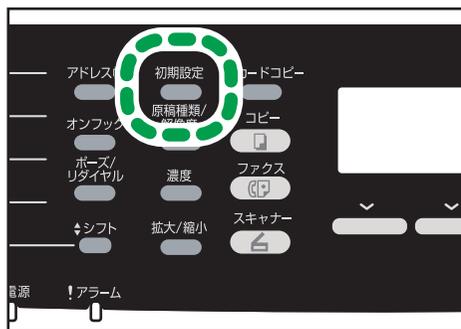
↓ 補足

- [管理者用設定をロック] で、[アドレス帳] メニューにアクセスするためのパスワードを設定できます。詳しくは、P.147 「管理者用設定」を参照してください。

操作部であて先を削除する

あて先の登録情報を削除する方法を説明します。

1. [初期設定] キーを押します。



DAC448

4

2. [▲] [▼] キーを押して [アドレス帳] を選択し、[OK] キーを押します。
3. パスワードが設定されているときは、管理者のパスワードを入力し [OK] キーを押します。
4. [▲] [▼] キーを押し、[ワンタッチキー宛先]、または [ファクス短縮番号宛先] を選択し、[OK] キーを押します。
5. [▲] [▼] キーを押して [No.] を選択し、テンキーでワンタッチダイヤルの番号 (1~20) か短縮ダイヤルの番号 (1~200) を入力します。
登録されている内容が表示されます。
6. [▲] [▼] キーを押して [Fax No.] を選択し、すべての番号を [◀] キーで削除します。
7. [▲] [▼] キーを押して [名前] を選択し、すべての文字を [◀] キーで削除します。
8. 設定を確認してから [OK] キーを押します。
9. [初期設定] キーを押して初期画面に戻ります。

↓ 補足

- [管理者用設定をロック] で、[アドレス帳] メニューにアクセスするためのパスワードを設定できます。詳しくは、P.147 「管理者用設定」を参照してください。

Web Image Monitor であて先を登録する

Web Image Monitor を使って、ファクスのあて先を登録できます。ワンタッチダイヤルは最大 20 件、短縮ダイヤルは最大 200 件登録できます。Web Image Monitor の使用については、P.155 「Web Image Monitor を使用する」を参照してください。

★重要

- アドレス帳のデータは、不意に破損したり、失われることがあります。弊社では、データの喪失によるあらゆる損害に対する一切の責任を負いかねます。アドレス帳のバックアップファイルを定期的に作成してください。バックアップファイルの作成方法は、P.178 「本機の設定をバックアップする」を参照してください。

ファクス宛先登録/変更設定

項目	設定	説明
ワンタッチキー番号/短縮番号	必須	ワンタッチダイヤル、または短縮ダイヤルに登録したい番号を選択します。1 件のワンタッチダイヤルに、ファクスあて先とインターネットあて先の両方が登録できます。
名前	任意	あて先名です。あて先を選択するとき、ここで設定したあて先名が画面に表示されます。半角英数字/半角カナで 20 文字まで入力できます。
ファクス番号	必須	あて先のファクス番号です。半角英数字で 40 桁入力できます。 本機が PBX を経由して電話回線に接続されているときは、[内線アクセス番号] で設定されている外線発信番号を、ファクス番号の先頭に入力してください。詳しくは、P.34 「外線発信番号を設定する」を参照してください。
メール宛先	任意	インターネットファクスのあて先となるメールアドレスです。半角英数字で 64 桁入力できます。 この項目は、RICOH SP C251SF で設定できます。

1. Web ブラウザーを起動し、アドレスバーに"http:// (本機の IP アドレス) /"と入力して本機にアクセスします。
2. [ワンタッチキー宛先] または [ファクス短縮番号宛先] をクリックします。
3. [宛先種別] リストから [ファクス宛先] を選択します。

4. [ワンタッチキー番号] または [短縮番号] を選択し、リストから登録番号を選択します。
5. 必要に応じて [名前]、[ファクス番号]、[メール宛先] を登録します。
インターネットファクスを送信するときは、[メール宛先] を登録してください。
6. パスワードが設定されているときは、管理者のパスワードを入力してください。
7. [適用] をクリックします。
8. Web ブラウザーを終了します。

↓ 補足

4

- ファクス番号には、0～9 までの数字、ポーズ、「*」、「#」、「-」、スペースが使用できません。
- 名前に漢字・ひらがなは入力できません。使用できる文字は、操作部で入力できる文字と同じです。使用できる文字について詳しくは、P.42 「文字を入力する」を参照してください。
- 必要であれば、ファクス番号の間にポーズを入れます。ポーズを入れると、ポーズ前後の番号がダイヤルされる間に短い間隔が空きます。ポーズの長さは、ファクス送信設定の [ポーズ時間] で設定できます。詳しくは、P.135 「ファクス送信設定」を参照してください。
- パルス方式の電話回線でトーン方式のサービスを受けるには、ファクス番号に「*」を入れます。「*」を入れると、一時的にパルス回線でトーン信号を発信できます。
- [ワンタッチキー宛先リスト]、[ファクス短縮番号宛先リスト] で、登録したあて先を確認できます。詳しくは、P.151 「リスト/レポートの種類」を参照してください。

Web Image Monitor であて先を修正する

登録したあて先を修正する方法を説明します。

1. Web ブラウザーを起動し、アドレスバーに"http:// (本機の IP アドレス) /"と入力して本機にアクセスします。
2. [ワンタッチキー宛先] または [ファクス短縮番号宛先] をクリックします。
短縮ダイヤルの登録先を修正するときは、手順 4 に進んでください。
3. [ファクスワンタッチキー宛先] タブをクリックします。
4. 修正したいあて先を選択し、[変更] をクリックします。
5. 必要に応じて設定を修正します。
6. パスワードが設定されているときは、管理者のパスワードを入力してください。

7. [適用] をクリックします。
8. Web ブラウザーを終了します。

Web Image Monitor であて先を削除する

あて先の登録情報を削除する方法を説明します。

1. Web ブラウザーを起動し、アドレスバーに"http:// (本機の IP アドレス) /"と入力して本機にアクセスします。
2. [ワンタッチキー宛先] または [ファクス短縮番号宛先] をクリックします。
短縮ダイヤルの登録先を削除するときは、手順 4 に進んでください。
3. [ファクスワンタッチキー宛先] タブをクリックします。
4. 削除したいあて先を選択し、[削除] をクリックします。
5. 削除したい項目を選択していることを確認します。
6. パスワードが設定されているときは、管理者のパスワードを入力してください。
7. [適用] をクリックします。
8. Web ブラウザーを終了します。

5. 送信する

ファクスの送信モードと、ファクスを送信するときの基本操作を説明します。

送信モードを選択する

送信モードには、メモリー送信と直接送信があります。

★重要

- 大切な原稿を送信するときは、相手先に連絡して内容を確認することをお勧めします。
- メモリー送信モードでファクスを送っている途中で問題が起こったときは、ファクスの内容はメモリーに保存されます。

メモリー送信

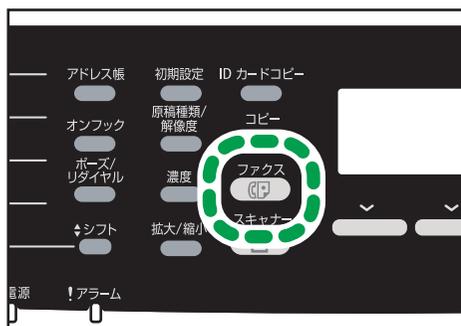
このモードでは、原稿をいったんメモリーに読み込んでから一度に送信します。急いで原稿を持ち帰るときに便利です。このモードを使用すると、複数のあて先にファクスを送信できます。

ファクス送信設定の[自動リダイヤル]設定を有効にすると、回線が使用中だったりエラーが起きたときに、あて先が自動的にリダイヤルされます。リダイヤルは、5分間隔で3回行われます。詳しくは、P.135「ファクス送信設定」を参照してください。自動リダイヤルをキャンセルする方法は、P.81「原稿の読み取り後に送信を取り消す(送信待機中のとき)」を参照してください。

直接送信

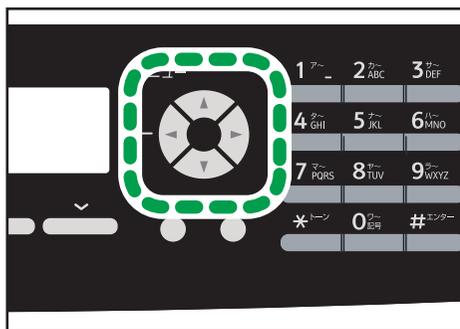
このモードでは、原稿が読み取りと同時にファクス送信されます。急いで送信するときや、送信している相手先を確認するとき便利です。原稿は、メモリーには保存されません。このモードで指定できるあて先は、1件だけです。相手先でファクスが正常に受信されなかったときは、操作部の画面に「送信エラー」と表示されます。

1. [ファクス] キーを押します。



DAC446

2. [◀] [▶] キーを押します。



DAC457

[管理者用設定] の [ダイレクト機能呼出し設定] を [ファクス直接送信] に設定すると、[ID カードコピー] キーを押して直接送信を選択できます。詳しくは、P.56「ダイレクト機能呼び出し機能を設定する」を参照してください。

5

3. [▲] [▼] キーを押して [直接送信] を選択し、[OK] キーを押します。

4. [▲] [▼] キーを押して [しない]、[する]、または [次の送信のみ] を選択し、[OK] キーを押します。

メモリー送信をするときは、[しない] を選択します。

直接送信をするときは、[する] または [次の送信のみ] を選択します。

5. [初期設定] キーを押して初期画面に戻ります。

↓ 補足

- 工場出荷時は、[直接送信] は [しない] に設定されています。

インターネットファクス使用上のご注意

対象機種：RICOH SP C251SF

インターネットファクスでは、インターネットを通してファクスの送信ができます。インターネットファクスのあて先にファクスを送信すると、本機は読み取った画像を TIFF-F 形式のファイルに変換し、メールの添付ファイルとして送信します。POP3、インターネットファクスの設定について詳しくは、P.172 「POP3 の設定をする」、P.172 「インターネットファクスの設定をする」を参照してください。

★重要

- インターネットを使った通信は秘匿性が低いので、重要な書類は電話回線を使用した通常のファクス送信をお勧めします。
- インターネットファクスは、原稿をメモリーへ蓄積してファイルに変換してから送信するので、原稿の量やネットワーク回線の状態によっては送信までに時間がかかることがあります。緊急を要するファクスは、電話回線を利用した通常のファクスで送信してください。

↓補足

- インターネットファクスを送受信するには、機器メールアドレス、または管理者メールアドレスのどちらかの登録が必要です。[機器メールアドレス] の設定について詳しくは、P.171 「SMTP の設定をする」を参照してください。[管理者メールアドレス] の設定について詳しくは、P.177 「管理者用のメールアドレスとパスワードを設定する」を参照してください。
- 本機のインターネットファクス機能は、ITU-T 勧告 T.37（シンプルモード）に準拠しています。
- インターネットファクスを使用するには、本機をネットワークに接続し、ネットワーク関連の各種設定が必要です。本機をネットワークに接続する方法は、P.44 「ネットワークケーブルで接続する」を参照してください。その他のネットワーク関連の設定について詳しくは、P.166 「ネットワークの設定をする」を参照してください。
- パソコンやネットワークなどの環境によっては、メールサイズが大きいと送信できないことがあります。
- インターネットファクスは A4 サイズで送信されます。A4 より大きな原稿を送信すると、自動的に A4 サイズに縮小されます。
- インターネットファクス送信では、解像度で [写真] を選択していても、[小さな字] の設定で送信されます。
- インターネットファクスは TIFF-F 形式の画像ファイルで送信されます。そのため、相手先がパソコンで受信したファクスを見るには、この画像形式に対応したビューアーアプリケーションが必要です。

- インターネットファクスあて先の登録は操作部からはできません。Web Image Monitor から登録してください。登録方法は、P.69「Web Image Monitor であて先を登録する」を参照してください。

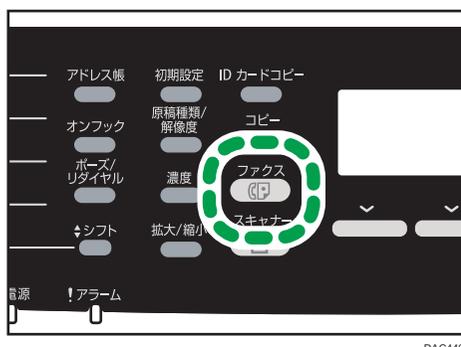
基本的なファクスの送りかた

ファクス送信の基本的な操作を説明します。

★重要

- ADF と原稿ガラスの両方に原稿がセットされているときは、ADF の原稿が優先されません。

1. [ファクス] キーを押します。



DAC446

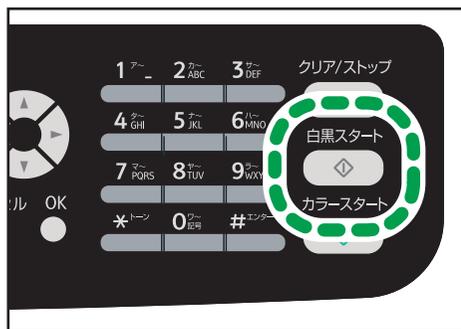
2. 原稿ガラスの上か ADF に原稿をセットします。

必要に応じて、読み取り方法を設定してください。詳しくは、P.91 「読み取り方法を設定する」を参照してください。

3. テンキーでファクス番号（最大 40 桁）を入力するか、ワンタッチキーか短縮ダイヤルであて先を指定します。

- 本機が PBX を経由して電話回線に接続されているときは、[内線アクセス番号] で設定されている外線発信番号を、ファクス番号の先頭に入力してください。詳しくは、P.34 「外線発信番号を設定する」を参照してください。
- インターネットファクスのあて先は、ワンタッチキーか短縮ダイヤルで指定してください。
- あて先を指定するその他の方法は、P.83 「あて先を指定する」を参照してください。

4. [白黒スタート] キーを押します。



- 本機の設定によっては、番号の再入力を求められます。60 秒以内に番号を再入力してください。入力した番号が一致しなかったら、手順 3 に戻ってください。詳しくは、P.88 「誤送信を防止する宛先の指定のしかた」を参照してください。
- メモリー送信モードで原稿ガラスを使用すると、追加の原稿をセットするようにメッセージが表示されます。この場合は、次の手順に進んでください。

5. 原稿ガラスを使って、ほかにも読み取る原稿があるときは、60 秒以内に [はい] を押し、原稿ガラスに原稿をセットしてから、[OK] を押します。この手順を繰り返し、すべての原稿を読み取ってください。

60 秒以内に [はい] が押されなかったときは、本機はあて先へのダイヤルを開始します。

6. すべての原稿を読み取ったら、[いいえ] を押してファクスを送信します。

↓ 補足

- 送信したファクスが正しく受信されたかどうかは通信管理レポートで確認できます。詳しくは P.151 「リスト/レポートを印刷する」を参照してください。
- ファクス番号には、0～9 までの数字、ポーズ、「*」、「#」、スペースが使用できます。
- 必要であれば、ファクス番号の間にポーズを入れます。ポーズを入れると、ポーズ前後の番号がダイヤルされる間に短い間隔が空きます。ポーズの長さは、ファクス送信設定の [ポーズ時間] で設定できます。詳しくは、P.135 「ファクス送信設定」を参照してください。
- パルス方式の電話回線でトーン方式のサービスを受けるには、ファクス番号に「*」を入れます。「*」を入れると、一時的にパルス回線でトーン信号を発信できます。
- [ポーズ/リダイヤル] キーで、最後に使ったあて先をリダイヤルできます。
- 複数のあて先に同報送信ができます
- 管理者用設定の [ファクス番号確認] が有効なとき、テンキーで番号を入力すると番号の再入力を求められます。ワンタッチキー、短縮ダイヤル、または [ポーズ/リダイヤル] キーであて先を指定したときは求められません。詳しくは、P.88 「誤送信を防止する宛先の指定のしかた」を参照してください。

- メモリー送信のときは、ファクス送信設定の〔自動リダイヤル〕設定を有効にすると、回線が使用中だったりエラーが起きたときなどに、あて先が自動的にリダイヤルされます。詳しくは、P.135「ファクス送信設定」を参照してください。自動リダイヤルをキャンセルする方法は、P.81「原稿の読み取り後に送信を取り消す（送信待機中のとき）」を参照してください。
- メモリー送信のときは、原稿読み取り中にメモリーがいっぱいになることがあります。この場合、送信を中止するか、または読み取りが完了したページまでを送信できます。
- 直接送信モードのときにインターネットファクスのあて先を指定すると、一時的にメモリー送信モードに変わります。
- 本機は、最大5件の未送信ジョブをメモリーに保存できます。

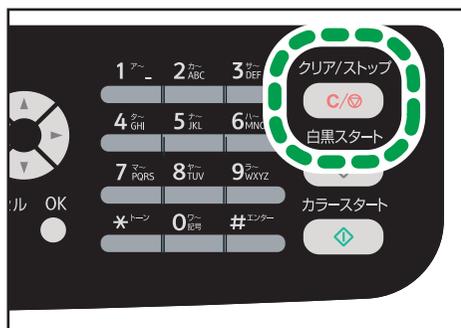
送信を取り消す

ファクスの送信を取り消す方法を説明します。

原稿を読み取る前に送信を取り消す

[白黒スタート] キーを押す前に取り消します。

1. [クリア/ストップ] キーを押します。



DAC459

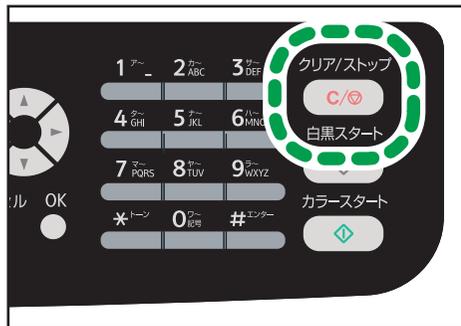
↓ 補足

- 自動原稿送り装置 (ADF) に原稿をセットしているときは、セットした原稿を取り除くと送信が取り消されます。

原稿の読み取り中に送信を取り消す

原稿の読み取り中に読み取りや送信を取り消す方法を説明します。

1. [クリア/ストップ] キーを押します。



DAC459

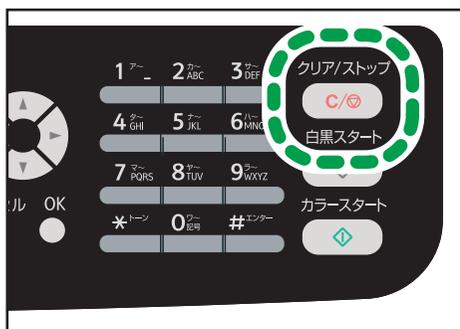
↓ 補足

- 取り消しの操作をしている間に読み取りが完了することがあります。

原稿の読み取り後に送信を取り消す（送信中のとき）

原稿を読み取ったあと、送信中に送信を取り消す方法を説明します。

1. 操作部の画面に [送信中] と表示されている間に [クリア/ストップ] キーを押します。



DAC459

↓ 補足

- 文書が送信中のときに取り消しの操作をしたときは、操作のあとすぐに通信を中断して取り消します。すでに送信が完了したページは取り消せません。
- 取り消しの操作をしている間に送信が終了してしまい、中止できないこともあります。インターネットファクス、メール宛先への送信、フォルダー宛先への送信時は、通信中の時間が短いので注意してください。
- 同報送信中にファクス送信をキャンセルすると、現在送信中のあて先だけがキャンセルされます。後続のあて先には通常どおり送信されます。

原稿の読み取り後に送信を取り消す（送信待機中のとき）

原稿を読み取ったあと、送信待機中に送信を取り消す方法を説明します。

自動リダイヤルで送信したときや、状態が「印刷待ち」、「送信待ち」の文書の送信もここで説明する手順で取り消せます。

1. ファクス初期画面が表示されていることを確認します。

初期画面について詳しくは、P.63「ファクスモード画面」を参照してください。

2. [ファイル削除] を押します。

○ 操作できます	
ふつう字	2013/12/01
ふつう	21:32
受信文書	ファイル削除

3. [▲] [▼] キーを押して [選択した文書を削除]、または [すべての文書を削除] を選択し、[OK] キーを押します。

- 選択した文書を削除
ファクスジョブを個別に消去するには、消去するジョブを選択し、[はい] を押します。[いいえ] を押すと、消去しないで前のメニューに戻ります。
- すべての文書を削除
すべてのファクスジョブを一度に消去するときは、[はい] を押します。[いいえ] を押すと、消去しないで前のメニューに戻ります。

4. [初期設定] キーを押して初期画面に戻ります。

↓ 補足

- 送信中のファクスジョブは画面に表示されません。
- 送信待機中の同報送信文書を取り消すと、すべてのあて先への送信がキャンセルされます。ただし、複数のあて先のうち、1件が送信中のときは、送信の取消はできません。

あて先を指定する

ファクスのあて先を指定する方法を説明します。

テンキーであて先を入力するほかに、以下の方法でもあて先を指定できます。

- ワンタッチキーを使用する
- 短縮ダイヤルを使用する
- 同報送信を使用する
- リダイヤル機能を使用する

↓ 補足

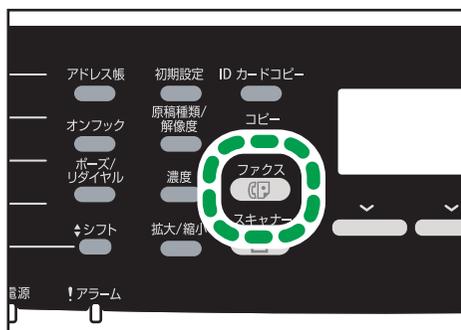
- よく使用するあて先はあらかじめアドレス帳に登録しておきます。詳しくは、P.65「あて先を登録する」を参照してください。
- 誤って相手先を入力したときでも、そのまま送信されないように設定できます。詳しくは、P.88「誤送信を防止する宛先の指定のしかた」を参照してください。

5

ワンタッチキーであて先を指定する

ワンタッチキーを使って、ワンタッチダイヤルに登録されているあて先を選択する方法を説明します。登録方法は、P.65「あて先を登録する」を参照してください。

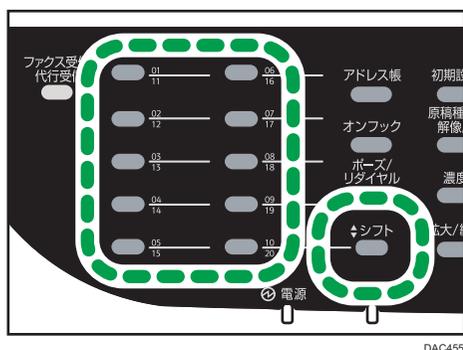
1. [ファクス] キーを押します。



DAC446

2. かけたいあて先が登録されているワンタッチキーを押します。

ワンタッチダイヤルの 11～20 を使用するときには、ワンタッチキーを押す前に [シフト] キーを押してください。



DAC455

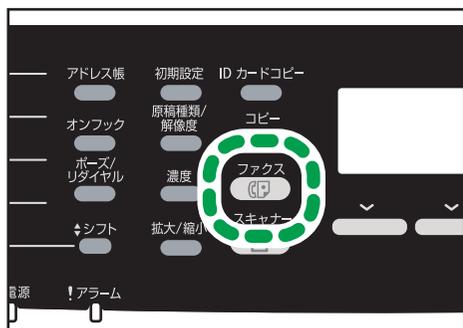
↓ 補足

- レポートを印刷して、登録したあて先名とファクス番号を確認できます。ワンタッチダイヤルリストを印刷する方法は、P.151「リスト/レポートを印刷する」を参照してください。

短縮ダイヤルであて先を指定する

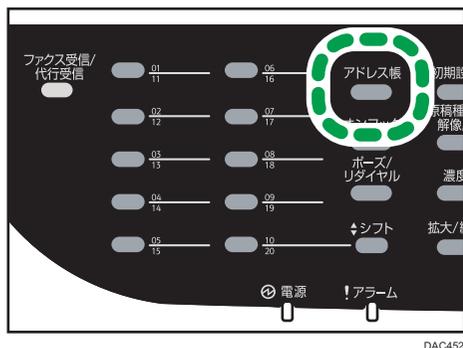
短縮ダイヤルに登録されているあて先を選択する方法を説明します。登録方法は、P.65「あて先を登録する」を参照してください。

1. [ファクス] キーを押します。



DAC446

2. [アドレス帳] キーを押します。



3. [アドレス帳検索] の表示を確認し、[OK] キーを押します。

短縮ダイヤルの番号や名前を検索するときは、以下の手順で検索してください。

- 番号で検索する
[アドレス帳] キーをもう一度押して、目的の番号をテンキーで入力します。

- 名前で検索する
目的の名前をテンキーで入力します。文字を入力していくと、一致するあて先が画面に表示されます。文字入力について詳しくは、P.42「文字を入力する」を参照してください。

4. [▲] [▼] キーを押して目的の短縮ダイヤルを選択し、[OK] キーを押します。

↓ 補足

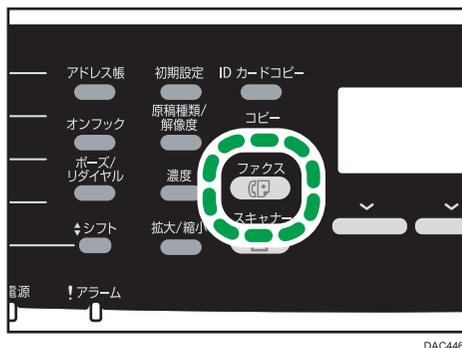
- アドレス帳からは短縮ダイヤルだけ検索できます。ワンタッチダイヤルは検索できません。
- レポートを印刷して、登録したあて先名とファクス番号を確認できます。

同報送信のあて先を指定する

同時に複数のあて先へファクスを送信できます。最大 100 件のあて先への同報送信ができます。通常のアて先とインターネットファクスのあて先を同時に指定できます。

あて先を指定した順番で、ファクスが送信されます。

1. [ファクス] キーを押します。



2. ワンタッチキー、短縮ダイヤル、またはテンキーであて先を指定します。

- ワンタッチキー：あて先が登録されているワンタッチキーを押します。
- 短縮ダイヤル：[アドレス帳] キーを押し、あて先を選択し、[OK] キーを押します。
- テンキーのあて先：[番号入力] を押して、あて先の番号を入力します。

3. [OK] キーを押します。

[リスト] を押すと、あて先を確認できます。

さらにあて先を追加するには、手順 2 に戻ってください。

↓ 補足

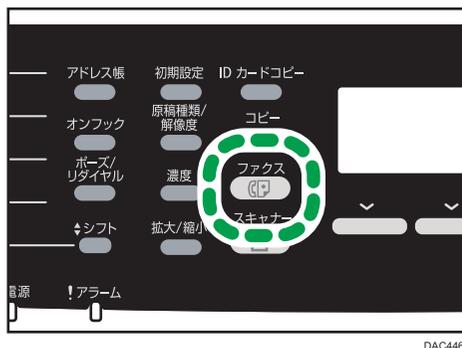
- 複数のあて先を選択中に [クリア/ストップ] キーを押すと、直前に選択したあて先をキャンセルできます。
- 直接送信モードで複数のあて先を指定すると、一時的にメモリー送信モードに変わります。
- 同報送信のあて先に、通常のあて先とインターネットファクスのあて先が両方含まれているとき、インターネットファクスのあて先からファクスが送信されます。

リダイヤル機能であて先を指定する

最後に使用したあて先を指定できます。

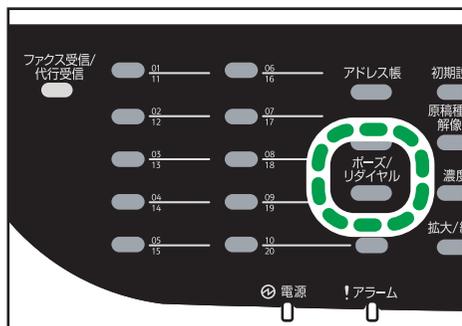
この機能は、あて先を毎回入力する必要がないため、続けて同じ番号へファクス送信するときに便利です。

1. [ファクス] キーを押します。



DAC446

2. [ポーズ/リダイヤル] キーを押します。



DAC454

↓ 補足

- 送信を取り消すときは、[クリア/ストップ] キーを押してください。

誤送信を防止する宛先の指定のしかた

誤って相手先を入力したときでも、そのまま送信されないように設定できます。相手先を繰り返し入力して誤送信を防止できます。

宛先を繰り返し入力する

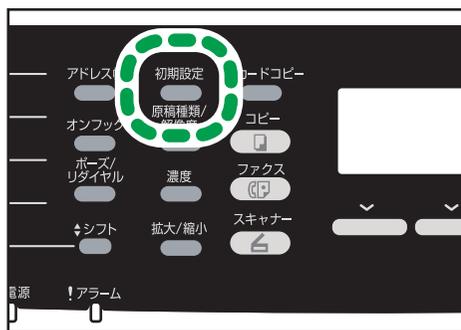
ファクス番号の入力を2度繰り返し、番号の入力間違いがないか確認します。

1度目と2度目の入力番号が異なると、文書は送信されません。この機能は、誤った相手先への送信を防止するのに役立ちます。

この設定は、[管理者用設定をロック] でパスワードが設定されているときに設定できません。[管理者用設定をロック] について詳しくは、P.147「管理者用設定」を参照してください。

5

1. [初期設定] キーを押します。



DAC448

2. [▲] [▼] キーを押して [管理者用設定] を選択し、[OK] キーを押します。
3. パスワードが設定されているときは、管理者のパスワードを入力し [OK] キーを押します。
4. [▲] [▼] キーを押して [ファクス番号確認] を選択し、[OK] キーを押します。
5. [▲] [▼] キーを押して [する] または [しない] を選択し、[OK] キーを押します。
6. [初期設定] キーを押して初期画面に戻ります。

便利な送信方法

便利なファクス機能を説明します。

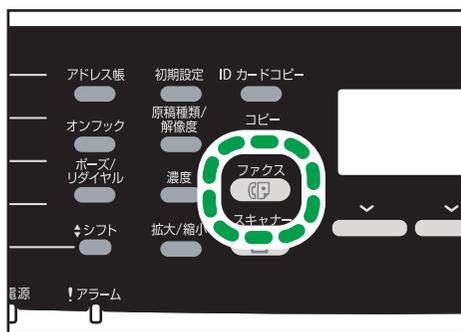
オンフックダイヤル

オンフックダイヤルを使用すると、ファクスを送信する前に相手の状況を確認できます。

★重要

- この機能を使用できるのは、直接送信モードだけです。送信モードの選択について詳しくは、P.73「送信モードを選択する」を参照してください。
- この機能は、インターネットファクスの送信には使用できません。
- この機能は、「ファクス番号確認」を「する」に設定しているときは、使用できません。詳しくは、P.88「誤送信を防止する宛先の指定のしかた」を参照してください。

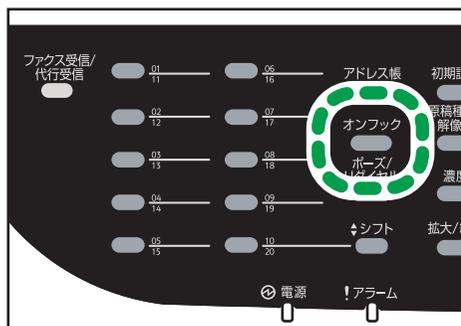
1. [ファクス] キーを押します。



DAC446

2. 原稿をセットします。

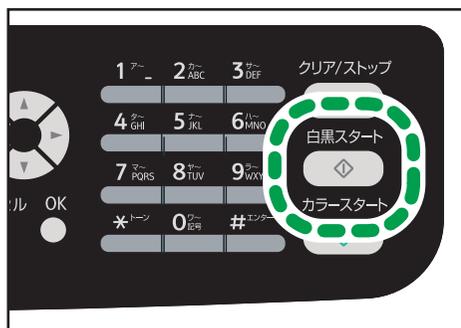
3. [オンフック] キーを押します。



DAC453

操作部の画面に「オンフック」と表示されます。

4. テンキーであて先を指定します。
5. ファクス音が聞こえたら、[白黒スタート] キーを押します。



DAC460

6. [送信] を押してから、[白黒スタート] キーを押します。

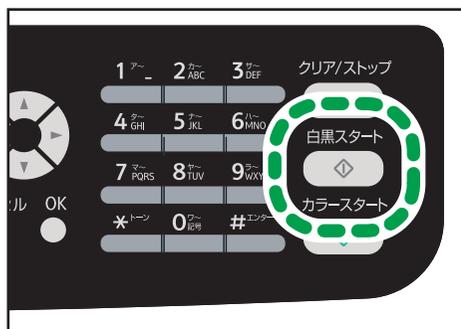
5

通話後にファクスを送信する

この機能は、外付け電話またはハンドセットを装着しているときに使用できます。外付け電話機の接続方法は、P.20「電話回線に接続する」を参照してください。

正しい相手先にファクスを送信したことを確認するときに便利です。

1. 原稿をセットします。
2. 外付け電話機の手話器を上げます。
3. 外付け電話機であて先をダイヤルします。
4. 相手が応答したら、ファクスのスタートボタンを押してもらいます。
5. ファクス音が聞こえたら、[白黒スタート] キーを押します。



DAC460

6. [送信] を押してから、[白黒スタート] キーを押します。
7. 手話器を置きます。

読み取り方法を設定する

濃度と解像度を調整する方法を説明します。

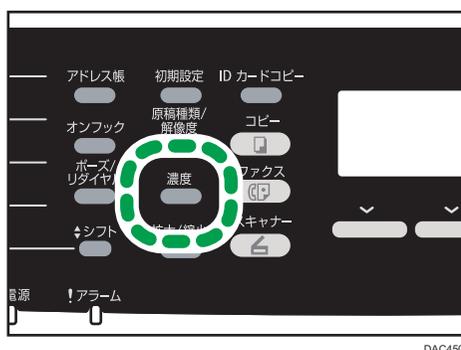
濃度を調整する

原稿の濃度を一時的に変更する方法を説明します。[濃度] について詳しくは、P.135「ファクス送信設定」を参照してください。

常に特定の濃度で原稿を読み取りたいときは、ファクス送信設定の [濃度] で設定を変更できます。

濃度は3段階で調整します。濃度レベルが濃くなるほど、画像が濃くなります。

1. [濃度] キーを押します。



2. [▲] [▼] キーを押して濃度を選択し、[OK] キーを押します。

↓ 補足

- 変更を取り消して初期画面に戻るには、[キャンセル] キーを押します。
- 一時的に行った設定は、以下のときにクリアされます。
 - 初期画面表示中、[システムオートリセット時間設定] で設定した時間内に入力がなかったとき。[システムオートリセット時間設定] について詳しくは、P.147「管理者用設定」を参照してください。
 - 初期画面表示中に [クリア/ストップ] キーを押したとき
 - モード変更したとき
 - 電源を切ったとき
 - 設定した項目の初期値が変更されたとき

解像度を設定する

解像度を一時的に変更する方法を説明します。[解像度] について詳しくは、P.135 「ファクス送信設定」を参照してください。

常に特定の解像度で原稿を読み取りたいときは、ファクス送信設定の [解像度] で設定を変更できます。

解像度は3段階で調整します。

ふつう字

文字の大きさが普通の原稿に適した設定で読み取ります。

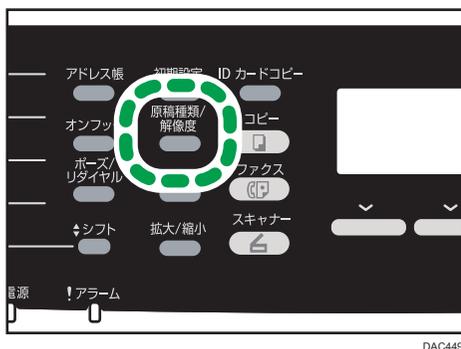
小さな字

文字の大きさが小さな原稿に適した設定で読み取ります。

写真

写真などが主体の原稿に適した設定で読み取ります。

1. [原稿種類/解像度] キーを押します。



2. [▲] [▼] キーを押して解像度を選択し、[OK] キーを押します。

↓ 補足

- 変更を取り消して初期画面に戻るには、[キャンセル] キーを押します。
- インターネットファクス送信では、解像度で [写真] を選択していても、[小さな字] の設定で送信されます。
- 一時的に行った設定は、以下のときにクリアされます。
 - 初期画面表示中、[システムオートリセット時間設定] で設定した時間内に入力がなかったとき。[システムオートリセット時間設定] について詳しくは、P.147 「管理者用設定」を参照してください。
 - 初期画面表示中に [クリア/ストップ] キーを押したとき
 - モード変更したとき
 - 電源を切ったとき

- 設定した項目の初期値が変更されたとき

6. 受信する

ファクスの受信モードと、ファクスを受信をするときの基本操作を説明します。

ファクスを受信する前に

★重要

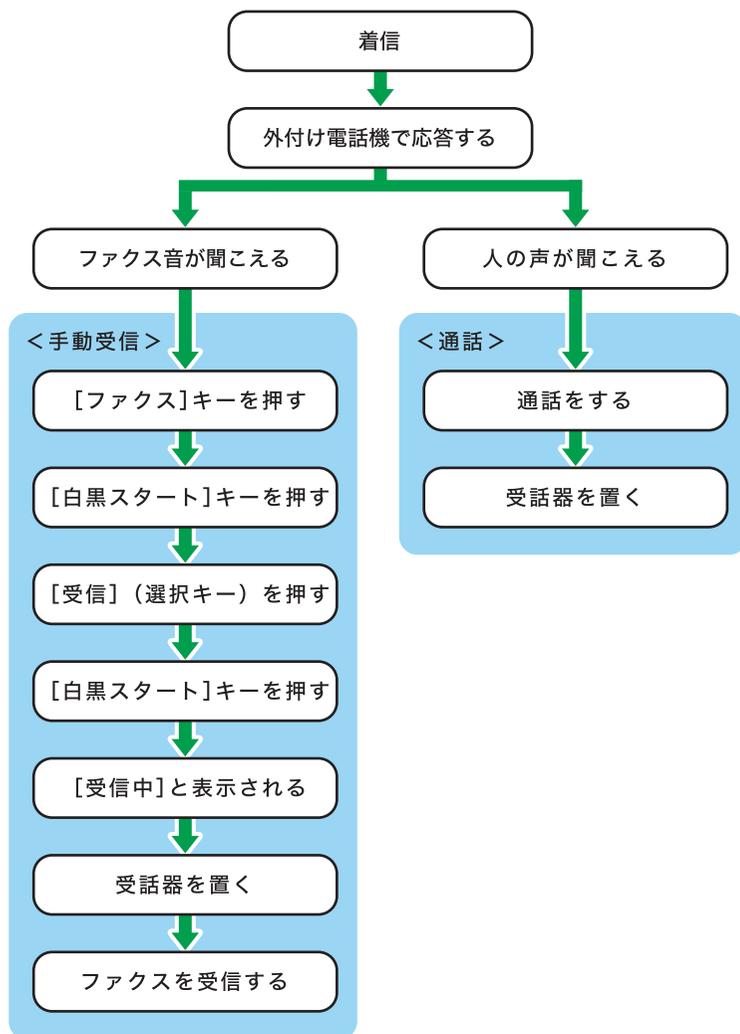
- 重要なファクスを受信するときは、送信者にファクスの内容を確認することをお勧めします。
- メモリーの空き容量が少ないときは、ファクスを受信できないことがあります。

↓補足

- 本機を電話として使用するには、外付け電話機が必要です。外付け電話機と本機の接続方法は、P.20「電話回線に接続する」を参照してください。
- 受信ファクスの印刷に使用できる用紙は、A4、Letter、Legal サイズです。
- 受信したファクスを印刷するとき、印刷可能範囲の中にある画像は印刷されますが、印刷可能範囲の外にある画像は印刷されません。

FAX/TEL（手動）モード

FAX/TEL（手動）モードでファクスを受信する基本的な操作を説明しています。
以下の手順でファクスを受信、または通話をしてください。

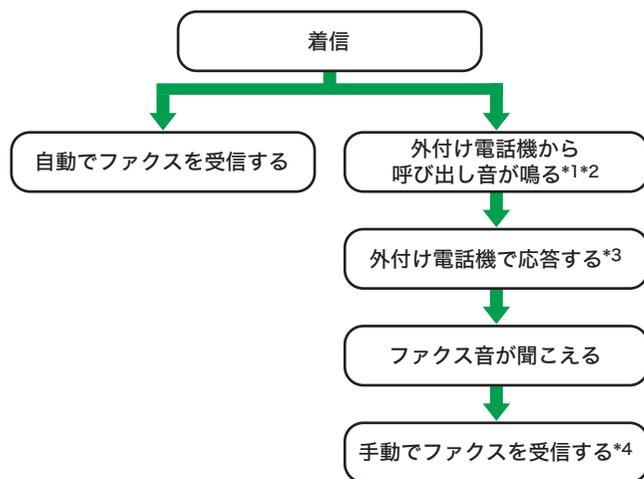


DAC131

ファクス専用モード

受信モードがファクス専用モードのときは、本機はすべての着信に、自動的にファクス受信を開始します。

以下の手順でファクスを受信、または通話をしてください。



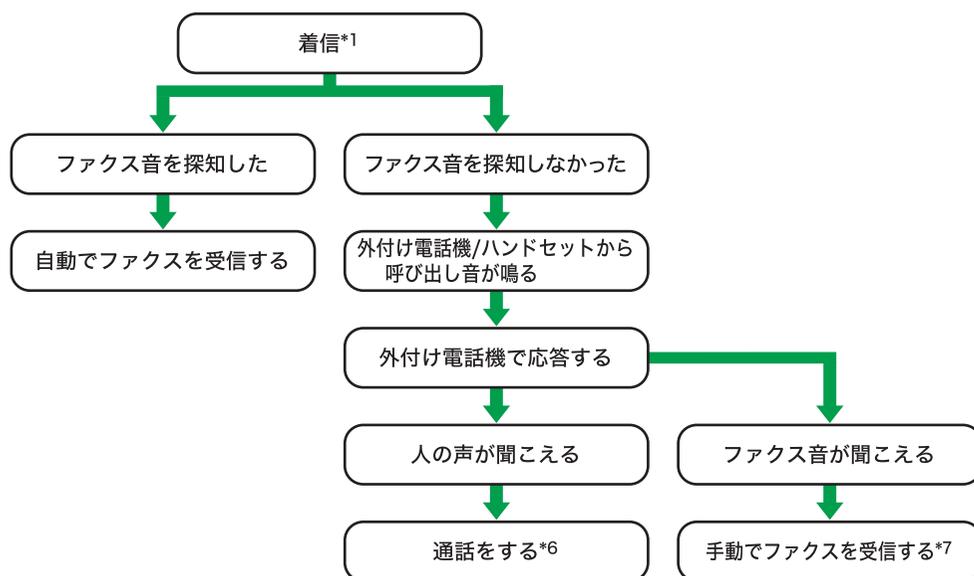
DAC132

- *1 外付け電話機を接続すると、ファクスの自動受信を開始する前に、[ファクス初期設定] の [呼び出し回数] で設定された回数の呼び出し音が外付け電話機から鳴ります。詳しくは、P.137 「ファクス初期設定」を参照してください。
- *2 外付け電話機やハンドセットから呼び出し音を鳴らさずファクスを受信できます。詳しくは、P.137 「ファクス初期設定」を参照してください。
- *3 呼び出し音が鳴っている間に外付け電話機で応答したときは、通常の通話状態になります。通話の方法は、P.96 「FAX/TEL (手動) モード」を参照してください。
- *4 手動受信の方法は、P.96 「FAX/TEL (手動) モード」を参照してください。

FAX/TEL（自動）モード

受信モードがFAX/TEL（自動）モードのときは、ファクスは自動受信されます。電話のときは外付け電話機/ハンドセットから呼び出し音が鳴ります。

以下の手順でファクスを受信、または通話をしてください。



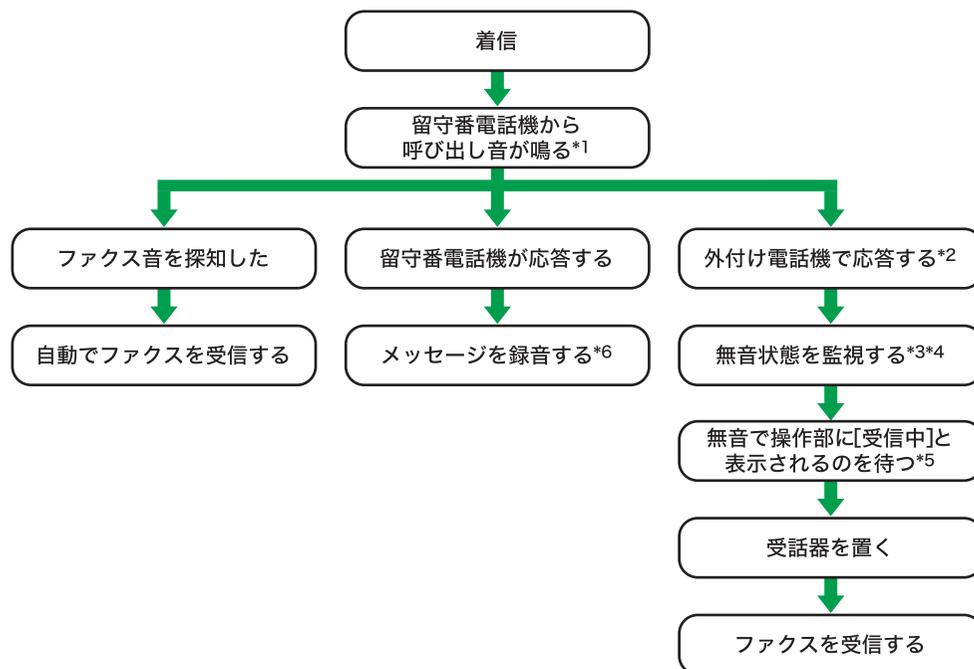
DAC133

- *1 着信を受けると、本機は5秒間無音のままファクス音を検知しようとします。ファクス音を検知されたら、本機は自動的にファクス受信を開始します。
- *2 [ファクス初期設定] の [受信モード自動切り替え時間] で設定された時間の間は、本機は引き続きファクス着信音を検知しようとします。詳しくは、P.137「ファクス初期設定」を参照してください。
- *3 この間にファクス着信音を検知されたときや受話器が上げられなかったときは、本機は自動的にファクス受信を開始します。
- *4 外付け電話機やハンドセットから呼び出し音を鳴らさずファクスを受信できます。詳しくは、P.137「ファクス初期設定」を参照してください。
- *5 ファクス初期設定の [呼出音なし受信] を無効にしているときに本機が着信を受けると、外付け電話機/ハンドセットが最初に1回鳴ったあと、ファクス音の検知を始めます。
- *6 通話の方法は、P.96「FAX/TEL（手動）モード」を参照してください。
- *7 手動受信の方法は、P.96「FAX/TEL（手動）モード」を参照してください。

FAX/留守番 TEL モード

受信モードがFAX/留守番 TEL モードのときは、外付けの留守番電話機が応答し、電話のときはメッセージを録音します。ファクスは、自動的にファクスを受信します。

以下の手順でファクスを受信、または通話をしてください。



DAC134

- *1 着信を受けると留守番電話機から、[ファクス初期設定] の [総呼び出し回数 (留守番 TEL)] で設定した回数の呼び出し音が鳴ります。詳しくは、P.137 「ファクス初期設定」を参照してください。
- *2 呼び出し音が鳴っている間に外付け電話機で応答したときは、通常の話状態になります。通話の方法は、P.96 「FAX/TEL (手動) モード」を参照してください。
- *3 30 秒間無音状態を監視します (無音検知)。ファクス音が検知されたら、本機は自動的にファクス受信を開始します。
- *4 無音検知の間に、手動でファクスを受信できます。手動受信の方法は、P.96 「FAX/TEL (手動) モード」を参照してください。
- *5 操作部に「受信中」と表示されないときは、手動でファクス受信してください。手動受信の方法は、P.96 「FAX/TEL (手動) モード」を参照してください。
- *6 外付け留守番電話機が通話を終了しても、[クリア/ストップ] キーが押されない限り、無音検知は 30 秒間継続されます。

電話/ファクスを切り替える

本機への着信がファクスか電話かによって、本機のモードを外付け電話機/ハンドセットから切り替えられます。

ファクスに切り替える

受話器を上げたときにファクスの音が聞こえたら、10秒以内に [2] を押します。

回線がダイヤル回線のときは1回、プッシュ回線のときは2回押します。

電話に切り替える

本機のスピーカーから人の声が聞こえるときは、電話がかかってきています。

会話をするには、ファクスが応答している間に受話器を上げて、[2] を押します。

回線がダイヤル回線のときは1回、プッシュ回線のときは2回押します。

↓ 補足

- この機能を使用するには、ファクス初期設定の [受信モードリモート切り替え] を有効にしてください。詳しくは、P.137 「ファクス初期設定」を参照してください。
- 使用している回線に合わせて、プッシュかダイヤルかをファクス初期設定の [ダイヤル/プッシュリモート切り替え] で設定してください。詳しくは、P.137 「ファクス初期設定」を参照してください。

インターネットファクスを受信する

対象機種：RICOH SP C251SF

インターネットファクスの受信を自動的にするか、または手動であるかを設定できます。自動的に受信するには、定期的にメール（インターネットファクス）をチェックするように本機を設定します。

★重要

- インターネットファクスを本機で受信するためのメールアドレスは、Web Image Monitor で設定してください。POP3 設定の [ユーザーアカウント] で設定できます。詳しくは、P.172 「POP3 の設定をする」を参照してください。
- HTML 形式のメールは受信できないことがあります。

自動的に受信する

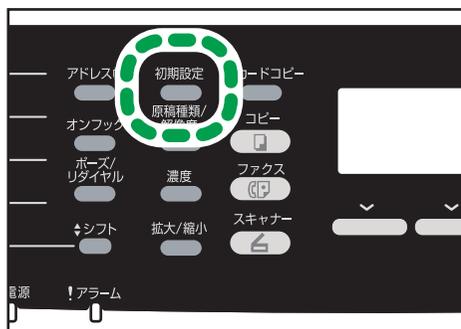
Web Image Monitor のインターネットファクス設定で [自動 POP] を有効に設定すると、[POP 間隔 (分)] で設定した間隔で本機が自動的に POP3 サーバーへ接続し、新しいメールをチェックします。新しいメールがあったら、自動的にダウンロードします。

手動で受信する

[自動 POP] を無効に設定しているときは、操作部を使って手動で POP3 サーバーに接続し、新しいメールをチェックします。

操作部で設定する

1. [初期設定] キーを押します。



DAC448

2. [▲] [▼] キーを押して [ファクス初期設定] を選択し、[OK] キーを押します。
3. [▲] [▼] キーを押して [受信設定] を選択し、[OK] キーを押します。
4. [▲] [▼] キーを押して [手動 POP] を選択し、[OK] キーを押します。

5. 確認画面で、[はい] を押します。

新しいメールがあったら、ダウンロードを開始します。

Web Image Monitor で設定する

1. Web ブラウザーを起動し、アドレスバーに"http:// (本機の IP アドレス) /"と入力して本機にアクセスします。

2. [ネットワーク設定] をクリックします。

3. [POP3] タブをクリックします。

4. 必要に応じて POP3 の設定をしてください。

詳しくは、P.172 「POP3 の設定をする」を参照してください。

5. パスワードが設定されているときは、管理者のパスワードを入力してください。

6. [OK] をクリックします。

7. [インターネットファクス] タブをクリックします。

8. 必要に応じてインターネットファクスの設定をしてください。

詳しくは、P.172 「インターネットファクスの設定をする」を参照してください。

9. パスワードが設定されているときは、管理者のパスワードを入力してください。

10. [OK] をクリックします。

11. Web ブラウザーを終了します。

↓ 補足

- メールを受信に失敗したとき、Web Image Monitor でインターネットファクス設定の [エラー通知メール] が有効に設定されていたら、本機から送信者へエラー通知が自動的に送信されます。
- [エラー通知メール] が無効のとき、またはエラー通知の送信に失敗したときは、エラーレポートが印刷されます。

受信したファクスを転送する

対象機種：RICOH SP C251SF

重要なファクスを不正に閲覧されることを防止するために、あらかじめ設定されたあて先に受信したファクスを転送できます。

★重要

- 約 100 ページのファクスを一時的に蓄積できますが、容量の大きいファクスや、大量のファクスを受信したときは、メモリーフルになるのが早まることがあります。
- [受信文書印刷] を [しない] に設定したときは、最大 80 件、または約 100 ページのファクスを一時的に蓄積できます。
- ファクスを受信中にメモリーがいっぱいになったときは、メモリーフルで通信エラーになります。
- メモリーフルになったときは、[受信文書印刷] を [する] に変更して、受信済みのファクス文書を出力してください。

↓補足

- 転送が成功したときと失敗したときの処理は、本機の設定によって以下の表のように異なります。

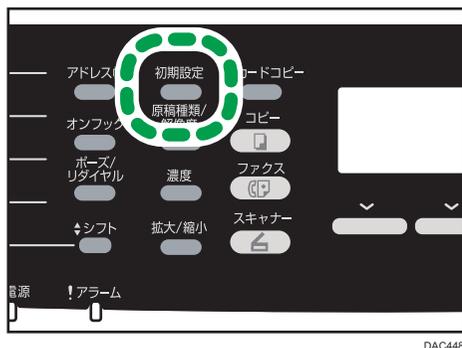
転送	[転送文書印刷]	[受信文書印刷]	結果
成功	しない	適用外	メモリーからファクスを消去します。
成功	する	する	ファクスを印刷して、メモリーから消去します。
成功	する	しない	手動で印刷するまでファクスをメモリーに保管します。
失敗	しない	適用外	転送失敗のレポートを印刷し、ファクスを印刷して、メモリーからファクスを消去します。
失敗	する	する	転送失敗のレポートを印刷し、ファクスを印刷して、メモリーからファクスを消去します。
失敗	する	しない	転送失敗のレポートを印刷し、ファクスを印刷して、手動で印刷するまでファクスをメモリーに保管します。

- 用紙切れや紙づまりなどのエラーでファクスを印刷できないときは、ファクスはメモリーに蓄積されたままとなり、ファクス受信/代行受信ランプが点滅します。印刷待ちの状態になっているファクスを印刷する方法は、P.109「メモリーに蓄積されたファクスを印刷する」を参照してください。

- Web Image Monitor で、転送を試みる回数と間隔を設定できます。

転送設定をする

1. [初期設定] キーを押します。



DAC448

2. [▲] [▼] キーを押して [ファクス初期設定] を選択し、[OK] キーを押します。
3. [▲] [▼] キーを押して [受信設定] を選択し、[OK] キーを押します。
4. [▲] [▼] キーを押して [受信文書設定] を選択し、[OK] キーを押します。
5. [▲] [▼] キーを押して [転送する] を選択し、[OK] キーを押します。
転送のあて先は、Web Image Monitor で設定します。詳しくは、P.105 「Web Image Monitor で転送先を設定する」を参照してください。
6. [初期設定] キーを押して初期画面に戻ります。

転送通知設定をする

転送後に通知メールを送信するかしないかを設定します。詳しくは、P.159 「ファクスの設定をする」を参照してください。

1. [初期設定] キーを押します。
2. [▲] [▼] キーを押して [ファクス初期設定] を選択し、[OK] キーを押します。
3. [▲] [▼] キーを押して [受信設定] を選択し、[OK] キーを押します。
4. [▲] [▼] キーを押して [転送結果通知] を選択し、[OK] キーを押します。
5. [▲] [▼] キーを押して [有効]、または [無効] を選択し、[OK] キーを押します。
 - [有効]：転送したらメールで通知します。通知のあて先は、転送先の設定方法によって異なります。

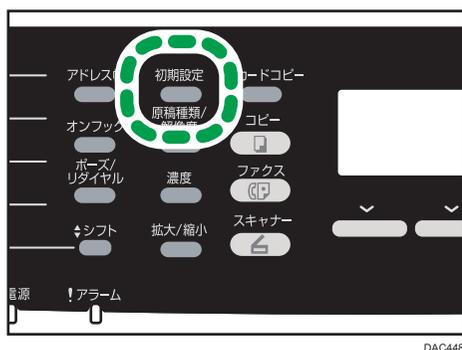
- [無効]：転送の通知をしません。

6. [初期設定] キーを押して初期画面に戻ります。

転送したファクスをメモリーに蓄積する

転送したファクスを印刷できるように一時的にメモリーに蓄積するか、転送したら消去するかを設定します。メモリーに蓄積したファクスの印刷方法は、P.109「メモリーに蓄積されたファクスを印刷する」を参照してください。

1. [初期設定] キーを押します。



2. [▲] [▼] キーを押して [ファクス初期設定] を選択し、[OK] キーを押します。

3. [▲] [▼] キーを押して [受信設定] を選択し、[OK] キーを押します。

4. [▲] [▼] キーを押して [転送文書印刷] を選択し、[OK] キーを押します。

5. [▲] [▼] キーを押して [する]、または [しない] を選択し、[OK] キーを押します。

- [する]：転送後に印刷できるよう、ファクスをメモリーに蓄積します。メモリーに蓄積したファクスを自動的に印刷するか手動で印刷するかの方法は、P.109「メモリーに蓄積されたファクスを印刷する」を参照してください。
- [しない]：転送したらメモリーからファクスを消去します。

6. [初期設定] キーを押して初期画面に戻ります。

Web Image Monitor で転送先を設定する

1. Web ブラウザーを起動し、アドレスバーに"http:// (本機の IP アドレス) /"と入力して本機にアクセスします。

2. [システム初期設定] をクリックして [ファクス] タブをクリックします。

システム初期設定

音響診断 用語設定 コピー ファクス 優先レイイ トナーセーブ インターフェース切り替え時間

給紙トレイ選択
■ 給紙トレイ選択 : トレイ1

ファクス番号確認
■ ファクス番号確認 : 適用しない

ファクス受信文書処理
■ 受信文書処理 : 印刷する 転送
■ 自動印刷 : 適用する 適用しない
00 : 00 : 00 : 00 (HH:MM)
■ 転送文書印刷 : 適用する 適用しない
■ 転送結果通知 : 適用する 適用しない
■ 転送先
● メールアドレス :
○ スキャナー宛先 : 選択してください
■ 転送回数(回) : 145 (1-255)
■ 転送間隔(分) : 30 (1-255)

迷惑ファクス防止設定
■ 迷惑ファクス防止設定 : 適用する 適用しない
■ 受信条件 : 特定相手先 特定相手先以外

管理者パスワードを入力してください。

OK キャンセル

3. [転送先] に転送先のメールアドレスを設定します。

転送先、転送回数、または転送間隔の設定については詳しくは、P.159「ファクスの設定をする」を参照してください。

[スキャナー宛先] を選択すると、メールアドレス、FTP サーバー、または共有フォルダーが選択できます。

4. パスワードが設定されているときは、管理者のパスワードを入力してください。

5. [OK] をクリックします。

6. Web ブラウザーを終了します。

受信したファクスを一時的に蓄積する

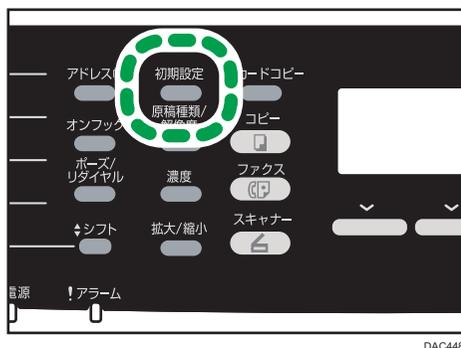
対象機種：RICOH SP C251SF

重要なファクスを不正に閲覧されることを防止するために、手動で印刷するまで受信したファクスを一時的に蓄積できます。

★重要

- 約 100 ページのファクスを一時的に蓄積できますが、容量の大きいファクスや、大量のファクスを受信したときは、メモリーフルになるのが早まる場合があります。
- [受信文書印刷] を [しない] に設定したときは、最大 80 件、または約 100 ページのファクスを一時的に蓄積できます。
- ファクスを受信中にメモリーがいっぱいになったときは、メモリーフルで通信エラーになります。
- メモリーフルになったときは、[受信文書印刷] を [する] に変更して、受信済みのファクス文書を出力してください。

1. [初期設定] キーを押します。



2. [▲] [▼] キーを押して [ファクス初期設定] を選択し、[OK] キーを押します。
3. [▲] [▼] キーを押して [受信設定] を選択し、[OK] キーを押します。
4. [▲] [▼] キーを押して [受信文書設定] を選択し、[OK] キーを押します。
5. [▲] [▼] キーを押して [印刷する] を選択し、[OK] キーを押します。
メモリーに蓄積したファクスを自動的に印刷するか手動で印刷するかの方法は、P.109 「メモリーに蓄積されたファクスを印刷する」を参照してください。
6. [初期設定] キーを押して初期画面に戻ります。

↓補足

- 正常に印刷ができれば、ファクスはメモリーから消去されます。

- 用紙切れや紙づまりなどのエラーでファクスを印刷できないときは、ファクスはメモリーに蓄積されたままとなり、ファクス受信/代行受信ランプが点滅します。印刷待ちの状態になっているファクスを印刷する方法は、P.109「メモリーに蓄積されたファクスを印刷する」を参照してください。

メモリーに蓄積されたファクスを印刷する

ファクス受信/代行受信ランプが点滅しているときは、用紙切れや紙づまりなどのエラーで印刷できなかったファクスがメモリーに蓄積されたままとなっています。エラーでファクスを印刷できないときや、ファクスがメモリーに蓄積されたときの印刷方法を説明します。

ファクスがメモリーに蓄積されたら、自動的に印刷してメモリーから消去するか、手動で印刷するまでメモリーに保管するかを設定できます。

★重要

- 約 100 ページのファクスを一時的に蓄積できますが、容量の大きいファクスや、大量のファクスを受信したときは、メモリーフルになるのが早まることがあります。
- [受信文書] で [しない] を選択したときは、最大 80 件、または約 100 ページのファクスを一時的に蓄積できます。
- ファクスを受信中にメモリーがいっぱいになったときは、メモリーフルで通信エラーになります。
- メモリーフルになったときは、[受信文書] で [する] を選択して、受信済みのファクス文書を出力してください。
- 印刷待ちの状態になっているファクスがメモリーにあるときに [受信文書] で [する] を選択すると、ファクスは印刷されてメモリーから消去されます。

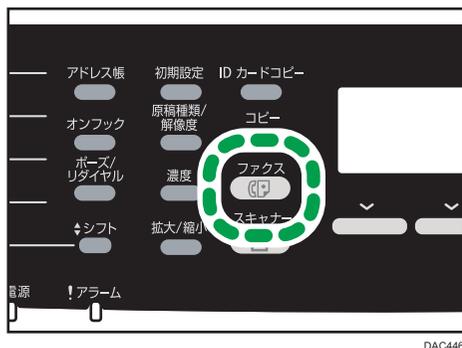
↓補足

- 増設トレイ (トレイ 2) が装着されているときは、ファクス初期設定の [給紙トレイ選択] で、どのトレイから給紙するかを設定できます。詳しくは、P.137 「ファクス初期設定」を参照してください。
- [給紙トレイ選択] で、トレイ 1 とトレイ 2 を自動的に切り替えるように設定したときは、用紙設定の [給紙トレイ優先設定] で、どのトレイを優先的に使用するかを設定できます。詳しくは、P.144 「優先的に使用する給紙トレイを設定する」を参照してください。
- [管理者用設定] の [ダイレクト機能呼出し設定] を [ファクス自動印刷設定] に設定すると、[ID カードコピー] キーを押して自動印刷を選択できます。メモリーに蓄積されたファクスは、自動的に印刷されてメモリーから消去されます。詳しくは、P.56 「ダイレクト機能呼び出し機能を設定する」を参照してください。

受信文書印刷設定を切り替える

対象機種：RICOH SP C250SFL

1. [ファクス] キーを押します。



DAC446

2. [受信文書] を押します。

3. [▲] [▼] キーを押して [する] か [しない] を選択し、[OK] キーを押します。

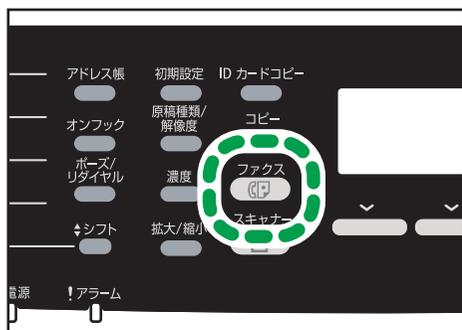
- [する]：ファクスがメモリーに蓄積されたら、自動的に印刷してメモリーから消去します。
- [しない]：ファクスがメモリーに蓄積されたら、手動で印刷するまでメモリーに保管します。

受信文書印刷設定を切り替える

対象機種：RICOH SP C251SF

ここで変更した設定は、ファクス初期設定の [受信文書印刷] の設定にも反映されます。詳しくは、P.137 「ファクス初期設定」を参照してください。

1. [ファクス] キーを押します。



DAC446

2. [受信文書] を押します。

3. [▲] [▼] キーを押して [する] か [しない] を選択します。

- [する]：ファクスがメモリーに蓄積されたら、自動的に印刷してメモリーから消去します。
- [しない]：ファクスがメモリーに蓄積されたら、手動で印刷するまでメモリーに保管します。

[する] を選択したときは、次の手順に進んでください。[しない] を選択したときは、手順5に進んでください。

4. [▶] キーを押して、テンキーで開始時間と終了時間を入力します。

印刷する開始時間と終了時間が設定できます。指定した期間に蓄積されたファクスを印刷してメモリーから消去します。指定した期間以外にファクスがメモリーに蓄積されたら、開始時間まで印刷しないでメモリーに保管します。

5. [OK] キーを押します。

特定の相手先からのファクスを制限する

ファクスの相手先を特定相手先として登録し、その相手先からのファクスを制限（受信か拒否）できます。

間違いファクスやいたずらファクスを防止するときに便利です。

この機能を使用するには、Web Image Monitor で特定相手先を登録して、受信か拒否の設定をします。

★重要

- この機能は、インターネットファクスの受信では使用できません。

特定相手先を登録する

特定相手先を登録する方法を説明します。

最大 30 件の特定相手先を設定できます。

6

1. Web ブラウザーを起動し、アドレスバーに"http://（本機の IP アドレス）/"と入力して本機にアクセスします。
2. [特定相手先] をクリックします。

No.	特定相手先番号
<input type="radio"/> 01	
<input type="radio"/> 02	
<input type="radio"/> 03	
<input type="radio"/> 04	
<input type="radio"/> 05	

3. [宛先種別] から、[特定相手先] を選択します。

特定相手先設定

■ 特定相手先No. : ▼

■ 特定相手先番号 :

管理者パスワードを入力してください。

OK キャンセル

4. リストから登録番号を選択します（1～30）。

5. 特定相手先のファクス番号を入力します（半角英数字で最大 20 桁）。
6. パスワードが設定されているときは、管理者のパスワードを入力してください。
7. [OK] をクリックします。
8. Web ブラウザーを終了します。

↓ 補足

- ファクス番号には、0～9 までの数字、「+」、スペースが使用できます。

特定相手先からのファクスを制限する

特定相手先からのファクスを制限（受信か拒否）する方法を説明します。

1. Web ブラウザーを起動し、アドレスバーに"http://（本機の IP アドレス）/"と入力して本機にアクセスします。
2. [システム初期設定] をクリックします。
3. [ファクス] タブをクリックします。

システム初期設定

音響調節 用紙設定 コピー ファクス 優先レイアウト トナーセーブ インターフェース切り替え時間

給紙レイアウト

給紙レイアウト: トレイ

ファクス番号確認

ファクス番号確認: 適用しない

ファクス受信文書処理

受信文書処理: 印刷する 転送

自動印刷: 適用する 適用しない

転送文書印刷: 適用する 適用しない

転送結果通知: 適用する 適用しない

転送先

メールアドレス: [入力欄]

スキャナー宛先: 選択してください

転送回数(回): 145 (1-255)

転送遅延(分): 30 (1-255)

迷惑ファクス防止設定

迷惑ファクス防止設定: 適用する 適用しない

受信条件: 特定相手先 特定相手先以外

管理者パスワードを入力してください。

OK キャンセル

4. [迷惑ファクス防止設定] で、[適用する] をクリックします。
5. [受信条件] で、[特定相手先] または [特定相手先以外] をクリックします。
 - 特定相手先

特定相手先からのファクスだけを受信し、それ以外の相手先からのファクスを拒否します。
 - 特定相手先以外

特定相手先からのファクスを拒否し、それ以外の相手先からのファクスだけを受信します。

6. パスワードが設定されているときは、管理者のパスワードを入力してください。
7. [OK] をクリックします。
8. Web ブラウザーを終了します。

7. パソコンからファクス機能を活用する (PC ファクス)

パソコンから利用できる本機のファクス機能を説明します。

Windows のアプリケーションで作成した文書を、パソコンに接続された本機を経由して、紙に出力しなくても直接相手のファクスへ送信できます。

この機能は、使用している OS が Windows のときだけ使用できます。

PC ファクスのアドレス帳を設定する

PC ファクスのアドレス帳は、パソコンで設定します。PC ファクスのアドレス帳にあて先を登録しておくと、ファクスを送信するときに、あて先をすばやく指定できます。

PC ファクスのアドレス帳には、個別のあて先と、複数のあて先をまとめたグループを、合わせて最大 1000 件登録できます。

↓ 補足

- 使用しているパソコンに設定されたユーザーごとに、それぞれ独自のアドレス帳を設定できます。
- 必要に応じて、アドレス帳をインポートしたりエクスポートしたりできます。

7

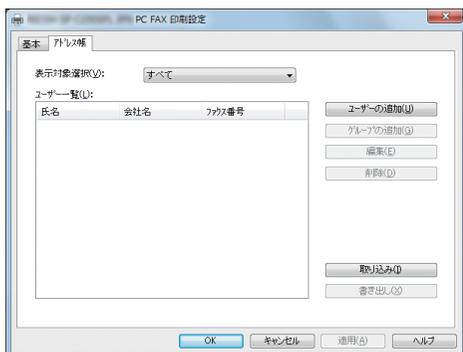
PC ファクスのアドレス帳を開く

PC ファクスのアドレス帳の開きかたを説明します。

★ 重要

- ここでは、Windows 7 を例に手順を説明しています。操作手順や画面表示は、使用している OS によって異なることがあります。
1. [スタート] メニューから、[デバイスとプリンター] をクリックします。
 2. PC ファクスドライバーのアイコンを右クリックし、[印刷設定] をクリックします。

3. [アドレス帳] タブをクリックします。



↓ 補足

- 実際の表示の方法は使用している OS によって多少異なります。
- [表示対象選択:] リストで、表示するあて先の種類を選択できます。
 - [すべて]: すべてのあて先を表示します。
 - [グループ]: グループとして登録されたあて先だけを表示します。
 - [ユーザー]: 個別のあて先だけを表示します。

7

あて先を登録する

PC ファクスのアドレス帳にあて先を登録する方法を説明します。

PC ファクスのあて先設定

項目	設定	説明
氏名:	必須	あて先の名前です。半角/全角で 32 文字まで入力できます。
氏名ふりがな	任意	あて先の名前のふりがなです。半角/全角で 32 文字まで入力できます。
会社名:	任意	あて先の会社名です。半角/全角で 64 文字まで入力できます。すでに登録されているものからも選択できます。

項目	設定	説明
会社名ふりがな	任意	会社名のふりがなです。半角/全角で 64 文字まで入力できます。
部門名：	任意	あて先の部門名です。半角/全角で 64 文字まで入力できます。すでに登録されているものからも選択できます。
電話番号：	任意	あて先の電話番号です。半角英数字で 40 桁まで入力できます。
ファクス番号：	必須	あて先のファクス番号です。半角英数字で 40 桁まで入力できます。

1. PC ファクスのアドレス帳を開き、[ユーザーの追加] をクリックします。
2. 必要な情報を登録し、[OK] をクリックします。
3. [適用] をクリックします。

↓ 補足

- 電話番号、ファクス番号には、0～9 までの数字、「P」（ポーズ）、「*」、「#」、「-」、スペースが使用できます。
- 必要であれば、ファクス番号の間にポーズを入れます。ポーズを入れると、ポーズ前後の番号がダイヤルされる間に短い間隔が空きます。ポーズの長さは、ファクス送信設定の [ポーズ時間] で設定できます。詳しくは、P.135 「ファクス送信設定」を参照してください。
- パルス方式の電話回線でトーン方式のサービスを受けるには、ファクス番号に「*」を入れます。「*」を入れると、一時的にパルス回線でトーン信号を発信できます。
- 入力された名前がすでに登録されているときは、確認のダイアログが表示されます。別の名前登録するときは [いいえ] をクリックして、名前を入力し直してください。[はい] をクリックすると、同じ名前のまま、別のあて先として登録できます。
- すでに登録されているあて先の一部を編集して、新規のあて先として登録できます。すでに登録されているあて先の一部を編集して新規のあて先として登録する方法は、P.117 「あて先を修正する」を参照してください。

あて先を修正する

登録したあて先を修正する方法を説明します。

1. PC ファクスのアドレス帳を開き、[ユーザー一覧:] から修正するあて先を選択して、[編集] をクリックします。

2. 必要に応じて設定を修正し、[OK] をクリックします。

設定を部分的に修正して [別ユーザーとして登録] をクリックし、新規のあて先として登録できます。似たあて先を続けていくつか登録するときに便利です。元のあて先を変更しないで残しておくときは、最後に [キャンセル] をクリックして、ダイアログを閉じます。

3. [適用] をクリックします。

↓ 補足

- 修正した名前がすでに登録されているときは、確認のダイアログが表示されます。別の名前で登録するときは [いいえ] をクリックして、名前を入力し直してください。[はい] をクリックすると、同じ名前のまま、別のあて先として登録できます。

グループを登録する

すでに登録されているあて先を、グループにまとめる方法を説明します。

ひとつのグループには、最大 100 件のあて先を登録できます。

1. PC ファクスのアドレス帳を開き、[グループの追加] をクリックします。

2. [グループ名] にグループ名を入力します。
3. [ユーザー一覧:] からグループに登録するあて先を選択し、[追加] をクリックします。
4. [OK] をクリックします。

5. [適用] をクリックします。

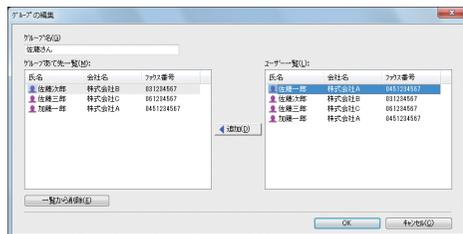
↓ 補足

- グループには、最低ひとつのあて先を登録してください。
- グループを登録するときは、グループ名が必要です。すでに登録されているグループと同じ名前のグループは登録できません。
- ひとつのあて先を、複数のグループに登録できます。

グループを修正する

登録したグループを修正する方法を説明します。

1. PC ファクスのアドレス帳を開き、[ユーザー一覧:] から編集するグループを選択して、[編集] をクリックします。



2. あて先を追加するには、[ユーザー一覧:] からグループに追加するあて先を選択し、[追加] をクリックします。
3. グループからあて先を削除するには、[グループあて先一覧] から削除するあて先を選択し、[一覧から削除] をクリックします。
4. [OK] をクリックします。
5. [適用] をクリックします。

↓ 補足

- 修正したグループ名がすでに登録されているときは、確認のダイアログが表示されます。[OK] をクリックして、別の名前で登録してください。

あて先やグループを削除する

PC ファクスのアドレス帳に登録されているあて先やグループを削除する方法を説明します。

1. PC ファクスのアドレス帳を開き、[ユーザー一覧:] から、削除するあて先やグループを選択して、[削除] をクリックします。

確認のメッセージが表示されます。

2. [はい] をクリックします。

3. [適用] をクリックします。

↓ 補足

- グループに登録されているあて先を削除すると、そのあて先はグループからも削除されます。グループに登録されているあて先がなくなるときは、そのグループ自体を削除するかどうかを確認するメッセージが表示されます。削除するときは [OK] をクリックします。
- グループを削除しても、そのグループに登録されていたあて先は削除されません。

PC ファクスのアドレス帳をエクスポート/インポートする

PC ファクスのアドレス帳をエクスポートしたりインポートしたりする方法を説明します。

★ 重要

- ここでは、Windows 7 を例に手順を説明しています。操作手順や画面表示は、使用している OS によって異なることがあります。

PC ファクスのアドレス帳をエクスポートする

PC ファクスのアドレス帳データを CSV (Comma Separated Values) 形式のファイルにエクスポートできます。

1. PC ファクスのアドレス帳を開き、[書き出し] をクリックします。
2. 保存先とファイル名を指定して、[保存] をクリックします。

PC ファクスのアドレス帳にデータをインポートする

CSV 形式のファイルから、アドレス帳のデータをインポートできます。CSV 形式のファイルに保存されていれば、ほかのアプリケーションなどのアドレス帳もインポートできます。

ほかのアプリケーションのアドレス帳をインポートするときは、インポートする項目を設定してください。

1. PC ファクスのアドレス帳を開き、[取り込み] をクリックします。
2. インポートするファイルを選択して、[開く] をクリックします。
インポートする項目を選択する画面が表示されます。



3. それぞれの設定項目に適切なデータがインポートされるように、右側のリストでインポートする項目を選択します。

インポートするデータがない設定項目には、[*空欄*] を選択してください。ただし、[氏名] と [ファクス番号] には [*空欄*] を選択できません。

4. [OK] をクリックします。

インポート中に、同じ名前のある先が PC ファクスのアドレス帳に見つかったときは、以下のいずれかの操作をしてください。

- [登録しない]：現在のあて先をインポートしないで、残りのデータをインポートします。
- [別ユーザーとして登録]：現在のあて先を、同じ名前のまま別のあて先としてインポートします。
- [すべて別ユーザーとして登録]：同じ名前のまま、すべてのあて先を別のあて先としてインポートします。
- [上書き登録]：現在のあて先の情報で、PC ファクスのアドレス帳に登録されている情報を上書きします。
- [すべて上書き登録]：PC ファクスのアドレス帳に登録されている情報を、すべて上書きします。
- [キャンセル]：インポートを中止します。

あて先に名前がなかったり、電話番号やファクス番号に使用できない文字が使用されていたりしたら、以下のいずれかの操作をしてください。

- [登録しない]：現在のあて先をインポートしないで、残りのデータをインポートします。
- [登録する]：現在のあて先をそのままインポートします。
- [すべて登録する]：すべてのあて先をそのままインポートします。
- [キャンセル]：インポートを中止します。

↓ 補足

- エクスポートされた CSV ファイルは、Unicode 形式のファイルとして保存されます。

- アドレス帳のデータは、Unicode か ASCII コード形式で保存された CSV ファイルからインポートできます。
- グループの情報は、エクスポート/インポートできません。
- PC ファクスのアドレス帳の登録件数は、最大 1000 件です。インポート中にそれを超えたとき、残りのあて先はインポートされません。

基本的な PC ファクスの送りかた

PC ファクスの基本的な送信の方法を説明します。

あて先は、PC ファクスのアドレス帳から選択するか、ファクス番号を直接入力して指定します。一度に、最大 100 件のあて先を指定してファクスを送信できます。

ここでは、Windows 7 を例に手順を説明しています。操作手順や画面表示は、使用している OS によって異なることがあります。

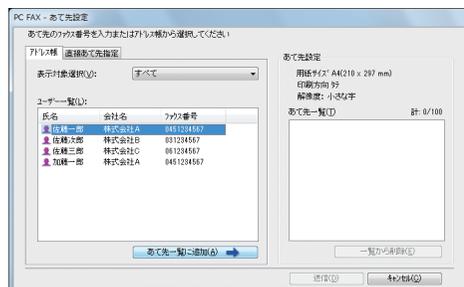
★重要

- 本機は、PC ファクスを送信する前に、いったんすべてのデータをメモリーに読み込みます。読み込み中にメモリーがいっぱいになると、ファクスの送信はキャンセルされます。解像度を下げるか、ページ数を減らして再度送信してください。

1. 送信するファイルを開きます。
2. [ファイル] メニューの [印刷...] をクリックします。
3. プリンターの一覧から PC ファクスドライバを選択し、[印刷] をクリックします。

必要に応じて、[印刷] をクリックする前に、PC ファクスドライバのプロパティで送信設定をしてください。

4. PC ファクスのアドレス帳からあて先を選択するときは、[ユーザー一覧:] であて先を選択し、[あて先一覧に追加] をクリックします。



あて先を複数指定するときは、この手順を繰り返してください。

5. ファクス番号を直接入力するときは、[直接あて先指定] タブをクリックして、[ファクス番号] にファクス番号（最大 40 桁）を入力し、[あて先一覧に追加] をクリックします。
6. 送付状を添付するときは、[直接あて先指定] タブの [送付状編集] をクリックし、[送付状を添付する] をクリックします。

送付状の内容を編集し、[OK] をクリックしてください。送付状の編集について詳しくは、P.126 「PC ファクスの送付状を編集する」を参照してください。

7. [送信] をクリックします。

↓ 補足

- 電話番号、ファクス番号には、0～9 までの数字、「P」（ポーズ）、「*」、「#」、「-」、スペースが使用できます。
- 必要であれば、ファクス番号の間にポーズを入れます。ポーズを入れると、ポーズ前後の番号がダイヤルされる間に短い間隔が空きます。ポーズの長さは、ファクス送信設定の [ポーズ時間] で設定できます。詳しくは、P.135 「ファクス送信設定」を参照してください。
- パルス方式の電話回線でトーン方式のサービスを受けるには、ファクス番号に「*」を入れます。「*」を入れると、一時的にパルス回線でトーン信号を発信できます。
- 指定したあて先を削除するには、[あて先一覧] であて先を選択し、[一覧から削除] をクリックしてください。
- [直接あて先指定] タブで直接入力したファクス番号は、PC ファクスのアドレス帳に登録できます。あて先の登録画面は、[アドレス帳に登録] をクリックすると表示されます。
- [表示対象選択:] リストで、表示するあて先の種類を選択できます。
 - [すべて]: すべてのあて先を表示します。
 - [グループ]: グループとして登録されたあて先だけを表示します。
 - [ユーザー]: 個別のあて先だけを表示します。
- 送信の設定を、PC ファクスドライバーのダイアログボックスで変更できます。PC ファクスの送信設定を変更する方法は、P.129 「PC ファクスの送信設定を変更する」を参照してください。
- PC ファクスの送信が制限されているときは、送信する前に PC ファクスドライバーのプロパティでユーザーコードを入力してください。ユーザーコードの入力方法は、P.58 「ユーザーが使用できる機能を制限する」を参照してください。

PC ファクスの送信を取り消す

ジョブの状態により、本機の操作部やパソコンから送信をキャンセルできます。

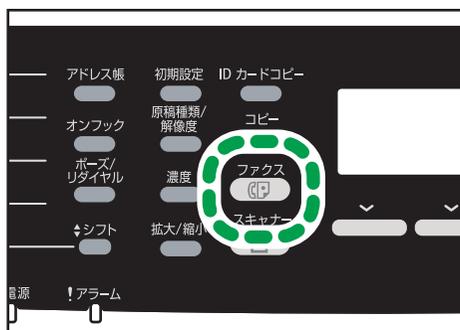
パソコンから本機に受信中のファクスをキャンセルする

1. パソコンのタスクバーで PC ファクスドライバーのアイコンをダブルクリックします。
2. キャンセルするジョブを選択し、[ドキュメント] メニューをクリックして、[キャンセル] をクリックします。

送信中のファクスをキャンセルする

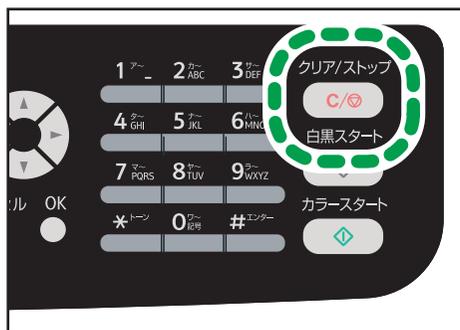
操作部を使用してファクス送信をキャンセルする方法を説明します。

1. [ファクス] キーを押します。



DAC446

2. [クリア/ストップ] キーを押します。



DAC459

↓ 補足

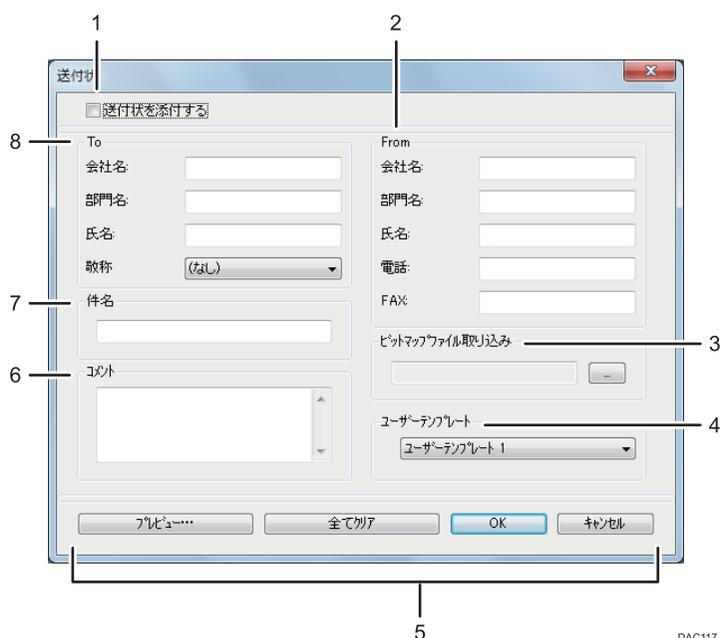
- 複数のパソコンで本機を共有しているときは、ほかのユーザーのプリントジョブを中止しないよう注意してください。

PC ファクスの送付状を編集する

PC ファクスドライバーのあて先設定画面で、PC ファクスの送付状を編集する方法を説明します。

PC ファクス送付状で設定できる項目

PC ファクス送付状で設定できる項目を説明します。



1. 送付状を添付する

送付状をつけて送信するときにチェックします。

2. From

発信元として送信する情報を入力します。空欄にした項目は印刷されません。それぞれ 64 文字まで入力できます。

- 会社名：
ご自分の会社名を入力します。
- 部門名：
ご自分の部門名を入力します。
- 氏名：
ご自分の氏名を入力します。
- 電話：
ご自分の電話番号を入力します。

- FAX :
ご自分のファクス番号を入力します。

3. ビットマップファイル取り込み

送付状に画像を挿入するときに、画像（ビットマップ形式）を指定します。

画像は左 180 ピクセル、右 800 ピクセル、上 50 ピクセル、下 180 ピクセルの位置に挿入されます。画像がこのエリアより大きいとき、はみ出した部分はトリミングされます。

4. ユーザーテンプレート

送付状のフォーマットを選択します。

5. ボタン

- プレビュー・・・
送付状をプレビュー画面に表示します。
- 全てクリア
編集した内容をすべてクリアします。
- OK
編集を終了します。
- キャンセル
編集をキャンセルします。

6. コメント

送付状に印刷するメッセージを入力します。

256 文字まで入力できます。

7. 件名

件名を入力します。

半角 64 文字/全角 32 文字まで入力できます。

8. To

送信先の情報を入力します。空欄にした項目は印刷されません。それぞれ 64 文字まで入力できます。

- 会社名 :
送信先の会社名を入力します。
- 部門名 :
送信先の部門名を入力します。
- 氏名 :
送信先の氏名を入力します。
- 敬称
敬称を追加するときは、「御中」、「様」、「殿」から選択します。

PC ファクスの送付状を編集する

1. [ファイル] メニューの [印刷...] をクリックします。

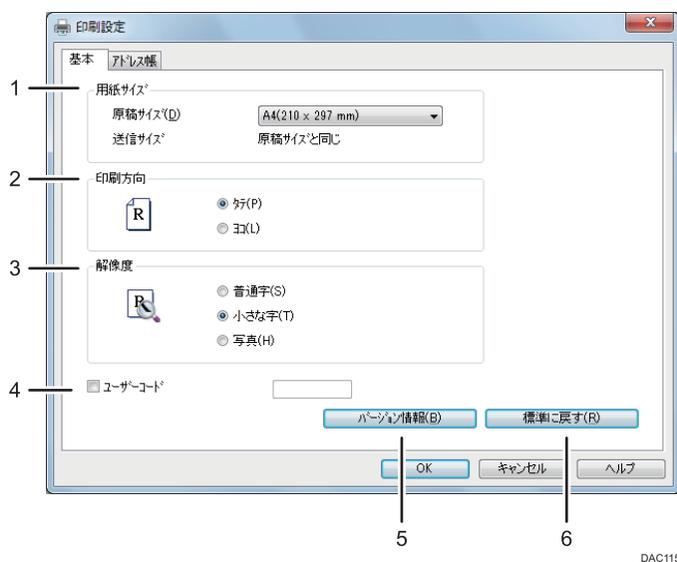
2. プリンターの一覧から PC ファクスドライバーを選択し、[OK] をクリックします。
3. [直接あて先指定] タブをクリックし、[送付状編集] をクリックします。
4. 送付状の内容を設定して、[OK] をクリックします。
設定内容について詳しくは、P.126 「PC ファクス送付状で設定できる項目」を参照してください。

PC ファクスの送信設定を変更する

PC ファクスの送信設定を変更する方法を説明します。

PC ファクスダイアログボックスで設定できる項目

PC ファクスダイアログボックスで設定できる項目を説明します。



1. 用紙サイズ

用紙サイズを設定します。

- 原稿サイズ

送信しようとしている文書の用紙サイズを設定します。アプリケーションで用紙サイズが設定されているときはアプリケーションの設定が有効になりますが、アプリケーションで設定されないときは、ここでの設定が有効になります。

- 送信サイズ

実際に送信されるファクスの用紙サイズが表示されます。

文書に設定された用紙サイズが A3、B4、または A4 よりも小さいときは、A4 サイズで送信されます。A3/B4 サイズの文書は、A4 サイズに縮小して送信されます。

2. 印刷方向

ページの向きを設定します。

3. 解像度

解像度を設定します。

- 普通字

文字の大きさが普通の原稿に適した設定で読み取ります。

- 小さな字
文字の大きさが小さな原稿に適した設定で読み取ります。
- 写真
写真などが主体の原稿に適した設定で読み取ります。

4. ユーザーコード

PC ファクスの送信が制限されているときは、ファクスを送信する前にチェックボックスをクリックして、ユーザーコードを入力します。

この機能は、RICOH SP C251SF で使用できます。

5. バージョン情報

ドライバーのバージョンを表示します。

6. 標準に戻す

すべての設定を初期設定に戻します。

↓ 補足

- ここでの設定は、現在のアプリケーションだけに有効です。

PC ファクスの送信設定を変更する

7

プロパティは、アプリケーションごとに設定します。

1. [ファイル] メニューの [印刷...] をクリックします。
2. 印刷に使用するプリンターとして PC ファクスドライバーを選択し、[詳細設定]、[プロパティ] など、プロパティを表示するボタンをクリックします。
PC ファクスダイアログボックスが表示されます。
3. [基本] タブをクリックします。
4. プロパティの設定をして、[OK] をクリックします。

設定内容について詳しくは、P.129 「PC ファクスダイアログボックスで設定できる項目」を参照してください。

8. 操作部でファクスの設定をする

操作部を使ってファクス機能の設定を変更したり調整したりする方法を説明します。

本機は初期設定でも使用できますが、使用している状況に合わせて設定を変更できます。本機の電源を切っても設定の変更は保存されます。

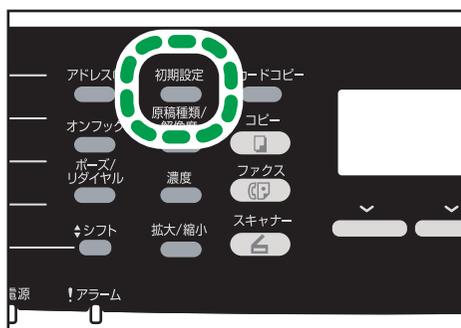
基本操作

本機の設定方法には、以下の2種類があります。

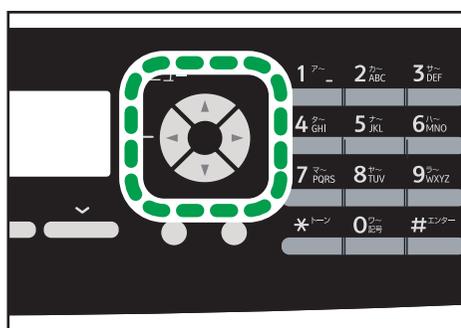
- ファクス初期設定、用紙設定、ネットワーク設定、管理者用設定、ファクスアドレス帳の設定は、[初期設定] キーを押します。
- ファクス送信設定は、「操作できます」が表示されているときに、[◀] [▶] キーを押して、設定する機能を選択します。

設定したい機能の内容は、P.133「操作部で設定できる機能」を参照してください。

1. 用紙設定、管理者用設定、ネットワーク設定は、[初期設定] キーを押します。



DAC448



DAC457

2. [▲] [▼] キーを押し、設定する機能を選択します。

[アドレス帳]、[ネットワーク設定]、または[管理者用設定]を選択したときは、パスワードの入力を要求されることがあります。4桁のパスワードを入力し、[OK]キーを押しします。

パスワードについては、P.147「管理者用設定」の[管理者用設定をロック]を参照してください。

3. 設定項目の内容や値を確定するときは、[OK] キーを押しします。

4. 前の表示項目に戻るには、[キャンセル] キーを押しします。

↓ 補足

- [キャンセル] キーを何度か押す、または [初期設定] キーを押すと初期画面に戻ります。

操作部で設定できる機能

操作部から以下の機能を設定できます。

Web Image Monitor でできる本機の設定について詳しくは、P.155 「Web Image Monitor を使用する」を参照してください。

★重要

- 一部の項目は、本機の種類や構成、および設定によって、表示されないことがあります。
- 一部の項目は、Web Image Monitor からでも設定できます。

ファクス送信設定（ファクスモードを選択し、[◀] [▶] キーから設定）

[直接送信]、[解像度]、[濃度]、[ポーズ時間]、[自動リダイヤル]、[発信元情報印字]

詳しくは、P.135 「ファクス送信設定」を参照してください。

ファクス初期設定（[初期設定] キーから設定）

[受信設定]、[給紙トレイ選択]、[送信待機文書削除]、[通信設定]、[レポート印刷設定]

詳しくは、P.137 「ファクス初期設定」を参照してください。

用紙設定（[初期設定] キーから設定）

[給紙トレイ優先設定]

詳しくは、P.144 「用紙設定」を参照してください。

ネットワーク設定（[初期設定] キーから設定）

[イーサネット]、[IPv4 設定]

詳しくは、P.145 「ネットワーク設定」を参照してください。

管理者用設定（[初期設定] キーから設定）

[年月日/時刻設定]、[ファクス発信元情報登録]、[ダイヤル/ブッシュ選択]、[内線/外線選択]、[内線アクセス番号]、[優先機能]、[システムオートリセット時間設定]、[設定を初期化]、[ダイレクト機能呼出し設定]、[管理者用設定をロック]、[ファクス番号確認]

詳しくは、P.147 「管理者用設定」を参照してください。

ファクスアドレス帳（[初期設定] キーから設定）

詳しくは、P.150 「アドレス帳の設定」を参照してください。

リスト/レポートの印刷（[初期設定] キーから設定）

「システム設定リスト」、「ファクス通信管理レポート」、「ファクス送信/受信待機文書リスト」、「ワンタッチキー宛先リスト」、「ファクス短縮番号宛先リスト」、「特定相手先リスト」

詳しくは、P.151 「リスト/レポートの印刷」を参照してください。

ファクス送信設定

直接送信

原稿を読み取りながらファクスを送信します。

工場出荷時の設定：[しない]

- しない
メモリー送信のときに選択します。
- する
直接通信のときに選択します。
- 次の送信のみ
次の送信に限定して、直接送信を使いたいときに選択します。

解像度

解像度を設定します。

インターネットファクス送信では、解像度で [写真] を選択していても、[小さな字] の設定で送信されます。

工場出荷時の設定：[ふつう字]

- ふつう字
文字の大きさが普通の原稿に適した設定で読み取ります。
- 小さな字
文字の大きさが小さな原稿に適した設定で読み取ります。
- 写真
写真などが主体の原稿に適した設定で読み取ります。

濃度

濃度を設定します。

工場出荷時の設定：[ふつう]

- うすく
- ふつう
- こく

ポーズ時間

ファクス番号の途中にポーズが入力された個所で、ダイヤルをポーズする時間を設定します。

工場出荷時の設定：3 秒

- 1～15 秒、1 秒単位

自動リダイヤル

ファクス送信モードがメモリー送信のとき、回線が使用中だったりエラーが起きたときなどに、あて先を自動的にリダイヤルするようにします。リダイヤルは、5分間隔で3回行われます。

工場出荷時の設定：[する]

- しない
- する

自動リダイヤルを中止するには、本機のメモリーに残っている未送信のファクスジョブを消去します。詳しくは P.81「原稿の読み取り後に送信を取り消す（送信待機中のとき）」を参照してください。

発信元情報印字

送信するすべてのファクスにヘッダーを追加します。ヘッダーには、日付と時刻、ユーザー名と番号、ジョブ ID とページが表示されます。

工場出荷時の設定：[する]

- しない
- する

ファクス初期設定

受信設定

ファクス受信の設定をします。

- 受信モード切り替え

受信モードを設定します。

工場出荷時の設定：[ファクス専用]

- ファクス専用

すべての着信に、自動的にファクス受信を開始します。外付け電話機を接続していたとき、ファクスの自動受信を開始する前に、[呼び出し回数] で設定された回数の呼び出し音が外付け電話機から鳴ります。

- FAX/TEL（手動）

電話がかかってきたら、外付け電話機で応答します。ファクスが送られてきていたら、手動で受信します。

- FAX/留守番 TEL

電話がかかってきたら、外付け留守番電話が応答します。ファクスが送られてきていたら、自動的に受信します。

- FAX/TEL（自動）

電話がかかってきたら、外付け電話機で応答します。ファクスが送られてきていたら、自動的に受信します。

- 自動縮小

受信したファクスのサイズが大きすぎて 1 枚の用紙に印刷できないときに、サイズを縮小します。

サイズは 74%まで縮小されます。それ以上縮小しなければ 1 枚の用紙に印刷できないときは、縮小されずに別々の用紙に印刷されます。

工場出荷時の設定：[する]

- しない
- する

- 総呼び出し回数（留守番 TEL）

ファクス/留守番電話モードのときに、本機がファクス受信を開始する前に留守番電話機の呼び出し音が鳴る回数を設定します。

工場出荷時の設定：5 回

- 1~20 回、1 回単位

- 呼び出し回数

ファクス専用モードで外付け電話機を接続しているときに、本機がファクス受信を開始する前に外付け電話機の呼び出し音が鳴る回数を設定します。

工場出荷時の設定：1 回

- 1～5 回、1 回単位

• 受信モード自動切り替え時間

FAX/TEL（自動）モードのときに、本機がファクス音を検知しようとする時間を設定します。

工場出荷時の設定：15 秒

- 5～99 秒、1 秒単位

• ナンバーディスプレイ

本機はナンバーディスプレイに対応していません。ナンバーディスプレイを契約している回線に接続しても、本機に相手の番号は表示されません。ナンバーディスプレイを契約している回線に本機を接続してファクス受信をするときは、この設定を [契約している] に変更してください。

工場出荷時の設定：[契約していない]

- 契約していない

ナンバーディスプレイ契約回線に接続すると、ファクスの送受信ができません。

- 契約している

ナンバーディスプレイ契約回線に接続すると、相手の番号は表示されませんが、ファクスの受信はできます。

• 呼出音なし受信

ファクス専用モードか FAX/TEL（自動）モードで着信を受けたときに、外付け電話機/ハンドセットから呼び出し音を鳴らすかどうかを設定します。

工場出荷時の設定：[有効]

- 無効

外付け電話機/ハンドセットから呼び出し音を鳴らします。

- 有効

呼び出し音を鳴らしません。メモリー不足などでファクスの受信が正常にできないときは、呼び出し音が鳴ります。

• 受信モードリモート切り替え

本機のモードを外付け電話機/ハンドセットから切り替えられるように設定します。この機能を有効にすると、受話器を上げて [2] を押すことで電話とファクスの切り替えができます。

工場出荷時の設定：[有効]

- 無効

- 有効

• ダイヤル/プッシュリモート切り替え

電話回線の種類を設定します。

受信モードリモート切り替えをするときに、回線がダイヤル回線のときは [2] を 1 回、プッシュ回線のときは 2 回押します。

工場出荷時の設定：[プッシュ]

- プッシュ
- ダイヤル (10PPS)
- ダイヤル (20PPS)
- 迷惑ファクス防止設定
特定相手先として登録した相手先からのファクスを制限します。間違いファクスやいたずらファクスを防止するときに設定します。

工場出荷時の設定：[無効]

- 有効
- 無効
- 迷惑ファクス防止：受信条件

特定相手先からのファクスを受信するか拒否するかを設定します。

[迷惑ファクス防止設定] を有効にしているときに表示されます。

工場出荷時の設定：[特定相手先]

- 特定相手先
特定相手先からのファクスだけを受信し、それ以外の相手先からのファクスを拒否します。
- 特定相手先以外
特定相手先からのファクスを拒否し、それ以外の相手先からのファクスだけを受信します。

- 受信文書設定

受信したファクスを印刷するために一時的にメモリーに蓄積するか、あらかじめ設定されたあて先に転送するかを設定します。

転送のあて先は、Web Image Monitor で設定します。詳しくは P.105 「Web Image Monitor で転送先を設定する」を参照してください。

この機能は、RICOH SP C251SF で使用できます。

工場出荷時の設定：[印刷する]

- 印刷する
- 転送する
- 受信文書印刷
メモリーに蓄積したファクスを自動的に印刷するか手動で印刷するかを設定します。

この機能は、RICOH SP C251SF で使用できます。

工場出荷時の設定：[する]

- しない

ファクスがメモリーに蓄積されたら、手動で印刷するまでメモリーに保管します。

最大 80 件、または約 100 ページのファクスを一時的に蓄積できます。

- する

ファクスがメモリーに蓄積されたら、自動的に印刷してメモリーから消去します。

印刷する開始時間と終了時間が設定できます。指定した期間に蓄積されたファクスを印刷してメモリーから消去します。指定した期間以外にファクスがメモリーに蓄積されたら、開始時間まで印刷しないでメモリーに保管します。

- 転送文書印刷

転送したファクスを印刷できるように一時的にメモリーに蓄積するか、転送したら消去するかを設定します。

この機能は、RICOH SP C251SF で使用できます。

工場出荷時の設定：[しない]

- しない

転送したらメモリーからファクスを消去します。

- する

転送後に印刷できるよう、ファクスをメモリーに蓄積します。

- 転送結果通知

転送後に通知メールを送信するかしないかを設定します。通知のあて先は、転送先が Web Image Monitor でどのように設定されているかによって異なります。詳しくは P.159 「ファクスの設定をする」を参照してください。

この機能は、RICOH SP C251SF で使用できます。

工場出荷時の設定：[無効]

- 無効

転送したらメモリーからファクスを消去します。

- 有効

転送後に印刷できるよう、ファクスをメモリーに蓄積します。

- 手動 POP

手動で POP3 サーバーに接続して、新しいメールがあったら取得します。

POP3 サーバーに接続するには、[はい] を押します。[いいえ] を押すと、POP3 サーバーに接続しないで前のメニューに戻ります。

この機能は、RICOH SP C251SF で使用できます。

給紙トレイ選択

受信したファクスを印刷するトレイを指定します。ファクスの印刷に使用できる用紙のサイズは、A4、Letter、Legal です。そのサイズ用の紙がセットされているトレイを選択してください。増設トレイ（トレイ 2）が装着されていないときは、[トレイ 1] だけが表示されます。

工場出荷時の設定：[自動]

- 自動

トレイ 1 とトレイ 2 の両方に同じサイズの用紙がセットされていたら、両方のトレイを使ってファクスを印刷します。用紙設定の [給紙トレイ優先設定] で指定されているトレイから印刷が開始され、そのトレイの用紙がなくなると、自動的にもう一方のトレイに切り替えて印刷します。[給紙トレイ優先設定] について詳しくは、P.144 「優先的に使用する給紙トレイを設定する」を参照してください。

- トレイ 1

- トレイ 2

送信待機文書削除

本機のメモリーに残っている未送信のファクスジョブを消去します。

この機能は、選択されたときだけ実行されます。

- 選択した文書を削除

ファクスジョブを個別に消去するには、消去するジョブを選択し、[はい] を押します。[いいえ] を押すと、消去しないで前のメニューに戻ります。

- すべての文書を削除

すべてのファクスジョブを一度に消去するときは、[はい] を押します。[いいえ] を押すと、消去しないで前のメニューに戻ります。

通信設定

- ECM 送信

送信中に失われたデータを自動的に再送信します。

この機能は、インターネットファクスの送信では使用できません。

工場出荷時の設定：[する]

- しない

- する

- ECM 受信

受信中に失われたデータを自動的に再受信します。

この機能は、インターネットファクスの受信では使用できません。

工場出荷時の設定：[する]

- しない
- する
- トーン検知
ダイヤル音を検知してから、あて先にダイヤルを開始します。
工場出荷時の設定：[する]
 - しない
 - する
- 送信速度
ファクスモデムの送信速度を指定します。
工場出荷時の設定：[33.6 Kbps]
 - 33.6 Kbps
 - 14.4 Kbps
 - 9.6 Kbps
 - 7.2 Kbps
 - 4.8 Kbps
 - 2.4 Kbps
- 受信速度
ファクスモデムの受信速度を指定します。
工場出荷時の設定：[33.6 Kbps]
 - 33.6 Kbps
 - 14.4 Kbps
 - 9.6 Kbps
 - 7.2 Kbps
 - 4.8 Kbps
 - 2.4 Kbps
- JBIG
圧縮率の高いJBIG (Joint Bi-level image experts Group) で送受信できるようにします。
この機能を使用するときは、[ECM 送信] と [ECM 受信] も有効にしてください。
この機能は、インターネットファクスの送受信では使用できません。
工場出荷時の設定：[有効]
 - 無効
 - 有効

レポート印刷設定

• 送信結果レポート印刷

ファクスを送信したあと、自動的に送信レポートを印刷します。

直接送信モードでは、[エラーのみ (画像あり)] または [毎回印刷 (画像あり)] を選択していても、原稿のイメージはレポート上に再現されません。

送信結果レポートは、用紙設定の [給紙トレイ優先設定] で [ファクス] に設定されているトレイから、A4/Letter の用紙に印刷されます。[給紙トレイ優先設定] について詳しくは、P.144 「優先的に使用する給紙トレイを設定する」を参照してください。

工場出荷時の設定：[エラーのみ (画像あり)]

• エラーのみ

送信エラーが発生したら、レポートを印刷します。

• エラーのみ (画像あり)

送信エラーが発生したら、原稿のイメージ付きレポートを印刷します。

• 毎回印刷

ファクスを送信するたびにレポートを印刷します。

• 毎回印刷 (画像あり)

ファクスを送信するたびに、原稿のイメージ付きレポートを印刷します。

• 印刷しない

• 通信管理レポート印刷

ファクスの送受信 50 件ごとに、自動的にレポートを印刷します。

レポートを印刷したあとは、本機の通信履歴はクリアされます。

通信管理レポートは、用紙設定の [給紙トレイ優先設定] で [ファクス] に設定されているトレイから、A4/Letter の用紙に印刷されます。詳しくは、P.144 「優先的に使用する給紙トレイを設定する」を参照してください。

工場出荷時の設定：[自動印刷する]

• 自動印刷する

• 自動印刷しない

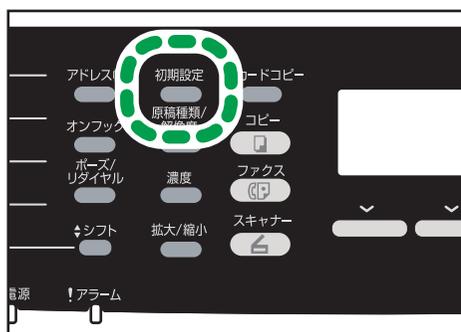
用紙設定

本機用の紙設定で設定できる項目を説明します。

優先的に使用する給紙トレイを設定する

本機が優先的に使用するトレイを、プリンター機能、コピー機能、ファクス機能のそれぞれにトレイ1とトレイ2から選択します。優先トレイの紙がなくなったら、自動的にもう一方のトレイに切り替えて印刷します。[トレイ2]は、増設トレイ(トレイ2)が装着されているときに表示されます。

1. [初期設定] キーを押します。



DAC448

8

2. [▲] [▼] キーを押して [用紙設定] を選択し、[OK] キーを押します。
3. [▲] [▼] キーを押して [給紙トレイ優先設定] を選択し、[OK] キーを押します。
4. [▲] [▼] を押して [ファクス] を選択し、[OK] キーを押します。
5. [▲] [▼] キーを押して優先的に使用したいトレイを選択し、[OK] キーを押します。

ファクス初期設定の [給紙トレイ選択] が [自動] に設定されていて、トレイ1とトレイ2の両方に同じサイズ用の紙がセットされていたら、ここで指定されたトレイから印刷が開始されます。
6. [初期設定] キーを押して初期画面に戻ります。

ネットワーク設定

イーサネット

- イーサネット速度設定

イーサネットの通信速度を設定します。お使いのネットワーク環境に合った速度を選択してください。

通常は、工場出荷時の設定から変更する必要はありません。

工場出荷時の設定：[自動設定]

- 自動設定
- 100Mbps 全二重固定
- 100Mbps 半二重固定
- 10Mbps 全二重固定
- 10Mbps 半二重固定

IPv4 設定

- DHCP

DHCP サーバーから IPv4 アドレス、サブネットマスク、およびデフォルトのゲートウェイアドレスを自動で取得します。

DHCP を使用しているときは、IPv4 アドレス、サブネットマスク、およびデフォルトのゲートウェイアドレスは、手動で設定できません。

工場出荷時の設定：[無効]

- 無効
- 有効

- IP アドレス

DHCP を使用していないときは、本機の IPv4 アドレスを設定します。

DHCP を使用しているときは、このメニューを使って現在の IP アドレスを確認します。

工場出荷時の設定：XXX.XXX.XXX.XXX

ネットワーク環境により、表示されるアドレス番号は異なります。

- サブネットマスク

DHCP を使用していないときは、本機のサブネットマスクを設定します。

DHCP を使用しているときは、このメニューを使って現在のサブネットマスクを確認します。

工場出荷時の設定：XXX.XXX.XXX.XXX

ネットワーク環境により、表示されるアドレス番号は異なります。

- ゲートウェイアドレス

DHCP を使用していないときは、本機のデフォルトのゲートウェイアドレスを設定します。

DHCP を使用しているときは、このメニューを使って現在のデフォルトのゲートウェイアドレスを確認します。

工場出荷時の設定：XXX.XXX.XXX.XXX

ネットワーク環境により、表示されるアドレス番号は異なります。

- IP アドレス方式

IP アドレスの取得方法を表示します。

工場出荷時の設定：[デフォルト IP]

- DHCP

DHCP サーバーから IP アドレスを自動で取得したときに表示されます。

- オート IP

DHCP サーバーから IP アドレスを取得できず、臨時の IP アドレスが設定されているときに表示されます。IP アドレスを設定し直してください。

- 手動設定

手動で IP アドレスを設定したときに表示されます。

- デフォルト IP

DHCP サーバーから IP アドレスを取得できず、IP アドレスが本機の工場出荷時の設定のままになっているときに表示されます。IP アドレスを設定し直してください。

管理者用設定

年月日/時刻設定

本機のシステム時計を設定します。

- 年月日設定

システム時計の日付を設定します。

日付形式の初期値：[年/月/日]

- 年：2000～2099
- 月：1～12
- 日：1～31
- 日付形式：月/日/年、日/月/年、年/月/日

- 時刻設定

システム時計の時刻を設定します。

時刻形式の初期値：[24 時間形式]

- 時刻形式：12 時間形式、24 時間形式
- AM/PM 表示：AM、PM (12 時間形式)
- 時間：0～23 (24 時間形式)、1～12 (12 時間形式)
- 分：0～59

ファクス発信元情報登録

ファクスの発信元情報を設定します。

- 番号：

ファクス番号を最大 20 桁で設定します。番号には、0～9 までの数字、「+」 ([✱] キーで入力します)、スペースが使用できます。

- 名称：

本機の名称を最大 20 文字で設定します。文字や数字と記号が使用できます。

ダイヤル/プッシュ選択

電話回線の種類を設定します。

この設定をするときは、利用している電話会社に確認し、使用している電話回線に合った設定を選択してください。間違った設定をすると、ファクス送信に不具合が生じることがあります。

工場出荷時の設定：[プッシュ]

- プッシュ
- ダイヤル (10PPS)
- ダイヤル (20PPS)

内線／外線選択

電話回線への接続形態を設定します。

工場出荷時の設定：[外線]

- 外線

本機が公衆交換電話網（PSTN）に直接接続されているときに選択します。

- 内線

本機が構内交換機（PBX）に接続されているときに選択します。

内線アクセス番号

本機が PBX に接続されているときに、外線にダイヤルするための番号を設定します。

使用している PBX の設定に合った外線ダイヤル番号を設定してください。設定が合っていないと、外線へのファクス送信が正常にできないことがあります。

工場出荷時の設定：0

- 0～999

優先機能

電源を入れたとき、または待機状態のまま [システムオートリセット時間設定] で設定した時間が経過したときに起動するモードを設定します。

工場出荷時の設定：[コピー]

- コピー
- ファクス
- スキャナー

システムオートリセット時間設定

本機の待機状態が設定した時間経過したとき、[優先機能] で設定されているモードに移行します。

工場出荷時の設定：[1 分]

- OFF
- 30 秒
- 1 分
- 2 分
- 3 分
- 5 分
- 10 分

設定を初期化

誤って設定をクリアしないように注意してください。

- すべての設定を初期化

画面表示言語、国設定、ネットワーク設定、ファクスのワンタッチダイヤルと短縮ダイヤル、特定相手先を除く本機の設定を初期値に戻します。初期化を実行するには [はい] を押します。[いいえ] を押すと、初期化をしないで前のメニューに戻ります。

- ネットワーク設定を初期化

ネットワーク設定を初期値に戻します。初期化を実行するには [はい] を押します。[いいえ] を押すと、初期化をしないで前のメニューに戻ります。

- アドレス帳を初期化

ファクスのワンタッチダイヤルと短縮ダイヤルと特定相手先の登録内容を消去します。初期化を実行するには [はい] を押します。[いいえ] を押すと、初期化をしないで前のメニューに戻ります。

ダイレクト機能呼出し設定

操作部の [ID カードコピー] キーに以下のいずれかの機能を割り当てます。

工場出荷時の設定：[ID カードコピーモード]

- ファクス自動印刷設定
- ファクス直接送信
- ファクスアドレス帳

管理者用設定をロック

[アドレス帳]、[ネットワーク設定]、[管理者用設定] メニューにアクセスするための4桁のパスワードを設定します。

パスワードは忘れないようにしてください。

工場出荷時の設定：[しない]

- する (0000~9999)
- しない

ファクス番号確認

操作部のテンキーで相手先のファクス番号を入力したとき、確認のための再入力を要求するかしないかを設定します。

この設定は、[管理者用設定をロック] でパスワードが設定されているときに表示されます。

工場出荷時の設定：[しない]

- する
- しない

アドレス帳の設定

ワンタッチキー宛先

ワンタッチダイヤルのファクス番号とあて先名を設定します。最大 20 件のワンタッチダイヤルを登録できます。

- No.
ワンタッチダイヤルの登録番号を設定します。
- Fax No.
ワンタッチダイヤルのファクス番号を設定します。ファクス番号には、0～9 までの数字、ポーズ、「*」、「#」、スペースで最大 40 桁入力できます。
- 名前
ワンタッチダイヤルのあて先名を設定します。あて先名は半角英数字/半角カナで最大 20 文字入力できます。漢字・ひらがなは入力できません。

ファクス短縮番号宛先

短縮ダイヤルのファクス番号とあて先名を設定します。最大 200 件の短縮ダイヤルを登録できます。

- No.
短縮ダイヤルの登録番号を設定します。
- Fax No.
短縮ダイヤルのファクス番号を設定します。ファクス番号には、0～9 までの数字、ポーズ、「*」、「#」、スペースで最大 40 桁入力できます。
- 名前
短縮ダイヤルのあて先名を設定します。あて先名は半角英数字/半角カナで最大 20 文字入力できます。漢字・ひらがなは入力できません。

リスト/レポートの印刷

リスト/レポートの種類

システム設定リスト

本機のシステム構成や設定の内容を印刷します。

ファクス通信管理レポート

ファクスの送受信の履歴を最新の 50 件まで印刷します。

ファクス送信/受信待機文書リスト

本機のメモリーに残っている未送信文書、印刷されていない受信文書のリストを印刷します。

ワンタッチキー宛先リスト

ワンタッチダイヤル登録リストを印刷します。

ファクス短縮番号宛先リスト

ファクスの短縮番号の登録リストを印刷します。短縮番号順、または名前順で印刷できます。

特定相手先リスト

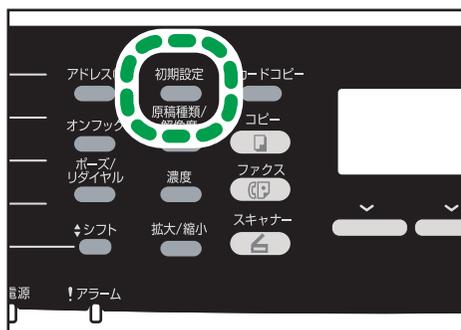
特定相手先リストを印刷します。

↓ 補足

- リストやレポートは、A4 またはレターサイズ用の紙に印刷されます。印刷の前に、トレイに A4 またはレターサイズ用の紙をセットしてください。

リスト/レポートを印刷する

1. [初期設定] キーを押します。



DAC448

2. [▲] [▼] キーを押して [リスト/レポート印刷] を選択し、[OK] キーを押します。
3. [▲] [▼] キーを押して印刷するリスト/レポートを選択し、[OK] キーを押します。
4. [する] を押します。
リスト/レポートが印刷されます。

ファクス通信管理レポートの見かた

No.

文書の管理番号が記載されます。

日付/時間

送信したときは、送信を開始した日付と時刻が記載されます。

受信したときは、受信した日付と時刻が記載されます。

通信種別

以下の情報が記載されます。

- 送信：ファクスを送信したとき。
- 受信：ファクスを受信したとき。
- PC ファクス：PC ファクスを送信したとき。
- I-Fax 送信：インターネットファクスを送信したとき。
- I-Fax 受信：インターネットファクスを受信したとき。
- 転送：ファクスが転送されたとき。

通信時間

送信や受信にかかった通信時間が記載されます。

相手先

受信したときは、相手先が設定している番号か、インターネットファクスのときはメールアドレスが記載されます。

送信したときは、送信の方法によって、以下の情報が記載されます。

- 外付け電話機を使ったとき：相手先が設定している番号が記載されます。
- ワンタッチダイヤル/短縮ダイヤルを使ったとき：あて先の名前が登録されていれば、名前が記載されます。登録されていないときは、番号が記載されます。
- 操作部のテンキーを使ったとき：あて先の番号が記載されます。
- PC ファクスのとき：あて先の番号が記載されます。
- インターネットファクスのとき：あて先のメールアドレスが記載されます。

ページ数

送受信したページ数が記載されます。

結果

送受信の結果が記載されます。送受信中にエラーが発生して正常な処理がされなかったときは、エラーコードが記載されます。エラーコードについて詳しくは、P.187「レポートにエラーコードが記載されたとき」を参照してください。

ファクス送信/受信待機文書リストの見かた

No.

文書の管理番号が記載されます。

日付/時間

メモリーに蓄積した日付と時刻が記載されます。

種類

- リダイヤル：リダイヤルをしていたとき。
- 同報送信：同報送信をしていたとき。
- PC ファクス：PC ファクスを送信していたとき。
- 転送：転送をしていたとき。
- メモリー送信：それ以外のとき。

相手先

受信したときは、相手先が設定している番号か、インターネットファクスのときはメールアドレスが記載されます。

送信したときは、送信の方法によって、以下の情報が記載されます。

- 外付け電話機を使ったとき：相手先が設定している番号が記載されます。
- ワンタッチダイヤル/短縮ダイヤルを使ったとき：あて先の名前が登録されていれば、名前が記載されます。登録されていないときは、番号が記載されます。
- 操作部のテンキーを使ったとき：あて先の番号が記載されます。
- PC ファクスのとき：あて先の番号が記載されます。
- インターネットファクスのとき：あて先のメールアドレスが記載されます。

ページ数

送信するファクスのページ数が記載されます。

9. Web Image Monitor を使って設定をする

Web Image Monitor から直接本機にアクセスし、本機の状態を確認したり、設定を変更したりできます。

Web Image Monitor を使用する

★重要

- 一部の項目は、本機の種類や構成、および設定によって、表示されないことがあります。
- 一部の項目は、操作部からでも設定できます。操作部でできる本機の設定について詳しくは、P.133「操作部で設定できる機能」を参照してください。

Web Image Monitor で設定できる項目

パソコンの Web Image Monitor から、ネットワークを介して以下の遠隔操作ができます。

- ファクスの設定をする
- ファクスのあて先を登録する
- 特定相手先を登録する
- ユーザーが使用できる機能を制限する
- ネットワークの設定をする
- リスト/レポートを印刷する
- 管理者用のパスワードとメールアドレスを設定する
- 工場出荷時の設定に戻す
- 各種設定のバックアップファイルを作成する
- バックアップファイルから各種設定を回復する
- 本機の日付と時刻を設定する

推奨ブラウザ

- Windows:
Internet Explorer 6.0-11.0
- Mac OS X:
Safari 3.0-6.0

↓補足

- Web Image Monitor から本機を操作するには、TCP/IP の設定が必要です。詳しくは、P.49「IP アドレスの設定をする」を参照してください。

- 操作部で行う本機の設定について詳しくは、P.133 「操作部で設定できる機能」を参照してください。

トップページを表示する

Web Image Monitor を使って本機にアクセスすると、ブラウザにトップページが表示されます。

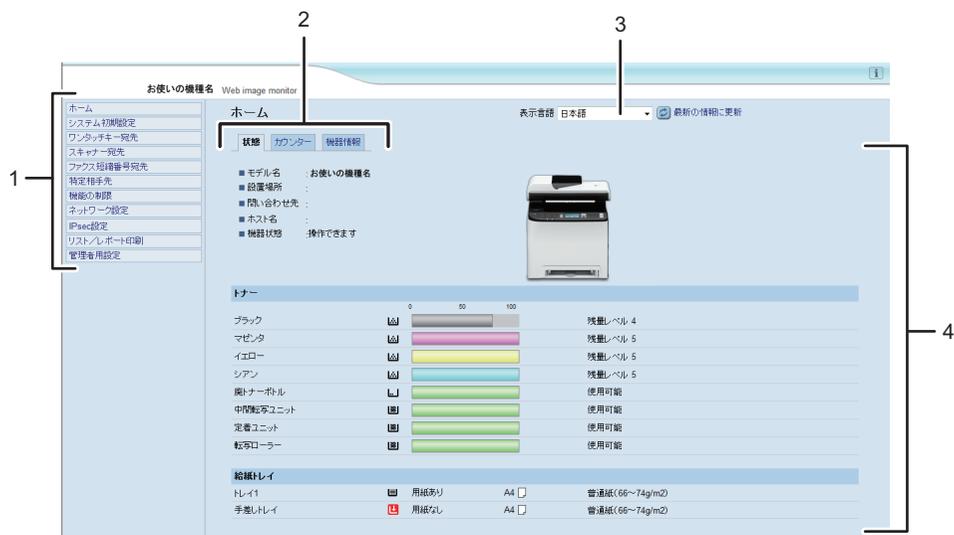
1. Web ブラウザーを起動します。

2. Web ブラウザーのアドレスバーに"http:// (本機の IP アドレス) /"と入力し、本機にアクセスします。

DNS または WINS サーバーを使用し、本機のホスト名が設定されているときは、IP アドレスの代わりにホスト名を入力できます。

トップページ

Web Image Monitor のページはフレーム機能によって以下のエリアに分割表示されます。



DAC814

1. メニューエリア

メニューをクリックすると、メインエリアに設定ページの内容が表示されます。

2. タブエリア

目的の設定や情報を表示するためのタブを表示します。

3. 表示言語

表示される言語をほかの言語に変更できます。

4. メインエリア

メニューエリアで選択された項目の内容が表示されます。

メインエリアの情報は自動的に更新されません。情報を更新するときは、同エリア右上の「最新の情報に更新」をクリックしてください。Web ブラウザー画面全体を更新するときは、ブラウザの「更新」や「再読み込み」をクリックしてください。

↓ 補足

- 使用するブラウザのバージョンが推奨するバージョンより低いときや、使用するブラウザの設定で、「JavaScript」、「Cookie の使用許可」が有効になっていないときは、表示や操作に不具合が生じることがあります。
- プロキシサーバーを使用しているときは、本機との接続にプロキシサーバーを経由しない設定にしてください。詳しくはネットワーク管理者に確認してください。
- ブラウザーの [戻る] で前のページに戻れないことがあります。そのときはブラウザの [更新] や [再読み込み] をクリックしてください。

ファクスの設定をする

システム初期設定ページの [ファクス] タブをクリックして、ファクスの設定をするページを表示します。

給紙トレイ選択

項目	説明
給紙トレイ選択	<p>受信したファクスを印刷するトレイを以下の中から選択します：</p> <p>[自動]、[トレイ 1]、[トレイ 2]</p> <p>ファクスの印刷に使用できる用紙のサイズは、A4、Letter、Legal です。そのサイズの用紙がセットされているトレイを選択してください。</p> <p>[自動] を選択すると、トレイ 1 とトレイ 2 の両方に同じサイズの用紙がセットされていたら、両方のトレイを使ってファクスを印刷します。[優先トレイ] ページの [ファクス] で指定されたトレイから印刷が開始され、そのトレイの用紙がなくなると、自動的にもう一方のトレイに切り替えて印刷します。優先トレイの設定について詳しくは、P.162 「優先トレイを指定する」を参照してください。</p> <p>増設トレイ（トレイ 2）が装着されていないときは、[トレイ 1] だけが表示されます。</p>

ファクス番号確認

項目	説明
ファクス番号確認	<p>操作部のテンキーで相手先のファクス番号を入力したとき、確認のための再入力を要求するかしないかを設定します。</p> <p>この設定は、[管理者] ページでパスワードが設定されているときに表示されます。管理者用のパスワードについて詳しくは、P.177 「管理者用のメールアドレスとパスワードを設定する」を参照してください。</p>

ファクス受信文書処理

項目	説明
受信文書処理	<p>受信したファクスを印刷するためにメモリーに蓄積するか、[転送先] で設定されたあて先に転送するかを設定します。</p>
自動印刷	<p>メモリーに蓄積したファクスを自動的に印刷するか手動で印刷するかを設定します。</p>
転送文書印刷	<p>転送したファクスを印刷できるようにメモリーに蓄積するか、転送したら消去するかを設定します。</p>

項目	説明
転送結果通知	<p>転送後に通知メールを送信するかしないかを設定します。通知のあて先は、[転送先] の設定によって異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [メールアドレス] で指定したとき [管理者] ページの [管理者メールアドレス] で設定された管理者メールアドレスに通知します。管理者用のメールアドレスについて詳しくは、P.177 「管理者用のメールアドレスとパスワードを設定する」を参照してください。 • [スキャナー宛先] で指定したとき 選択したスキャナーのあて先で設定されている通知先に通知します。 <p>通知先が設定されていないときは、この設定を有効にしても、通知は送信されません。</p>
転送先	<p>転送先を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [メールアドレス] 転送先のアドレスを入力します。最大 64 文字まで入力できます。 • [スキャナー宛先] 転送をスキャナーのあて先から選択します。メールアドレス、FTP サーバー、または共有フォルダーが選択できます。
転送回数 (回)	転送が成功するまで繰り返す回数を指定します (1~255 回)。
転送間隔 (分)	転送の間隔を指定します (1~255 分)。

迷惑ファクス防止設定

項目	説明
迷惑ファクス防止設定	<p>特定相手先として登録した相手先からのファクスを制限 (受信か拒否) します。間違いファクスやいたずらファクスを防止するときに設定します。</p> <p>特定相手先は、[特定相手先] ページで登録できます。詳しくは、P.112 「特定の相手先からのファクスを制限する」を参照してください。</p>
受信条件	<p>特定相手先からのファクスを受信するか拒否するかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [特定相手先] 特定相手先からのファクスだけを受信し、それ以外の相手先からのファクスを拒否します。 • [特定相手先以外] 特定相手先からのファクスを拒否し、それ以外の相手先からのファクスだけを受信します。

↓ 補足

- [ファクス受信文書処理] は、使用している機器が RICOH SP C251SF のときに表示されます。

- ファクス受信文書処理の転送先メールアドレスには、本機の機器メールアドレスを指定しないでください。機器メールアドレスについて詳しくは、P.171「SMTP の設定をする」を参照してください。

システム初期設定を変更する

[システム初期設定] をクリックして、システム初期設定のページを表示します。
このページには、以下のタブがあります：[優先トレイ]、[ダイレクト機能呼出し]。

優先トレイを指定する

システム初期設定ページの [優先トレイ] タブをクリックして、優先トレイの設定をするページを表示します。

優先トレイ

項目	説明
ファクス	ファクスの印刷で優先的に使用するトレイを、トレイ1とトレイ2から選択します。 [ファクス] ページの [給紙トレイ選択] で [自動] が選択されていて、トレイ1とトレイ2の両方に同じサイズ of 用紙がセットされていたら、ここで指定されたトレイから印刷が開始されます。優先トレイの紙がなくなったら、自動的にもう一方のトレイに切り替えて印刷します。ファクスの給紙トレイ選択について詳しくは、P.159 「ファクスの設定をする」を参照してください。

↓ 補足

- 増設トレイ (トレイ2) が装着されているときは、[トレイ2] が表示されます。

ダイレクト機能呼出しを設定する

システム初期設定ページの [ダイレクト機能呼出し] タブをクリックして、ダイレクト機能呼出しを設定するページを表示します。

ダイレクト機能呼出し

項目	説明
ダイレクト機能呼出し設定	操作部の [ID カードコピー] キーに次のいずれかの機能を割り当てます。 <ul style="list-style-type: none"> ファクス自動印刷設定 ファクス直接送信 ファクスアドレス帳

あて先を登録する

Web Image Monitor を使って、ファクスのあて先を登録できます。

ワンタッチダイヤルは最大 20 件、短縮ダイヤルは最大 200 件登録できます。Web ブラウザーを使用したファクスのあて先登録について詳しくは、P.69 「Web Image Monitor であて先を登録する」を参照してください。

特定相手先を登録する

Web Image Monitor を使って、ファクスの特定相手先を登録できます。

最大 30 件の特定相手先を登録できます。特定相手先の登録方法は、P.112 「特定の相手先からのファクスを制限する」を参照してください。

ユーザーが使用できる機能を制限する

対象機種：RICOH SP C251SF

本機の機能の一部は、使用するときユーザーコードによる認証を要求するように設定できます。

Web Image Monitor を使って以下の機能の中から制限したい機能を選択し、その機能を使えるユーザーを登録します。

- ファクスの送信
- PC ファクスの送信

使える機能は、ユーザーごとに設定できます。

最大 30 件のユーザーを登録できます。

↓ 補足

- ユーザー制限については、P.58 「ユーザーが使用できる機能を制限する」を参照してください。

ネットワークの設定をする

[ネットワーク設定] をクリックして、ネットワーク設定ページを表示します。

このページには、以下のタブがあります：[ネットワーク情報]、[IPv6 設定]、[ネットワーク設定]、[DNS]、[自動メール通知]、[SNMP]、[SMTP]、[POP3]、[インターネットファクス]、[無線]。

★重要

- 設定を変更したときは、本機の再起動が必要なことがあります。
- 一部の項目は、本機の種類や構成、設定によって、表示されないことがあります。

ネットワーク情報の設定をする

ネットワーク設定ページの [ネットワーク情報] タブをクリックして、ネットワーク情報の設定をするページを表示します。

ネットワーク情報

項目	説明
イーサネット速度	ネットワーク接続の種類と速度を表示します。
IPP プリンター名	ネットワークで本機を識別するために使用する名前を表示します。
ネットワークバージョン	ネットワークモジュールのバージョン (本機ファームウェアの一部) を表示します。
イーサネット MAC アドレス	本機の MAC アドレスを表示します。
有効なインターフェース	現在の通信方法を表示します。

TCP/IP 情報

項目	説明
DHCP	DHCP を使って、本機が IPv4 アドレスを自動的に取得するかどうか選択します。DHCP を使用するには、[有効] を選択してください。有効にしたとき、[IP アドレス]、[サブネットマスク]、[デフォルトゲートウェイアドレス] は設定できません。
IP アドレス	本機の IPv4 アドレスを入力します。
サブネットマスク	ネットワークのサブネットマスクを入力します。
ゲートウェイアドレス	ネットワークのゲートウェイアドレスを設定します。

IPv6 の設定をする

ネットワーク設定ページの [IPv6 設定] タブをクリックし、IPv6 の設定をするページを表示します。

IPv6

項目	説明
IPv6	IPv6 を有効にするか無効にするかを設定します。無効にすると、[DHCP]、[ステートレスアドレス]、[リンクローカルアドレス]、[手動設定アドレス] は設定できません。本機が IPv6 環境で使用されているときは、Web Image Monitor で IPv6 を無効に設定できません。操作部の [ネットワーク設定] で [IPv6] を無効にしてください。

IPv6 アドレス

項目	説明
DHCP	DHCP サーバーから IPv6 アドレスを自動で取得するかしないかを設定します。
IP アドレス (DHCP)	[DHCP] が [有効] のときに、DHCP サーバーで取得した IPv6 アドレスを表示します。
ステートレスアドレス	4 つのステートレス自動アドレスを表示します。
ゲートウェイアドレス	デフォルトゲートウェイアドレスを表示します。
リンクローカルアドレス	本機のリンクローカルアドレスを表示します。リンクローカルアドレスはローカルネットワーク環境だけで有効なアドレスです。
手動設定アドレス	任意で IPv6 アドレスを設定します。最大で 39 文字入力できます。
プレフィックス長	プレフィックス長を 0~128 の値で入力します。
ゲートウェイアドレス	デフォルトゲートウェイの IPv6 アドレスを設定します。最大で 39 文字入力できます。

ネットワーク設定をする

ネットワーク設定ページの [ネットワーク設定] タブをクリックして、スキャナー送信機能や印刷プロトコルの設定をするページを表示します。

スキャナー送信設定

項目	説明
メール送信	メール送信機能を有効にします。

項目	説明
送信メールサイズ制限	メールに添付できるファイルの最大容量を選択します (1~5MB、またはサイズ制限しない)。
FTP 送信	FTP 送信機能を有効にします。
フォルダー送信	フォルダー送信機能を有効にします。

ネットワーク印刷設定

項目	説明
IPP	インターネット印刷プロトコルを使った TCP/IP ネットワーク印刷を有効にします (TCP ポート 631/80 を使用します)。
FTP	本機内蔵の FTP プロトコルを使ったネットワーク印刷を有効にします (TCP ポート 20/21 を使用します)。
RAW	raw 印刷を有効にします。
ポート番号	raw 印刷に使用する TCP ポートの番号を入力します。有効なポート番号は 1024~65535 で、53550 は除きます (デフォルト: 9100)。
LPR	LPR/LPD を使ったネットワーク印刷を有効にします (TCP ポート 515 を使用します)。

mDNS 設定

項目	説明
mDNS	マルチキャスト DNS を有効にします。無効にしたとき、[プリンター名] は設定できません。
プリンター名	本機の名前を入力します。最大 32 文字入力できます。

DNS の設定をする

ネットワーク設定ページの [DNS] タブをクリックして、DNS 設定をするページを表示します。

DNS

項目	説明
DNS 方式	手動でドメインサーバーを指定するか、ネットワークを通して自動的に DNS 情報を受け取るかを選択します。[自動的に取得 (DHCP)] にしたとき、[プライマリー DNS サーバー]、[セカンダリー DNS サーバー]、[ドメイン名] は無効になります。
プライマリー DNS サーバー	主要 DNS の IPv4 アドレスを入力します。
セカンダリー DNS サーバー	補助 DNS の IPv4 アドレスを入力します。

項目	説明
ドメイン名	本機のドメイン名を入力します。最大 32 文字入力できます。
IPv6DNS 方式	手動で IPv6 ドメインサーバーを指定するか、ネットワークを通して自動的に DNS 情報を受け取るかを選択します。 [自動的に取得 (DHCP)] にしたとき、[IPv6 プライマリー DNS サーバー]、[IPv6 セカンダリー DNS サーバー]、[IPv6 ドメイン名] は無効になります。
IPv6 プライマリー DNS サーバー	IPv6 主要 DNS の IPv6 アドレスを入力します。最大 39 文字入力できます。
IPv6 セカンダリー DNS サーバー	IPv6 補助 DNS の IPv6 アドレスを入力します。最大 39 文字入力できます。
IPv6 ドメイン名	本機の IPv6 ドメイン名を入力します。最大 32 文字入力できます。
DNS 名前解決優先	IPv4 と IPv6 のどちらに DNS 名前解決の優先を与えるかを設定します。
DNS タイムアウト (秒)	DNS 要求をタイムアウトにするまでの最大待ち時間を入力します (1~999)。
ホスト名	本機のホスト名を入力します。最大 15 文字入力できます。

自動メール通知の設定をする

ネットワーク設定ページの [自動メール通知] タブをクリックして、自動メール通知の設定をするページを表示します。

メール通知 1/メール通知 2

項目	説明
表示名	自動通知メールの送信者名を入力します。最大 32 文字入力できます。
メールアドレス	自動通知メールのあて先となるアドレスを入力します。最大 64 文字入力できます。
用紙づまり	紙づまりが発生したときに、指定先のアドレスに自動通知メールを送信します。
用紙なし	用紙が切れたときに、指定先のアドレスに自動通知メールを送信します。
トナー残りわずか	トナーが少なくなったときに、指定先のアドレスに自動通知メールを送信します。
サービスコール	本機故障などの問題が発生したときに、指定先のアドレスに自動通知メールを送信します。

項目	説明
トナーなし	トナーが切れたときに、指定先のアドレスに自動通知メールを送信します。
カバーオープン	カバーが開いているときに、指定先のアドレスに自動通知メールを送信します。

SNMP の設定をする

ネットワーク設定ページの [SNMP] タブをクリックして、SNMP 設定をするページを表示します。

SNMP

項目	説明
SNMP	本機が SNMP サービスを使えるようにするかどうか選択します。

Trap

項目	説明
Trap 送信	本機が管理ホスト (NMS) にトラップを送信できるようにするかどうか選択します。 無効にしたとき、[SNMP マネージャーアドレス 1]、[SNMP マネージャーアドレス 2] は設定できません。
SNMP マネージャーアドレス 1	IP アドレスか、管理ホストのホスト名を入力します。最大 64 文字入力できます。
SNMP マネージャーアドレス 2	IP アドレスか、管理ホストのホスト名を入力します。最大 64 文字入力できます。

コミュニティ

項目	説明
Get コミュニティ	Get 要求の認証に使用するコミュニティ名を入力します。最大 32 文字入力できます。
Trap コミュニティ	Trap 要求の認証に使用するコミュニティ名を入力します。最大 32 文字入力できます。

システム

項目	説明
設置場所	本機の場所を入力します。ここで入力した場所は、トップページに表示されます。最大 64 文字入力できます。

項目	説明
問い合わせ先	連絡先の情報を入力します。ここで入力した連絡先の情報は、トップページに表示されます。最大 64 文字入力できます。

SMTP の設定をする

ネットワーク設定ページの [SMTP] タブをクリックして、SMTP 設定をするページを表示します。

SMTP

項目	説明
プライマリー SMTP サーバー	SMTP/POP3 サーバーの IP アドレスかホスト名を入力します。最大 64 文字入力できます。
ポート番号	SMTP のポート番号を入力します。(1~65535)
認証種類	認証方式を以下から選択してください。 [しない]：ユーザー名とパスワードは必要ありません。 [SMTP]：本機は NTLM と LOGIN 認証に対応しています。 [POP before SMTP]：認証には POP3 サーバーを使用します。SMTP サーバーにメールを送信する前に、まず POP3 サーバーに接続して認証すると、SMTP サーバーのセキュリティーレベルを強化できます。
認証ユーザー名	SMTP サーバーにログインするユーザー名を入力します。最大 32 文字入力できます。
認証パスワード	SMTP サーバーにログインするパスワードを入力します。最大 32 文字入力できます。
機器メールアドレス	本機のメールアドレスを入力します。 このアドレスは、自動通知メールやインターネットファクスなど、本機から送信されるメールの送信者アドレスとして使用されます。最大 64 文字入力できます。
サーバータイムアウト (秒)	SMTP 操作をタイムアウトにするまでの待ち時間を入力します (1~999)。
タイムゾーン	お客様の地域に合わせた設定を選択してください。設定した地域が異なると、本機の日時を正しく設定していても、スキャナーのメール送信機能で送ったメールの送信日時が正しく表示されないことがあります。日本であれば [(GMT)+9:00] に設定します。

POP3 の設定をする

ネットワーク設定ページの [POP3] タブをクリックして、POP3 の設定をするページを表示します。

POP3 設定

項目	説明
POP3 サーバー	メール受信用の POP3 サーバーの IP アドレスかホスト名を入力します。 ここで指定した POP3 サーバーは [POP before SMTP] で使用されます。最大 64 文字入力できます。
ユーザーアカウント	POP3 サーバーにログインするときのユーザー名を入力します。最大 32 文字入力できます。 ここでメールアドレスを入力すると、インターネットファクス受信用のアドレスとして使用されます。
ユーザーパスワード	POP3 サーバーにログインするときのパスワードを入力します。最大 32 文字入力できます。
認証	認証方法を以下から選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • [なし] パスワードは暗号化されません。 • [APOP 認証] パスワードは暗号化されます。 • [自動] POP3 サーバーの設定により、パスワードは暗号化されるときとされないときがあります。

インターネットファクスの設定をする

対象機種：RICOH SP C251SF

ネットワーク設定ページの [インターネットファクス] タブをクリックして、インターネットファクスの設定をするページを表示します。

インターネットファクス設定

項目	説明
インターネットファクス送信	インターネットファクス機能を有効にするか無効にするかを設定します。

項目	説明
エラー通知メール	インターネットファクスの受信に失敗したときに、送信者にエラー通知メールを送るかどうかを設定します。 通知メールには、[DNS] ページで設定されたホスト名、機器のモデル名、[管理者] ページで設定されたメールアドレスが記載されます。DNS の設定について詳しくは、P.168 「DNS の設定をする」、管理者用の設定について詳しくは、P.177 「管理者用のメールアドレスとパスワードを設定する」を参照してください。
システム定型文を挿入	インターネットファクスの送信時に、システム定型文を挿入するかどうかを設定します。 メールには、[DNS] ページで設定されたホスト名、機器のモデル名、[管理者] ページで設定されたメールアドレスが記載されます。DNS の設定について詳しくは、P.168 「DNS の設定をする」、管理者用の設定について詳しくは、P.177 「管理者用のメールアドレスとパスワードを設定する」を参照してください。
自動 POP	自動的に POP3 サーバーに接続して新しいメールを取得するかどうかを設定します。 この設定を有効にすると、[POP 間隔 (分)] で設定された間隔にしたがって、自動的に接続します。
POP サーバー：メール受信設定	取得したメールを POP3 サーバーに残すか削除するかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [No] メールを取得したらサーバーから削除します。 • [メールを保存] 取得したメールをサーバーに残します。 • [エラー情報のみ保存] 正常に取得したメールだけをサーバーから削除します。
POP 間隔 (分)	POP3 サーバーへの自動接続の間隔を指定します (2~1440 分)。

無線 LAN を設定する

ネットワーク設定ページの [無線] タブをクリックして、無線 LAN を設定するページを表示します。

無線 LAN

項目	説明
無線 LAN	無線 LAN の接続状態を表示します。
MAC アドレス	本機の物理アドレスを表示します。
通信モード	本機の接続している通信モードを表示します。
SSID	本機の接続している SSID を表示します。

項目	説明
チャンネル	[通信モード] で [アドホック] を選択しているときは、現在の無線 LAN のチャンネル情報を表示します。
電波状態	受信している無線信号の強度を表示します。
無線	無線 LAN を使用するかしないかを設定します。

無線 LAN 設定

項目	説明
SSID	アクセスポイントの SSID を入力します。SSID は、32 文字までで入力します。 [検索一覧] をクリックすると、利用可能なアクセスポイントの一覧が表示されます。一覧から SSID を選択できます。
通信モード	接続する通信モードを選択します。 無線ルータ、またはアクセスポイントに接続するときは、[インフラストラクチャー] を選択します。 本機に直接接続するときは、[アドホック] を選択します。
アドホックチャンネル	[通信モード] で [アドホック] を選択しているときは、チャンネルを選択します。
認証	認証方法を選択します。 [通信モード] で [アドホック] を選択しているときは、[オープンシステム] または [共有キー] を選択します。
暗号化	認証方法を選択します。 [通信モード] で [アドホック] を選択しているときは、[なし] または [WEP] を選択します。
WPA パスフレーズ	[認証] で [WPA2-PSK] または [WPA/WPA2 混在モード] を選択しているときは、WPA 暗号化キーを入力します。
WEP キー長	[64 ビット] または [128 ビット] を選択します。
WEP 送信キー ID	複数の WEP 接続が設定されているときは、各 WEP キーを識別するための ID 番号を選択します。
WEP キー形式	WEP キーを入力するフォーマットを選択します。
WEP キー	WEP キーを入力します。入力できる文字数と形式は、選択した WEP キー長と、WEP キー形式によって異なります。 <ul style="list-style-type: none"> • WEP キー長：[64 ビット]、形式：[16 進]、最大長：10 文字 (0~9、A~F、a-f) • WEP キー長：[64 ビット]、形式：[ASCII]、最大長：5 文字 (0x20~0x7e) • WEP キー長：[128 ビット]、形式：[16 進]、最大長：26 文字 (0~9、A~F、a-f) • WEP キー長：[128 ビット]、形式：[ASCII]、最大長：13 文字 (0x20~0x7e)

↓ 補足

- 手動で接続を設定するときは、アクセスポイントや無線ルータの SSID、認証方法、暗号化キーを事前に確認してください。

リスト/レポートを印刷する

[リスト/レポート印刷] をクリックして、リストやレポートの印刷ページを表示します。項目を選択し、[印刷する] をクリックしてその項目に関する情報を印刷します。

リスト/レポート印刷

項目	説明
システム設定リスト	本機のシステム構成や設定の内容を印刷します。
ファクス通信管理レポート	過去 50 件までのファクス送受信のレポートを印刷します。本機の通信履歴は、印刷後もクリアされずに残ります。
ファクス送信/受信待機文書リスト	メモリーに残っている印刷待ち、送信待ち、転送待ちのファクスジョブのリストを印刷します。
ワンタッチキー宛先リスト	ワンタッチダイヤルの登録リストを印刷します。
ファクス短縮番号宛先リスト	短縮ダイヤルの登録リストを印刷します。

↓ 補足

- 本機が印刷中のときは、レポート印刷の操作をしてもレポートは印刷されません。本機の印刷が終わってから、印刷してください。
- リストやレポートは、A4 またはレターサイズ of 用紙に印刷されます。印刷の前に、トレイに A4 またはレターサイズ of 用紙をセットしてください。

管理者用設定をする

[管理者用設定] をクリックして、管理者用設定ページを表示します。

このページには、以下のタブがあります：[管理者]、[設定を初期化]、[バックアップ設定]、[リストア設定]、[年月日/時刻設定]。

管理者用のメールアドレスとパスワードを設定する

管理者用設定ページの [管理者] タブをクリックして、管理者用のパスワードとメールアドレスを設定するページを表示します。

管理者設定

項目	説明
パスワード変更	管理者パスワードを変更するときにチェックします。
新規パスワード	新しい管理者パスワードを入力します。最大 16 文字入力できます。
新規パスワード (確認)	確認のため同じパスワードを入力してください。
メールアドレス変更	管理者用のメールアドレスを変更するときにチェックします。
管理者メールアドレス	管理者メールアドレスを入力します。 [SMTP] ページで本機のメールアドレスが設定されていないときは、このアドレスが自動通知メールやインターネットファクスなど、本機から送信されるメールの送信者アドレスとして使用されます。最大 64 文字入力できます。SMTP 設定について詳しくは、P.171 「SMTP の設定をする」を参照してください。

↓ 補足

- 管理者メールアドレスは、使用している機器が RICOH SP C251SF のときに設定できません。
- 管理者メールアドレスには、本機の機器メールアドレスを指定しないでください。機器メールアドレスについて詳しくは、P.171 「SMTP の設定をする」を参照してください。

本機の設定を初期化する

管理者用設定ページの [設定を初期化] タブをクリックして、本機の設定を初期化するページを表示します。

設定を初期化

項目	説明
ネットワーク設定を初期化	ネットワーク設定が初期値に戻ります。
メニュー設定を初期化	ネットワーク設定以外の本機の設定が初期値に戻ります。
使用できる機能の設定を初期化	ユーザー制限の設定を消去します。
アドレス帳を初期化	ファクスのワンタッチダイヤルと短縮ダイヤルのあて先、特定相手先リストを消去します。
IPsec 設定を初期化	IPsec 設定が初期値に戻ります。

↓ 補足

- [IPsec 設定を初期化] は、[管理者] ページで管理者用のパスワードが設定されているときに表示されます。管理者用パスワードの設定について詳しくは、P.177 「管理者用のメールアドレスとパスワードを設定する」を参照してください。

本機の設定をバックアップする

管理者用設定ページの [バックアップ設定] タブをクリックして、本機の設定のバックアップファイルを作成するページを表示します。必要であれば、このバックアップファイルを使って前回の設定を復元できます。

★ 重要

- **本機を修理に出すときは、必ず事前にバックアップファイルを作成してください。修理後、本機の設定は初期設定に戻ります。**

バックアップ設定

項目	説明
ネットワークの設定のバックアップをとる	[ネットワーク設定] と [管理者用設定] で設定した内容のバックアップファイルを作成します。 なお、[ネットワーク設定] の [送信メールサイズ制限] はこの項目ではバックアップされず、[メニュー設定のバックアップをとる] でバックアップされます。
メニュー設定のバックアップをとる	ネットワーク設定以外の設定のバックアップファイルを作成します。
使用できる機能の設定のバックアップをとる	ユーザー制限の設定のバックアップファイルを作成します。
アドレス帳のバックアップをとる	ファクスのあて先と特定相手先のバックアップファイルを作成します。
IPsec 設定のバックアップをとる	IPsec 設定のバックアップファイルを作成します。

以下の手順でバックアップファイルを作成します。

1. バックアップしたい項目を選択します。
2. パスワードが設定されているときは、管理者のパスワードを入力してください。
3. [OK] をクリックします。
4. [保存] をクリックします。
5. バックアップファイルを保存する場所を指定します。
6. ファイル名を指定して、[保存] をクリックします。

↓ 補足

- [IPsec 設定のバックアップをとる] は、[管理者] ページで管理者用のパスワードが設定されているときに表示されます。管理者用パスワードの設定について詳しくは、P.177 「管理者用のメールアドレスとパスワードを設定する」を参照してください。

本機の設定を復元する

管理者用設定ページの [リストア設定] タブをクリックして、バックアップファイルから本機の設定を復元するページを表示します。

★ 重要

- 本機が修理から戻ったら、バックアップファイルから設定を復元します。修理後、本機の設定は初期設定に戻ります。

リストア設定

項目	説明
リストアするファイル	復元するファイル名を入力するか、[参照] をクリックしてファイルを選択します。

以下の手順でバックアップファイルを作成します。

1. [参照] をクリックします。
2. 復元するバックアップファイルの格納場所に進みます。
3. バックアップファイルを選択し、[開く] をクリックします。
4. パスワードが設定されているときは、管理者のパスワードを入力してください。
5. [OK] をクリックします。

↓ 補足

- 設定が正しく復元されなかったときは、エラーメッセージが表示されます。もう一度バックアップファイルから設定を復元してください。

日時を設定する

管理者用設定ページの [年月日/時刻設定] タブをクリックして、日付と時刻を設定するページを表示します。

年月日設定

項目	説明
年	現在の年を入力します (2000~2099)。
月	現在の月を入力します (1~12)。
日	現在の日を入力します (1~31)。
日付形式	日付の形式を [MM/DD/YYYY]、[YYYY/MM/DD]、[DD/MM/YYYY] から選択します。

時刻設定

項目	説明
時刻形式	時刻の表示を 24 時間形式か 12 時間形式かを選択します。
時刻 (AM/PM)	12 時間形式を選択しているとき、AM または PM を選択します。
時 (0-23)	24 時間形式を選択しているとき、現在の時を入力します。
時 (1-12)	12 時間形式を選択しているとき、現在の時を入力します。
分 (0-59)	現在の分を入力します。

10. 困ったときには

困ったときの対処方法を説明します。

思い通りにファクス機能が使えないとき

思い通りにファクス機能が使えないときの状態に応じた原因と対処方法を説明します。

よくある質問

質問内容	対処方法
設置したが、どこにも送信/受信できない。	<ul style="list-style-type: none">電話線がマシンに正しく差し込まれているか確認してください。電話回線設定（ダイヤル/プッシュ）が正しいかを確認してください。詳しくは、P.30「電話回線の種別を選択する」を参照してください。本機が構内交換機を経由して電話回線に接続されているときは、外線発信番号を設定してください。詳しくは、P.34「外線発信番号を設定する」を参照してください。 上記の対処で問題が解決しないときは、電源を切り、電源コードを引き抜いてください。その後、サービス実施店に連絡してください。
メモリー送信のリダイヤルをキャンセルできますか？	<ul style="list-style-type: none">操作部の画面に [送信中] と表示されている間に [クリア/ストップ] キーを押してください。送信待機中のときは、[ファイル削除] を押して、送信をキャンセルしてください。 送信を取り消す方法は、P.81「原稿の読み取り後に送信を取り消す（送信待機中のとき）」を参照してください。
A4以上のサイズのファクスをファクス受信したときは、どのように出力されますか？	[自動縮小] を [する] に設定すると、サイズは74%まで縮小されて1枚の用紙に出力されます。それ以上縮小しなければ1枚の用紙に印刷できないときは、縮小されずに別々の用紙に印刷されます。 [自動縮小] の設定方法は、P.137「ファクス初期設定」を参照してください。
ナンバーディスプレイに対応していますか？	本機はナンバーディスプレイに対応していません。ナンバーディスプレイ契約回線に接続しても、本機に相手の番号は表示されません。ナンバーディスプレイを契約している回線に本機を接続してファクスを受信するときは、[ファクス初期設定] の [ナンバーディスプレイ] を [契約している] に変更してください。 [契約していない] に設定するとファクスの送受信ができません。詳しくは、P.137「ファクス初期設定」を参照してください。

質問内容	対処方法
ADSL 回線を利用していますが、接続できますか？	接続できます。ADSL モデムのアナログポートに接続してください。ただし ADSL 環境は、アナログ回線よりも通信品質が劣ることがあります。詳しくは通信業者に確認してください。接続方法は、P.21「ADSL 環境に接続する」を参照してください。
ひかり電話を利用していますが、接続できますか？	接続できます。ひかり電話対応機器のアナログポートに接続してください。ただしひかり電話環境は、アナログ回線よりも通信品質が劣ることがあります。詳しくは通信業者に確認してください。接続方法は、P.23「ひかり電話環境に接続する」を参照してください。
迷惑ファクスを抑止する機能はありますか？	あります。特定相手先設定でファクス番号を登録し、ファクス受信を制限できます。詳しくは、P.112「特定の相手先からのファクスを制限する」を参照してください。
B5/A5 用紙を給紙トレイにセットしてファクスを受信できますか？	ファクス受信に使用できる用紙は、A4、Letter、Legal のサイズです。
同報送信は可能ですか？	最大 100 件のあて先への同報送信ができます。あて先の指定方法は、P.85「同報送信のあて先を指定する」を参照してください。
特定相手先に送信できない	相手先のファクスの電源が入っていないなど、受信機側にトラブルが発生していないか確認してください。
特定相手先から受信できない	<ul style="list-style-type: none"> 送信側に正しく電話番号を伝えているか確認してください。 相手が IP 電話契約のときは、相手先にスーパー G3 の設定をオフにしてもらってください。
相手によらず、たまにエラーとなる	<ul style="list-style-type: none"> 電話線が切れ掛かっているか確認してください。 電話回線の状態がよくない可能性（ノイズ有り、音量低い）があれば電話会社、または設備管理者に連絡してください。
相手先によらず、たまに通信エラーになったり受信画像が乱れたりする	<ul style="list-style-type: none"> 電話線が切れ掛かっているかしてください。 電話回線の状態がよくない可能性（ノイズ有り、音量低い）があれば電話会社、または設備管理者に連絡してください。
急に送信しなくなった	<ul style="list-style-type: none"> 電話線が本機にきちんと接続されているか確認してください。 本機から電話線を取り外し、通常の電話機につなぎます。その電話機で通話できるか確認してください。通話ができないときは、電話会社に連絡してください。 同じ問題が何度も発生するときは、お買い上げの販売店または最寄りのサービス実施店にお問合せください。

質問内容	対処方法
急に受信しなくなった	<ul style="list-style-type: none"> 給紙トレイに用紙があることを確認してください。 つまった用紙を取り除いてください。 ファクスがメモリーに蓄積され、メモリーフルになっていないか確認してください。

↓ 補足

- リコーではお客様からいただくよくあるご質問（FAQ）をホームページで公開しております。次の URL よりご覧いただけます。 <http://www.ricoh.co.jp/support/qa/>

送信できない

状態	原因	対処方法と参照先
送信・受信ともにできない。	ISDN 接続の TA（ターミナルアダプター）の設定が間違っている。	設定を確認してください。
受信できるが送信できない。	ISDN 接続の TA（ターミナルアダプター）の設定が間違っている。	設定を確認してください。
白紙で送信される。	原稿をセットする面が間違っている。	原稿ガラスにセットするときは読み取る面を下に、自動原稿送り装置（ADF）にセットするときは読み取る面を上になります。
原稿にないものが送信または印刷される。	自動原稿送り装置（ADF）のガイド板、原稿ガラス、または読み取りガラスが汚れている。	<ul style="list-style-type: none"> 自動原稿送り装置（ADF）のガイド板、原稿ガラス、または読み取りガラスを清掃してください。 修正液やインクなどが完全に乾いた原稿をセットしてください。
PC FAX ドライバーから送信できない。	ユーザーコード認証が設定されている。	P.58 「ユーザーが使用できる機能を制限する」を参照してください。
操作部の画面に「メモリーオーバー」と表示される。	原稿読み取り中にメモリーがいっぱいになった。	送信を中止するか、または読み取りが完了したページまでを送信できます。詳しくは P.80 「送信を取り消す」を参照してください。
PC ファクスの送信がキャンセルされる。	メモリーがいっぱいになった。	ファクスのサイズが大きすぎます。ファクスをいくつかに分けて送信するか、解像度を下げて送信してください。詳しくは、P.129 「PC ファクスの送信設定を変更する」を参照してください。

受信できない

状態	原因	対処方法と参照先
ファクス受信/代行受信ランプが点灯し、受信した文書が用紙に印刷されない。	以下の原因で受信したファクスがメモリーに蓄積されたままになっている。 <ul style="list-style-type: none"> 給紙トレイに用紙がない。 紙づまり 	<ul style="list-style-type: none"> 用紙を補給してください。 つまった用紙を取り除いてください。
受信した文書が用紙に印刷されない。	<ul style="list-style-type: none"> 給紙トレイに用紙がない。 受信したファクスをメモリーに蓄積するように設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> トレイに用紙をセットしてください。 メモリーに蓄積された文書を印刷してください。印刷方法は、P.109「メモリーに蓄積されたファクスを印刷する」を参照してください。
送信できるが受信できない。	<ul style="list-style-type: none"> ISDN 接続の TA (ターミナルアダプター) の設定が間違っている。 トナーがない。 給紙トレイに用紙がない。 ファクスの受信モードが FAX/TEL (手動) になっている。 ナンバーディスプレイを契約している回線に接続している。 	<ul style="list-style-type: none"> TA の設定を確認してください。 トナーを交換してください。 トレイに用紙をセットしてください。 手動モードのときは、手動でしかファクスを受信できません。P.96「FAX/TEL (手動) モード」を参照してください。 [ファクス初期設定] の [ナンバーディスプレイ] を [契約している] に変更してください。詳しくは、P.137「ファクス初期設定」を参照してください。 同じ問題が何度も発生するときは、電源を切り、電源コードを引き抜いてください。その後、サービス実施店に連絡してください。

印刷できない

状態	原因	対処方法と参照先
画像が斜めに印刷される。	<ul style="list-style-type: none"> 給紙トレイのサイドガイドが正しくセットされていない。 用紙が斜めに搬送されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 給紙トレイのサイドガイドが正しくセットされていることを確認してください。 用紙をセットし直してください。

状態	原因	対処方法と参照先
何度も用紙がつまる。	<ul style="list-style-type: none"> • セットされている用紙が多すぎる。 • 用紙が密着している。 • 用紙に湿気が含まれている。 • 用紙が厚すぎるか、薄すぎる • 用紙に折り目やシワがある 	<ul style="list-style-type: none"> • 給紙トレイのサイドガイドの内側に表示されている上限表示の線を超えないように用紙をセットしてください。 • 複数枚の用紙が重なったまま一度に送られないように、用紙をばらばらとほぐしてからセットしてください。 • 当社推奨の用紙を使用してください。
用紙にシワがよる。	<ul style="list-style-type: none"> • 一度印刷した用紙を使用している • 用紙に湿気が含まれている • 用紙が薄すぎる 	当社推奨の用紙を使用してください。
用紙の先端が折れる。	<ul style="list-style-type: none"> • 用紙に湿気が含まれている • 推奨以外の用紙を使用している 	当社推奨の用紙を使用してください。
受信紙の画像が部分的に抜ける。	用紙に湿気が含まれている	当社推奨の用紙を使用してください。
受信紙の画像がかすれている。	<ul style="list-style-type: none"> • 目の粗い用紙や表面が加工されている用紙、湿気を含んだ用紙を使用している • 相手先の読み取り濃度が薄く設定されている • 相手先の用紙が薄すぎる 	<ul style="list-style-type: none"> • 当社推奨の用紙を使用してください。 • 相手先に読み取る濃度を高くしてもらいようにしてください。 • 相手先に厚い用紙で送信してもらいようにしてください。
受信紙の画像が水滴状に白抜けする、または汚れる。	用紙から発生した水蒸気が用紙に付着して画像が水滴状に白く抜けたり、トナーで汚れることがある	<ul style="list-style-type: none"> • 当社推奨の用紙を使用してください。 • 本機を低温にならない場所に設置してください。

その他

状態	原因	対処方法と参照先
黒すじ、斑点や汚れのあるファクスが送信される。	自動原稿送り装置 (ADF) のガイド板、原稿ガラス、または読み取りガラスが汚れている。	<ul style="list-style-type: none"> 自動原稿送り装置 (ADF) のガイド板、原稿ガラス、または読み取りガラスを清掃してください。 修正液やインクなどが完全に乾いた原稿をセットしてください。
相手に届いたファクスの背景に汚れがある、または裏面のイメージが透けて見える。	濃度が濃く設定されている。	濃度を調節してください。P.91「濃度を調整する」を参照してください。
ファクスを送信しようとしてもつながらない。	<ul style="list-style-type: none"> 直接送信モードでファクスを送っている途中で、ADF の内部に原稿が詰まった。 回線が正しく接続されなかった。 ファクスの相手先が応答しなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 詰まった用紙を取り除いてください。 電話線が本機にきちんと接続されているか確認してください。 ダイヤルした番号が正しいか確認してください。

レポートにエラーコードが記載されたとき

ファクスの送受信中にエラーが発生して正常な処理がされなかったときは、ファクス通信管理レポートや送信結果レポートの「結果」欄にエラーコードが記載されます。エラーコードを確認して、対処してください。

エラーコード	原因	対処方法
100011	直接送信モードでファクスを送っている途中で、ADFの内部に原稿がつまりました。	<ul style="list-style-type: none"> つまった原稿を取り除いて、セットし直してください。 使用している原稿が本機で読み取りできるものか確認してください。
100021	回線が正しく接続されませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> 電話線が本機にきちんと接続されているか確認してください。 本機から電話線を取り外し、通常の電話機につなぎます。その電話機で通話できるか確認してください。通話ができないときは、電話会社に連絡してください。 同じ問題が何度も発生するときは、お買い上げの販売店または最寄りのサービス実施店にお問合せください。
100022~100023	ファクスの相手先が応答しませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> ダイヤルした番号が正しいか確認してください。 ダイヤル先がファクス機であることを確認してください。 回線が通話中でないことを確認してください。 あて先番号の間にポーズを入れてください。市外局番などのあとで[ポーズ/リダイヤル]キーを押してください。 [管理者用設定]の[内線/外線選択]が、使用している電話回線に合った設定になっていることを確認してください。P.33「電話回線への接続方法を選択する」を参照してください。
100032~100084	ファクスの送信中にエラーが発生しました。	<ul style="list-style-type: none"> 電話線が本機にきちんと接続されているか確認してください。 本機から電話線を取り外し、通常の電話機につなぎます。その電話機で通話できるか確認してください。通話ができないときは、電話会社に連絡してください。 同じ問題が何度も発生するときは、お買い上げの販売店または最寄りのサービス実施店にお問合せください。

エラーコード	原因	対処方法
200006	迷惑ファクス防止で設定された相手からのファクス受信のため、受信を拒否しました。	ファクスを受信するときは、[ファクス初期設定]の[迷惑ファクス防止設定]と[迷惑ファクス防止：受信条件]の設定を変更してください。詳しくは、P.137「ファクス初期設定」を参照してください。
200014	受信したファクスを一時的に印刷できない状態になっているか、送られて来ているファクスのサイズが大きすぎるため、メモリーがいっぱいになっています。	<ul style="list-style-type: none"> • トレイの用紙がなくなっているときは、用紙を補給してください。 • トレイに A4/Letter/Legal サイズ以外の用紙がセットされているときは、A4/Letter/Legal サイズの用紙をセットして、[システム初期設定]の用紙サイズ設定を変更してください。 • 本機のカバーやトレイが開いているときは、開いているカバーやトレイを閉じてください。 • 紙づまりが起きているときは、つまった用紙を取り除いてください。 • トナーが空になっているときは、トナーを交換してください。 • 送られて来ているファクスのサイズが大きすぎます。送信者に連絡して、一度に送るページを少なくしてもらるか、解像度を低く設定して送り直してもらってください。
200032~200084	ファクスの受信中にエラーが発生しました。	<ul style="list-style-type: none"> • 電話線が本機にきちんと接続されているか確認してください。 • 本機から電話線を取り外し、通常の電話機につなぎます。その電話機で通話できるか確認してください。通話ができないときは、電話会社に連絡してください。 • 同じ問題が何度も発生するときは、お買い上げの販売店または最寄りのサービス実施店にお問合せください。
300011	インターネットファクスの送信中にサーバーへの接続に失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> • ネットワークのケーブルがきちんと接続されていることを確認してください。 • IP アドレス、SMTP、DNS などが正しく設定されていることを確認してください（2 バイト文字が使用されていないことなど）。ネットワークの設定について詳しくは、P.166「ネットワークの設定をする」を参照してください。

エラーコード	原因	対処方法
300012	インターネットファクスの送信中にメールの送信に失敗しました。	メールのヘッダーが不正です。IP アドレス、SMTP、DNS などが正しく設定されていることを確認してください(2 バイト文字が使用されていないことなど)。ネットワークの設定について詳しくは、P.166「ネットワークの設定をする」を参照してください。
300013	インターネットファクスの送信中にメールの送信に失敗しました。	メールのパートヘッダーが不正です。IP アドレス、SMTP、DNS などが正しく設定されていることを確認してください(2 バイト文字が使用されていないことなど)。ネットワークの設定について詳しくは、P.166「ネットワークの設定をする」を参照してください。
300014	インターネットファクスの送信中にメールの送信に失敗しました。	変換された TIFF ファイルが不正です。IP アドレス、SMTP、DNS などが正しく設定されていることを確認してください(2 バイト文字が使用されていないことなど)。ネットワークの設定について詳しくは、P.166「ネットワークの設定をする」を参照してください。
300033	インターネットファクスの送信中にメモリーがいっぱいになりました。	ファクスのサイズが大きすぎます。ファクスをいくつかに分けて送信するか、解像度を下げて送信してください。
400021	インターネットファクスの受信中にサーバーへの接続に失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> • ネットワークのケーブルがきちんと接続されていることを確認してください。 • IP アドレス、POP3、DNS などが正しく設定されていることを確認してください(2 バイト文字が使用されていないことなど)。ネットワークの設定について詳しくは、P.166「ネットワークの設定をする」を参照してください。
400022	インターネットファクスの受信中にメールの受信に失敗しました。	POP3 サーバーへの LIST コマンドでエラーが発生しました。送信者にメールの設定を確認するように連絡してください。
400023	インターネットファクスの受信中にメールの受信に失敗しました。	メールのヘッダーが不正です。送信者にメールの設定を確認するように連絡してください。
400024	インターネットファクスの受信中にメールの受信に失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> • メールパートヘッダーが不正です。送信者にメールの設定を確認するように連絡してください。 • メール Content-Type が不正か、対応していない形式のファイル(PDF や JPEG など)を受信しました。送信者にファイル形式を確認するように連絡してください。

エラーコード	原因	対処方法
400025	インターネットファクスの受信中にメールの受信に失敗しました。	メールのテキストパートが不正です。送信者にメールの設定を確認するように連絡してください。
400026	インターネットファクスの受信中にメールの受信に失敗しました。	受信した TIFF ファイルに、400043~400045 で示される以外の原因によるエラーがあります。送信者に TIFF ファイルを確認するように連絡してください。
400042	インターネットファクスの受信中にメールの受信に失敗しました。	メールのパートヘッダーが不正です。送信者にメールの設定を確認するように連絡してください。
400043	TIFF ファイルを正常に受信できませんでした。	受信した TIFF ファイルが MH/MR/MMR 以外の圧縮形式で作成されています。送信者に TIFF ファイルを確認するように連絡してください。
400044	TIFF ファイルを正常に受信できませんでした。	受信した TIFF ファイルが対応していない解像度で作成されているか、幅が A3 または B4 になっています。送信者に TIFF ファイルを確認するように連絡してください。
400045	TIFF ファイルを正常に受信できませんでした。	受信した TIFF ファイルが TIFF-S/F 以外の形式で作成されています。送信者に TIFF ファイルを確認するように連絡してください。
400046	インターネットファクスの受信中にメモリーがいっぱいになりました。	ファクスのサイズが大きすぎます。送信者に、ファクスをいくつかに分けて送信するか、解像度を下げて送信するように連絡してください。
FFFFFF	受信したファクスの転送に失敗しました。	転送設定を確認してください。詳しくは、P.103「受信したファクスを転送する」を参照してください。

操作部にメッセージが表示されたとき

操作部の画面に表示されるおもなエラーメッセージの原因と対処方法を説明します。

メッセージは、アルファベット順/50音順に説明しています。

★重要

- アラートランプが点灯または点滅しているときは、コピーモードに変更してメッセージの内容を確認してください。

メッセージ	原因	対処方法
宛先が登録されていません	このワンタッチキーには、番号が登録されていません。	<ul style="list-style-type: none"> • 別のワンタッチキーを押してください。 • ワンタッチキーに番号を登録してください。P.65「あて先を登録する」を参照してください。
オンフックキーまたはクリアストップキー	受話器が外れた状態になったままです。	受話器をもとに戻すか、[クリア/ストップ] キーを押してください。
受信エラー	受信エラーが発生したため、ファクスの受信に失敗しました。	可能なときは、送信者に連絡してファクスを再送してもらってください。
接続に失敗しました	回線が正しく接続されませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> • 電話線が本機にきちんと接続されているか確認してください。 • 本機から電話線を取り外し、通常の電話機につなぎます。その電話機で通話できるか確認してください。通話ができないときは、電話会社に連絡してください。
送信エラー	通信エラーが発生したため、ファクスの送信に失敗しました。	[自動リダイヤル] を有効にすると、本機が自動的にリダイヤルします。リダイヤルでの送信に失敗したとき、または直接送信モードのときは、ファクスは送信されません。もう一度ファクスを送信してください。

メッセージ	原因	対処方法
ダイヤル失敗	ファクスが送信できませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> ダイヤルした番号が正しいか確認してください。 ダイヤル先がファクス機であることを確認してください。 回線が通話中でないことを確認してください。 あて先番号の間にポーズを入れてください。市外局番などのあとで [ポーズ/リダイヤル] キーを押してください。 [管理者用設定] の [内線/外線選択] が、使用している電話回線に合った設定になっていることを確認してください。P.33 「電話回線への接続方法を選択する」を参照してください。
正しい用紙をセット	[ファクス初期設定]の[給紙トレイ選択]で設定されているトレイに、A4、Letter、または Legal サイズの用紙がセットされていません。	メッセージが表示されている間に、[OK] キーを押してください。用紙サイズを変更するメニューが画面に表示されます。A4、Letter、または Legal サイズの用紙をトレイにセットし、用紙サイズを [▲] [▼] キーで選択して [OK] キーを押します。ファクスが印刷されます。[用紙設定] の用紙サイズが変更されるので注意してください。詳しくは、P.137 「ファクス初期設定」を参照してください。
ファクスジョブ：メモリーオーバー	送信や印刷待ちのファクスの件数が最大に達しているため、新しいファクスがメモリーに蓄積できません。	待機中のジョブを送信、印刷してください。
メモリーオーバー	<ul style="list-style-type: none"> 送信前のファクスをメモリーに蓄積している途中で、1 ページ目の読み込み中に、メモリーが許容量に達しました。 PC ファクスの送信中に、メモリーが許容量に達しました。 	ファクスをいくつかに分けて送信するか、解像度を下げて送信してください。

電源断レポートが印刷されたとき

★重要

- ファクスの送信中や受信中に、停電などによって本機の電源が切られると、正常に送信、受信ができません。電源の入れかたについて詳しくは、P.26「電源を入れる」を参照してください。

電源断レポートでは、送信や受信が正常にできなかったファクスや、メモリーから消去されたファクスを確認できます。

送信できていなかったファクスがあったときは、もう一度送信し直してください。

受信できていなかったファクスがあったときは、相手先に送信のし直しを依頼してください。

↓補足

- 電源断レポートが印刷されたときは、電源プラグを差し込み、電源を約 24 時間入れたままにしてください。次に停電したり電源を切ったりしたとき、メモリーに蓄積されている内容を保持するための充電をします。

11. 付録

知っているると便利な機能やファクス機能の仕様を説明します。

ファクス機能仕様

ここでは、ファクス機能の仕様についてまとめています。

ファクス送受信

規格	G3 規格
メモリー代行受信枚数	約 100 ページ*1
適用回線	<ul style="list-style-type: none">• 公衆交換電話網 (PSTN)• 構内交換機 (PBX)
読み取り走査線密度	8 dots/mm×3.85 本/mm (200×100 dpi) 8 dots/mm×7.7 本/mm (200×200 dpi)
伝送時間	3~4 秒台 (8 dots/mm×3.85 本/mm、33.6 kbps、MMR、ITU-T#1 chart)
符号化方式	MH、MR、MMR、JBIG
通信速度	33.6 kbps~2400 bps (オートシフトダウン方式)
ワンタッチダイヤル	20 件
短縮ダイヤル	200 件
届出番号 (識別番号)	000253 (000253AD13)

*1 プリンターメモリーのうち、最大 2MB まで占有。ITU-T No.1 チャート、線密度 8 ドット/mm ×3.85 本/mm 時。

インターネットファクス送受信 (RICOH SP C251SF)

インターフェース	イーサネット (10BASE-T、100BASE-TX)
伝送機能	電子メール
伝送制御手順	<ul style="list-style-type: none">• 電子メール送信 SMTP 手順、TCP/IP 通信• 電子メール受信 POP3 手順、TCP/IP 通信
読み取り走査線密度	8 dots/mm×3.85 本/mm (200×100 dpi) 8 dots/mm×7.7 本/mm (200×200 dpi)

電子メール形式	シングル/マルチパート、MIME 変換 添付ファイル形式（送信）：TIFF-S（MH 圧縮） 添付ファイル形式（受信）：TIFF-S（MH 圧縮） / TIFF-F（MH/MR/ MMR 圧縮）
認証方法	SMTP-AUTH、POP before SMTP、A-POP
原稿サイズ	A4（長さ 356 mm まで）
相手先機器仕様	<ul style="list-style-type: none">• 伝送制御手順 送信：SMTP 手順、TCP/IP 通信 受信：POP3 手順、TCP/IP 通信• 電子メール形式 形式：MIME、Base64 Content-Type：Image/tiff、Multipart/mixed [text/plain, Image/ tiff]（添付ファイル形式）• データフォーマット Profile：TIFF-S 符号化方式：MH 原稿サイズ：A4 解像度（dpi）：200×100、200×200

本機のファクス機能の適合規格 (RICOH SP C251SF)

本機のファクス機能は FASEC 1 に対応しています。

FASEC 1 について



FASEC とは、情報通信ネットワーク産業協会(CIAJ)がファクス通信のセキュリティー向上を目指して制定したガイドラインの呼称です。

FASEC のロゴマークは、このガイドラインに準拠したファクス・複合機に使用されます。本機は、ファクスのセキュリティーに関するガイドラインである FASEC 1 に適合したファクスセキュリティー機能を搭載しています。

宛先を繰り返し入力する機能

誤送信を防止するため、ファクス番号の入力を二度繰り返して確認できます。一度目と二度目の入力番号が同じときだけ送信され、異なるときは送信されません。

ダイヤルトーン検出機能

発呼時にダイヤルトーンを検出してから送信され、検出しなければ送信されません。

蓄積受信文書を確認/印刷する機能

受信したファクス文書をハードディスクまたはメモリーに蓄積しておき、必要に応じて印刷して確認できます。

送信結果を確認する機能

ファクスの送信結果をレポートで確認できます。

商標

Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista、Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Internet Explorer 6 の正式名称は Microsoft® Internet Explorer® 6 です。

Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。

その他の製品名、名称は各社の商標または登録商標です。

Windows オペレーションシステムの正式名称は以下のとおりです。

- Windows XP の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows® XP Professional Edition

Microsoft® Windows® XP Home Edition

Microsoft® Windows® XP Professional x64 Edition

- Windows Vista の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows Vista® Ultimate

Microsoft® Windows Vista® Business

Microsoft® Windows Vista® Home Premium

Microsoft® Windows Vista® Home Basic

Microsoft® Windows Vista® Enterprise

- Windows 7 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows® 7 Starter

Microsoft® Windows® 7 Home Premium

Microsoft® Windows® 7 Professional

Microsoft® Windows® 7 Ultimate

Microsoft® Windows® 7 Enterprise

- Windows 8 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows® 8

Microsoft® Windows® 8 Pro

Microsoft® Windows® 8 Enterprise

- Windows Server 2003 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows Server® 2003 Standard Edition

Microsoft® Windows Server® 2003 Enterprise Edition

Microsoft® Windows Server® 2003 Web Edition

Microsoft® Windows Server® 2003 Datacenter Edition

- Windows Server 2003 R2 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Standard Edition

Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Enterprise Edition

Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Datacenter Edition

- Windows Server 2008 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows Server® 2008 Foundation

Microsoft® Windows Server® 2008 Standard

Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise

Microsoft® Windows Server® 2008 Datacenter

Microsoft® Windows Server® 2008 for Itanium-based Systems

Microsoft® Windows® Web Server 2008

Microsoft® Windows® HPC Server 2008

- Windows Server 2008 R2 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Foundation

Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Standard

Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Enterprise

Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Datacenter

Microsoft® Windows Server® 2008 R2 for Itanium-based Systems

Microsoft® Windows® Web Server R2 2008

Microsoft® Windows® HPC Server R2 2008

- Windows Server 2012 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows Server® 2012 Foundation

Microsoft® Windows Server® 2012 Essentials

Microsoft® Windows Server® 2012 Standard

Microsoft® Windows Server® 2012 Datacenter

索引

アルファベット

ADSL 環境.....	21
DNS 設定.....	168
FASEC 1 について.....	197
FAX/TEL (自動) モード.....	98
FAX/TEL (手動) モード.....	96
FAX ドライバー.....	53
FAX/留守番 TEL モード.....	99
IPv4 アドレス (DHCP)	51
IPv4 アドレス (手動)	49
IPv6 アドレス.....	167
IPv6 設定.....	167
IP アドレス.....	49
ISDN 環境.....	22
LED.....	46
mDNS.....	167
PC ファクス.....	11, 123
PC ファクスドライバー.....	53
POP3.....	172
SMTP 設定.....	171
SNMP 設定.....	170
TCP/IP 情報.....	166
Trap.....	170
USB 接続.....	46
USB ポート.....	46
Web Image Monitor.....	69, 155, 157

あ

あて先の削除.....	67, 71, 119
あて先の指定.....	83
あて先の修正.....	66, 70, 117
あて先の登録.....	65, 69, 116, 163
アドレス帳.....	150
アドレス帳 (PC ファクス)	115
イーサネット.....	44
インターネットファクス.....	12, 75, 101, 172, 195
インポート.....	120
エクスポート.....	120
エラーコード.....	187
エラーメッセージ.....	191
オンフックキー.....	89
オンフックダイヤル.....	89

か

回線種別.....	30
外線発信番号.....	34
解像度.....	92
管理者パスワード.....	177
管理者メールアドレス.....	177
管理者用設定.....	147, 177
基本的な送信方法.....	77
基本的な送信方法 (PC ファクス)	123
給紙トレイ選択.....	159
給紙トレイ優先設定.....	144
グループ (PC ファクス)	118
グループの削除 (PC ファクス)	119
グループの修正 (PC ファクス)	119
公衆交換電話網.....	33
構内交換機.....	24, 33
この本の読みかた.....	7
困ったときには.....	181, 187, 191, 193
コミュニティ.....	170

さ

時刻の設定.....	35, 180
システム.....	170
自動メール通知.....	169
自動リダイヤル.....	73, 81
受信文書印刷.....	109
受信モード.....	37
仕様.....	195
商標.....	198
数値の入力.....	42
スキャナー送信設定.....	167
接続.....	44
設定項目を確認する.....	18
設定を初期化.....	177
設定をバックアップ.....	178
設定を復元.....	179
操作部.....	14
操作部で設定する.....	133
操作部の名称.....	14
送信設定 (PC ファクス)	129
送信のキャンセル.....	80, 125
送信モード.....	73
送信を取り消す.....	80, 125

送付状 (PC ファクス)	126
外付け電話機	11, 20, 37

た

ダイレクト機能呼出し	56, 162
短縮ダイヤル	84, 150
蓄積文書印刷	109
直接送信	73
電源コード	26
電源スイッチ	26
電源断レポート	193
電源を入れる	26
電話回線	20
電話/ファクス切り替え	100
同報送信	85
特定相手先	112, 113, 164
特定相手先リスト	151

な

内線電話	24
日時の設定	35, 147, 180
ネットワーク印刷設定	167
ネットワーク情報	166
ネットワーク接続	44
ネットワーク設定	166
年月日設定	35, 147, 180
濃度	91

は

はじめに	7
バックアップ設定	178
発信元情報	40
番号入力	42
ひかり電話	23
日付の設定	35, 147, 180
ファクス一時蓄積	107
ファクスキー	63
ファクス機能	10
ファクス自動受信	97, 98, 99
ファクス受信文書処理	103, 159
ファクス手動受信	96
ファクス初期設定	137
ファクス設定	159
ファクス設定の流れ	17

ファクス専用モード	97
ファクス送信/受信待機文書リスト	151, 153
ファクス送信設定	135
ファクス短縮番号宛先リスト	151
ファクス通信管理レポート	151, 152
ファクス転送	12, 103
ファクス番号確認	88, 159
ファクスモード	63
複製、印刷が禁止されているもの	7
ポーズ/リダイヤルキー	86
本機の番号	40
本機の名称	40

ま

無線 LAN 設定	173
迷惑ファクス防止設定	112, 113, 159
メモリー送信	73
文字の入力	42

や

やりたいこと目次	10
ユーザーコード	58, 60
ユーザー制限	58, 60, 165
優先トレイ	162
用紙設定	144
読み取り設定	91

ら

リスト	151, 176
リストア設定	179
リスト/レポート印刷	151, 176
リダイヤル	86
留守番電話	37, 99
レポート	151, 176

わ

ワンタッチキー	83
ワンタッチキー宛先リスト	151
ワンタッチダイヤル	150

MEMO

MEMO



■ 消耗品に関するお問い合わせ

弊社製品に関する消耗品は、お買い上げの販売店にご注文ください。

NetRICOHのホームページからもご購入できます。

<http://www.netricoh.com/>

■ 故障・保守サービスに関するお問い合わせ

故障・保守サービスについては、サービス実施店または販売店にお問い合わせください。

修理範囲(サービスの内容)、修理費用の目安、修理期間、手続きなどをご要望に応じて説明いたします。

転居の際は、サービス実施店または販売店にご連絡ください。転居先の最寄りのサービス実施店、販売店をご紹介します。

<http://www.ricoh.co.jp/support/repair/index.html>

■ 操作方法、製品の仕様に関するお問い合わせ

操作方法や製品の仕様については、「お客様相談センター(ご購入後のお客様専用ダイヤル)」にお問い合わせください。

050-3786-8111

上記番号をご利用いただけない方は、03-4330-0918 をご利用ください。

- 受付時間:平日(月～金)9時～12時、13時～17時(土日、祝祭日、弊社休業日を除く)
- 050ビジネスダイヤルは、一部のIP電話を除き、通話料はご利用者負担となります。
- お問合せの際に機番を確認させていただく場合があります。

※お問合せの内容・発信者番号は対応状況の確認と対応品質の向上のため、録音・記録をさせていただいております。

※受付時間を含め、記載のサービス内容は予告なく変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

<http://www.ricoh.co.jp/SOUDAN/index.html>

■ 最新ドライバーおよびユーティリティー情報

最新版のドライバーおよびユーティリティーをインターネットのリコーホームページから入手できます。

<http://www.ricoh.co.jp/download/index.html>